

# マイナビ 2025年卒 学生就職モニター調査 7月の活動状況



2024年8月

- 内容 : 就職活動状況の定点調査
- 実施期間 : 2024年7月25日～2024年7月31日
- 調査対象 : 2025年3月卒業予定の全国の大学生、大学院生
- 調査方法 : Web上のアンケートフォームより入力

## □モニター属性データ

カテゴリー	有効回答数
文系男子	177
理系男子	321
文系女子	547
理系女子	353
総計	1,398

カテゴリー	有効回答数
関東地区	551
東海地区	166
関西地区	304
上記以外のエリア	377

カテゴリー	有効回答数	
学部	理系: 機電系	35
	理系: 情報系	61
	理系: 土木・建築系	24
	理系: 化学系	23
	理系: 薬学系	76
	理系: その他理系	80
院	理系: 機電系	87
	理系: 情報系	66
	理系: 土木・建築系	28
	理系: 化学系	81
	理系: 薬学系	16
	理系: その他理系	97

## 【7月のTOPICS】

### 入社予定先決定後、2人に1人の学生が「本当にこの会社でいいのか」と不安 約8割が内々定者フォロー・内々定者研修を希望

入社予定企業を決めたあとに「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある学生の割合は2年連続で減少するも、50.1%（対前年0.9pt減）と半数以上となった。しかし不安になったことがある学生のうち、不安が解消された割合は41.1%（対前年5.8pt増）と、全体的に入社予定先に対する不安を持つ学生が減少しているようだ。

入社予定先企業から親・保護者が入社を承諾しているか確認されたことがある割合（「オヤカク」の経験がある割合）は25.4%（対前年2.0pt増）で4人に1人が経験していることがわかった。確認方法としては「あなた宛ての電話で確認された（8.9%、対前年2.1pt増）」「対面式の個人面談や面接の席で確認された（8.0%、対前年0.6pt増）」などが多く、企業から保護者に直接確認を取る方法よりも、学生を通じた確認方法が多いようだ。

入社までに内々定者フォロー・内々定者研修を希望する学生は78.0%となり、その理由としては「内々定者同士の間関係を深めたい（53.8%、対前年9.5pt減）」が前年に引き続き最も高かった。希望する内容では「内定者懇親会（対面）（58.0%、対前年2.8pt減）」が最も多い。内定式については希望する学生が47.9%（対前年8.8pt減）と過半数を下回った。

- （P. 21）入社予定先決定後、2人に1人の学生が「本当にこの会社でいいのか」と不安
- （P. 25）約8割が内々定者フォロー・内々定者研修を希望

## ■集計方法

全体の数値を算出するにあたり、文理男女別の構成比を2025年3月卒業予定の大学生・大学院生の構成比と等しくする為、文部科学省の学校基本調査を基に、ウエイトバック集計を行っている。基準数値は令和5年度学校基本調査（2023年12月公表）の大学3年生・院1年生在籍数を参照し、文理男女比を算出している。  
※ウエイトバック集計とはアンケート回答者の属性構成比率が実際の属性比率と乖離している場合、構成比に合わせるように重み付けして集計すること。

## ■各種調査はWEB上でも順次公開中！□■

経営と人材をつなげるビジネスメディア「HUMAN CAPITAL サポネット」<https://saponet.mynavi.jp/>  
マイナビキャリアリサーチLab | 働くの明日を考える <https://career-research.mynavi.jp/>  
就職指導ご担当者のための総合情報サイト マイナビキャリアサポート <http://mcs.mynavi.jp/>

## ■□本資料について□■

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

## 【定点調査】

## ■1:7月の活動状況

## ■2:エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況

- (1) 7月平均エントリー社数
- (2) 合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受験社数、エントリーシート提出社数(平均)
- (3) エントリー社数平均累計
- (4) 個別企業セミナー参加社数平均累計
- (5) 採用面接を受けた社数平均累計
- (6) 7月のWEB上での活動状況
- (7) WEB面接(ライブ形式)を受けた割合・半月ごとの推移
- (8) ライブ形式のWEBセミナー参加社数平均累計
- (9) 録画形式のWEBセミナー視聴社数平均累計
- (10) WEB面接を受けた社数平均累計

## ■3:内々定保有者の活動状況

- (1) 企業の主な発見ツール(内々定先・入社予定先)
- (2) 内々定を得た企業の業種
- (3) 現段階で内々定獲得企業の中から入社予定先を決めている割合
- (4) 内々定獲得後、入社意思を固めるまでにもらった時間
- (5) 入社予定先企業は初めて接触する前の時点では第何志望だったか
- (6) その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング
- (7) 入社予定先企業を選択したポイント【3つ】【最も】
- (8) 内々定先企業の規模
- (9) 入社予定先企業の規模
- (10) 内々定を得た時期
- (11) 入社予定先から内々定を得た時期
- (12) 内々定獲得後、入社意思を固めた時期
- (13) 1次面接～内々定までの選考回数
- (14) 1次面接を受けてから、内々定をもらうまでの期間(内々定先、入社予定先)
- (15) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合
- (16) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時期すべて【複数回答】
- (17) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験の主な発見ツール
- (18) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(平均)
- (19) 入社予定先の採用選考がインターンシップ・仕事体験参加者限定のものだった割合
- (20) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(分布)
- (21) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験には対面で参加したか、オンラインで参加したか
- (22) 就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)
- (23) 就活疲れを感じた活動
- (24) 就活疲れの理由としてあてはまるもの(就活準備を含む)※上位3つ
- (25) 入社予定先のインターンシップ・仕事体験の満足度
- (26) 内々定先満足度 ※内々定を得た先全部に対する満足度
- (27) 入社予定先未決定者の内々定先満足度
- (28) 入社予定先総合満足度
- (29) 入社予定先について
  - ・就業条件・職場環境満足度
  - ・能力を活かせるか
  - ・社員の印象と帰属感
  - ・経営者の印象
  - ・将来のキャリア展望
  - ・十分比較検討して選べたか
- (30) 入社後のその先のキャリアについてどのように考えているか
- (31) 「人生100年時代」何歳まで働き続けたいと思うか
- (32) 「人生100年時代」今後の働き方として考えに近いもの

**■4: 入社予定先企業を決めるにあたって**

- (1) 入社予定企業を決めたあとに「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある学生の割合
- (2) 不安は解消されたか
- (3) 入社予定先を決めた学生全体から見て、不安になったことがあるかと解消されたかどうかの割合
- (4) なぜ不安になったのか【複数回答】
- (5) 不安が解消された理由【複数回答】
- (6) 「もしこうだったら『この会社でいいのか』という不安は解消されたのに」と思うこと【複数回答】
- (7) 入社予定先から「今」提供してほしいと思う情報【複数回答】
- (8) 入社予定先企業から親・保護者が入社を承諾しているかについて確認されたことがある割合(「オヤカク」)
- (9) 親・保護者承諾の確認方法【複数回答】

**■5: 内々定後の企業との接触について**

- (1) 内々定後、企業と接触をもったか
- (2) 入社までに内々定者フォロー・内々定者研修を希望するか
- (3) 企業と接触している頻度
- (4) 今後内々定企業と接触する場合に希望する頻度
- (5) 内々定者フォローや内々定研修を受けたい理由【複数回答】
- (6) 内々定者フォロー・実際にあった接触の内容・希望する内容【複数回答】
- (7) 入社までの期間に研修を受けたいか
- (8) (受けたい場合) 集合型研修を希望するか、オンライン型の研修を希望するか
- (9) 研修で受けたい内容【複数回答】

**■6:【理系】7月の活動状況**

- (1) 理系学生の活動状況【複数回答】
- (2) 企業への応募方法(2月～7月、各年の7月の推移)
- (3) 理系学生の月ごとの活動状況の推移
  - ・大学に志望企業調査票を提出した
  - ・企業の研究所・工場などを見学した
  - ・WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した
  - ・就職に関して教授に相談した
  - ・ジョブマッチングを受けた
  - ・研究概要書・研究概要レポートを提出した
  - ・企業の採用選考を受けた
  - ・企業から推薦状を求められた
  - ・大学から推薦状を発行された
  - ・大学院(修士・博士)への進学を目指すことに決めた

**【追加調査】****■7: 人事担当者について**

- (1) これまで出会った印象の良かった人事担当者の特徴【複数回答】
- (2) これまで出会った印象の悪かった人事担当者の特徴【複数回答】
- (3) 人事担当者の印象が良く、選考に進んだ企業がある学生の割合
- (4) 人事担当者の印象が悪かったため選考に進まなかった企業がある学生の割合
- (5) 人事担当者の印象が良かったため選考に進んだ企業数平均
- (6) 人事担当者の印象が悪かったため選考に進まなかった企業数平均
- (7) 人事担当者の言葉がきっかけで入社を決意したことがある割合
- (8) 入社を決意したきっかけとなった言葉
- (9) 人事担当者の言葉が原因で選考を辞退したことがある割合
- (10) 選考辞退のきっかけとなった言葉

**■8:ジョブ型採用について**

- (1) ジョブ型採用についてどの程度知っているか
- (2) ジョブ型採用の採用選考に応募したことがある割合
- (3) ジョブ型採用の採用選考に応募した理由
- (4) ジョブ型採用の採用選考を受けた社数・平均
- (5) 入社予定先がジョブ型採用での採用だった割合
- (6) ジョブ型採用の募集はどこで探したか【複数回答】

**■9:キャリア形成活動・就職活動の時期について**

- (1) キャリア形成活動の開始時期
- (2) キャリア形成活動は実際の開始時期より何ヶ月前／後から開始したかったか
- (3) 就職活動の開始時期
- (4) 就職活動は実際の開始時期より何ヶ月前／後から開始したかったか

**■10:大学生活における習慣について**

- (1) 読書習慣(1ヶ月でどの程度読書をするか)
- (2) 読むことが多いジャンル
- (3) 1日の睡眠時間
- (4) 就寝時間
- (5) 食事習慣
- (6) 食事にかかる平均時間(分)
- (7) 運動習慣(1週間でどの程度運動・スポーツをするか)
- (8) よくする運動・スポーツ
- (9) 就職活動の開始前後での生活習慣の変化

**■11:グローバルな働き方について**

- (1) 外国語を必要とする職場や海外出張がある職場に関する考え
- (2) 大学や大学院在学中に海外に行ったことがあるか、および海外に行った目的
- (3) 勤務したいと思う国・地域【複数回答】

**■12:就職活動に関する書籍について**

- (1) 就職活動対策書籍の購入経験がある割合
- (2) 購入した書籍の形式
- (3) 購入した書籍の内容【複数回答】

**■13:就職活動に影響したニュースワード**

- (1) 就職活動に影響したニュースワード・全体【複数回答】
- (2) カテゴリー別ベスト5
- (3) 全体順位・経年推移
- (4) 選んだニュースワードは就職活動にどのように影響したのか

**■14:あなたの周りで流行った「就活用語」は**

- (1) 25年卒TOP10
- (2) ランク外で目新しかった用語、特徴的な用語

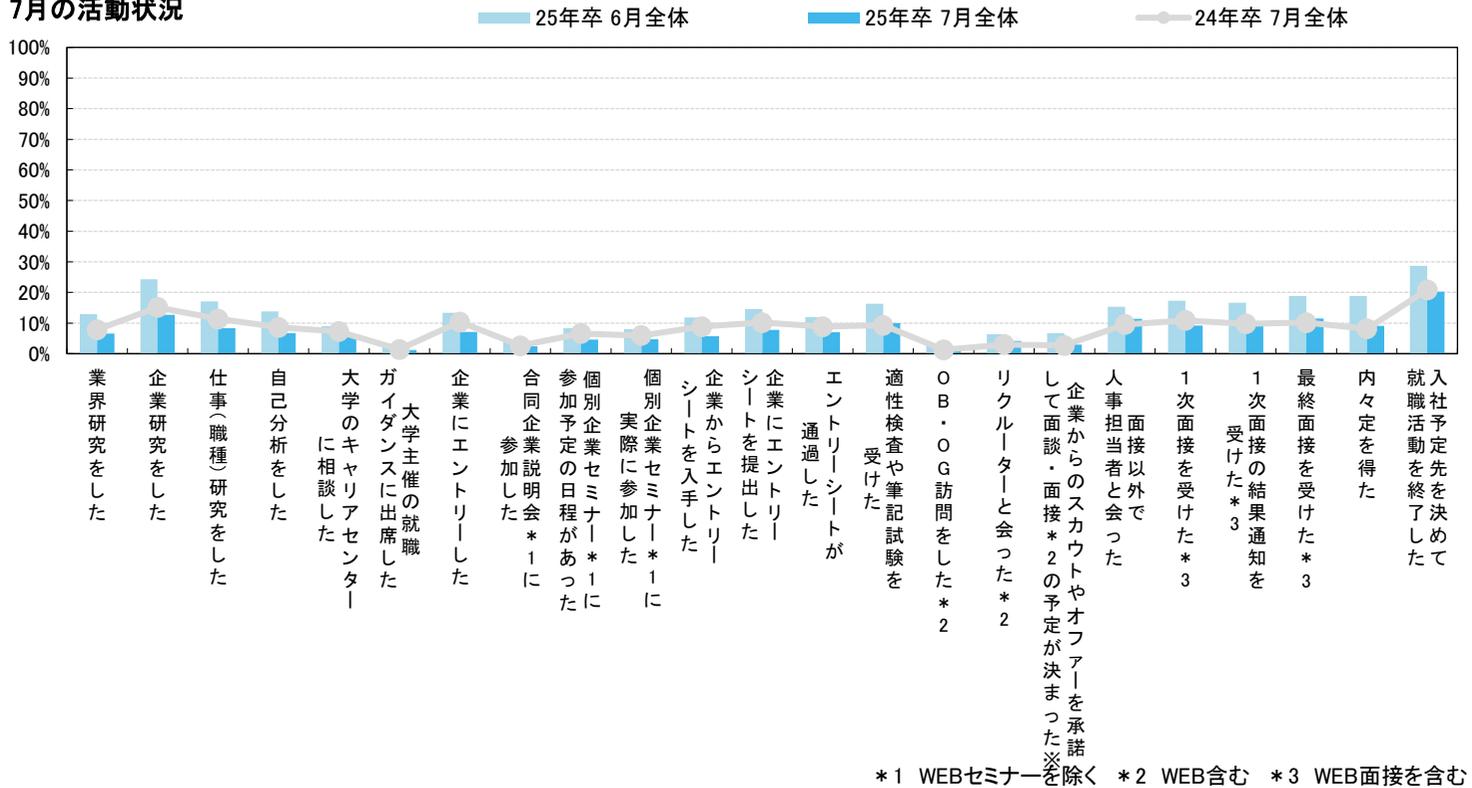
**■15:この人が人事担当だったら、その会社に入社したいランキング**

- (1) 男性部門TOP10
- (2) 女性部門TOP10
- (3) 架空のキャラクター部門TOP10
- (4) 選んだ理由

■1:7月の活動状況

7月の活動状況は、すべての項目で前月より活動割合が減った。前年と比較しても多くの項目で活動割合が減少したが、「最終面接を受けた（11.5%、対前年1.3pt増）」「内々定を得た（9.1%、対前年1.0pt増）」など、就職活動の後半の段階の活動が微増となった。7月中に入社予定先を決めて就職活動を終了した学生は20.2%（対前年0.7pt減）と前年同月とほぼ同じ割合であった。前年同様、多くの学生がすでに活動を終わっているようだ。

7月の活動状況

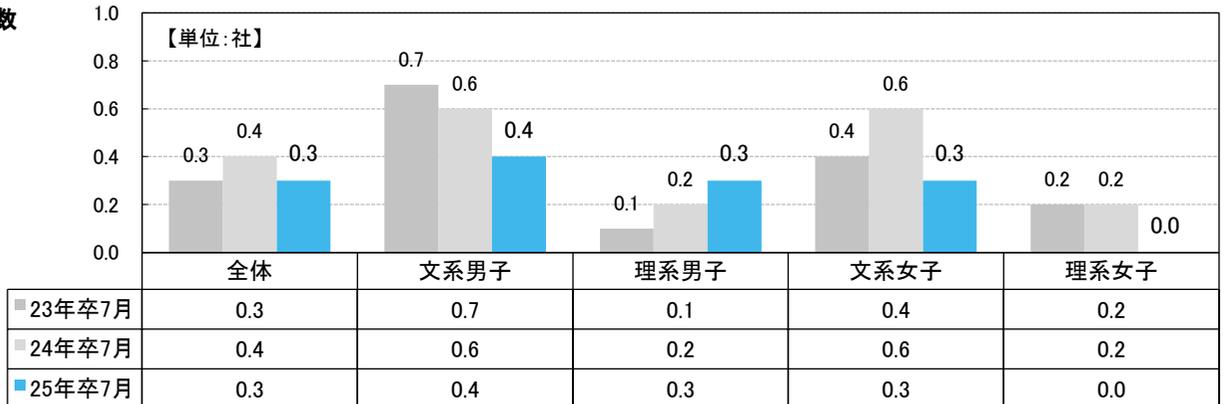


	25年卒			24年卒【参考】<前年>			<前々年> <前月>	
	7月全体	7月前半	7月後半	7月全体	7月前半	7月後半	23年卒 7月全体	25年卒 6月全体
業界研究をした	6.6%	5.3%	3.7%	7.9%	7.1%	4.5%	9.4%	12.9%
企業研究をした	12.7%	10.2%	7.4%	15.2%	12.6%	10.3%	15.9%	24.3%
仕事（職種）研究をした	8.3%	6.6%	4.9%	11.3%	9.5%	6.6%	11.5%	17.1%
自己分析をした	6.7%	5.1%	4.0%	8.6%	6.7%	5.5%	9.5%	13.8%
大学のキャリアセンターに相談した	5.9%	4.7%	3.3%	7.3%	4.9%	4.4%	8.8%	9.0%
大学主催の就職ガイダンスに出席した	1.2%	1.0%	0.4%	1.4%	1.1%	0.4%	1.5%	2.2%
企業にエントリーした	7.2%	6.2%	3.9%	10.4%	8.1%	6.1%	9.5%	13.4%
合同企業説明会に参加した*1	2.4%	1.7%	1.5%	2.6%	2.0%	1.0%	2.6%	4.4%
個別企業セミナーに参加予定の日程があった*1	4.6%	3.3%	2.4%	6.6%	4.8%	4.1%	5.5%	8.4%
個別企業セミナーに実際に参加した*1	4.7%	3.3%	2.3%	5.9%	4.4%	3.6%	6.4%	8.0%
企業からエントリーシートを入手した (企業HP・サイトからダウンロードや郵送で入手した)	5.7%	4.3%	2.8%	8.8%	6.0%	6.0%	7.7%	11.8%
企業にエントリーシートを提出した(入手したシートに記入し返送したり、WEBから直接書き込んだりした)	7.8%	6.4%	3.1%	10.2%	6.9%	6.3%	9.5%	14.6%
エントリーシートが通過した (シートを提出後、次の選考の案内が来た)	7.0%	5.8%	3.0%	8.9%	6.5%	4.4%	8.1%	11.9%
適性検査や筆記試験を受けた	9.9%	7.8%	3.8%	9.3%	7.1%	5.5%	11.4%	16.4%
OB・OG訪問をした*2	1.6%	0.9%	0.8%	1.3%	1.1%	0.4%	1.7%	2.6%
リクルーターと会った*2	4.2%	2.0%	2.5%	3.0%	2.0%	1.4%	3.8%	6.3%
企業からのスカウトやオファーを承諾して 面談・面接*2の予定が決まった	3.0%	1.9%	2.2%	2.7%	1.7%	1.8%	3.4%	6.7%
面接以外で人事担当者と会った	11.4%	5.7%	6.6%	9.6%	5.5%	5.0%	9.9%	15.3%
1次面接を受けた*3	9.2%	7.2%	4.1%	10.9%	8.3%	6.0%	11.1%	17.3%
1次面接の結果通知を受けた*3	9.1%	6.3%	4.4%	9.8%	6.6%	6.1%	10.6%	16.7%
最終面接を受けた*3	11.5%	6.5%	6.6%	10.2%	6.5%	5.2%	11.0%	18.9%
内々定を得た	9.1%	6.7%	3.1%	8.1%	5.8%	3.1%	10.7%	18.8%
入社予定先を決めて就職活動を終了した	20.2%	16.0%	8.5%	20.9%	17.6%	7.7%	21.3%	28.6%
内々定を得ていないが就職活動を中止した	1.3%	0.9%	0.6%	2.7%	1.8%	1.4%	3.3%	2.0%

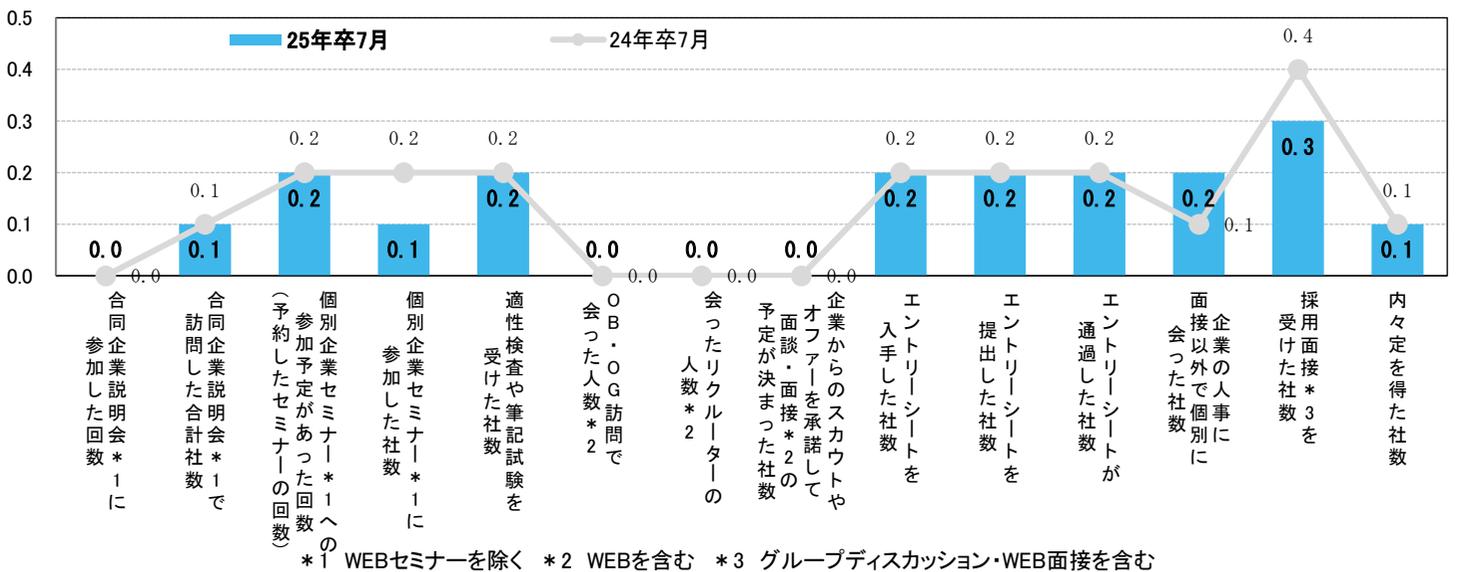
■2: エントリー状況、セミナー参加やエントリーシート提出状況

7月の平均エントリー社数は0.3社（対前年0.1pt減）となった。多くの学生が就職活動を終了し、今から新しい企業にエントリーをする学生は限定的になっていると考えられる。7月までのエントリー社数平均の累計は、昨年の23.2社から1.3pt減少し、21.9社となった。7月までの個別企業セミナー参加社数平均の累計は6.9社（前年同値）、採用面接を受けた社数平均の7月までの累計は10.4社（対前年0.4pt減）で、いずれも前年と同程度の結果となった。

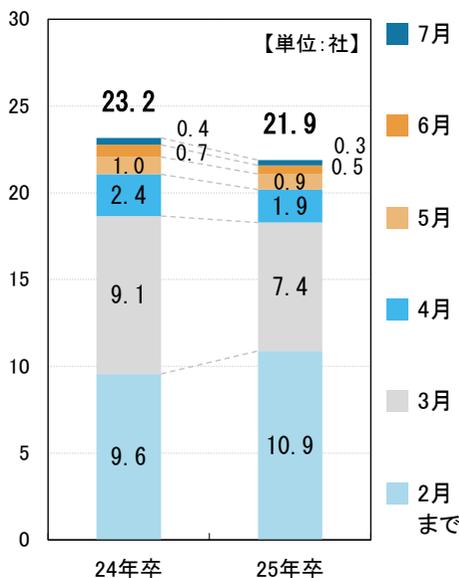
7月平均エントリー社数



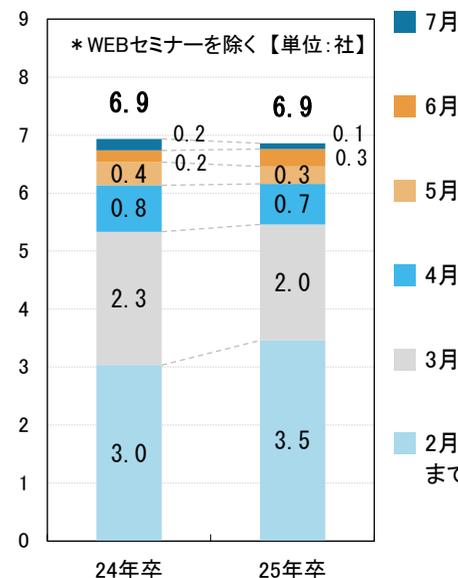
合同企業説明会、個別企業セミナーの参加社数、適性検査受験社数、エントリーシート提出社数（平均）



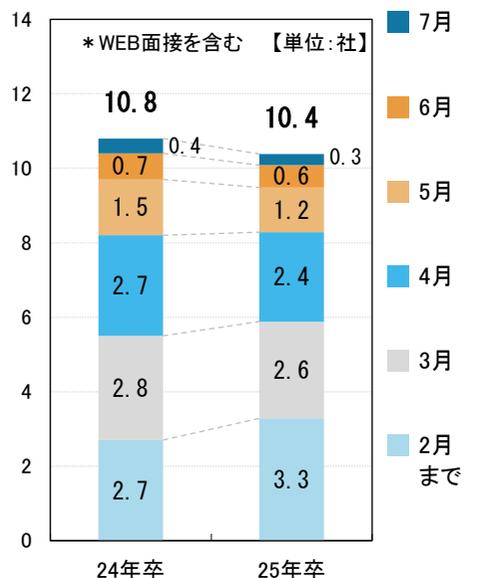
エントリー社数平均累計



個別企業セミナー参加社数平均累計



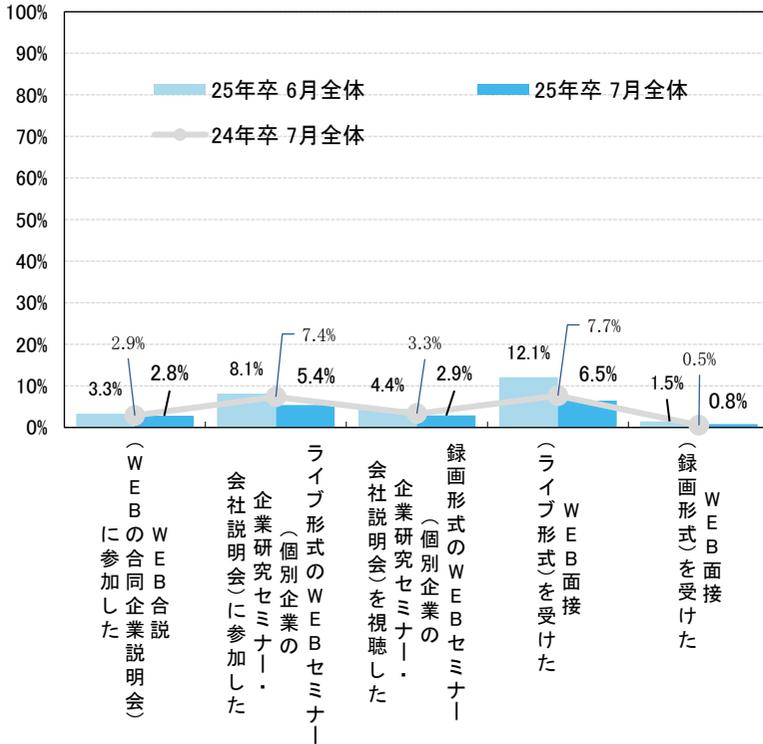
採用面接を受けた社数平均累計



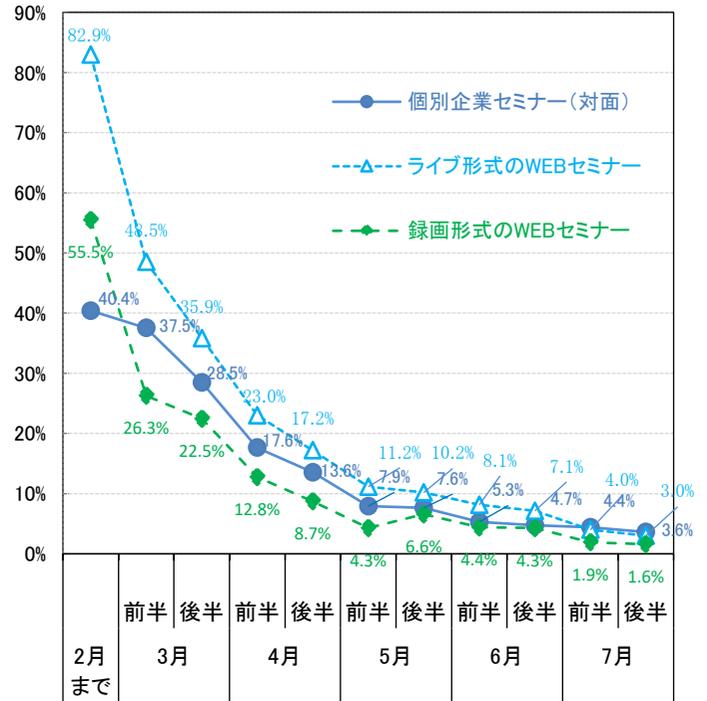
7月のWEB上での活動割合もすべての項目で前月の割合を下回った。

7月までの累計社数でも、ライブ形式のWEBセミナー（13.2社、対前年1.4pt減）、録画形式のWEBセミナー（3.7社、対前年0.8pt減）、WEB面接を受けた社数（7.7社、対前年0.7pt減）の全てで減少している。

7月のWEB上での活動状況

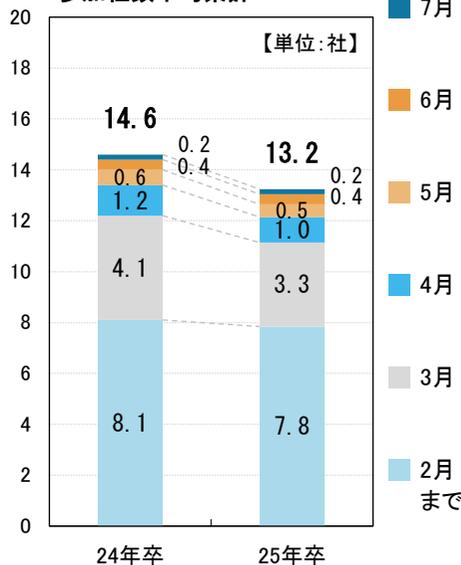


WEB面接(ライブ形式)を受けた割合・半月ごとの推移

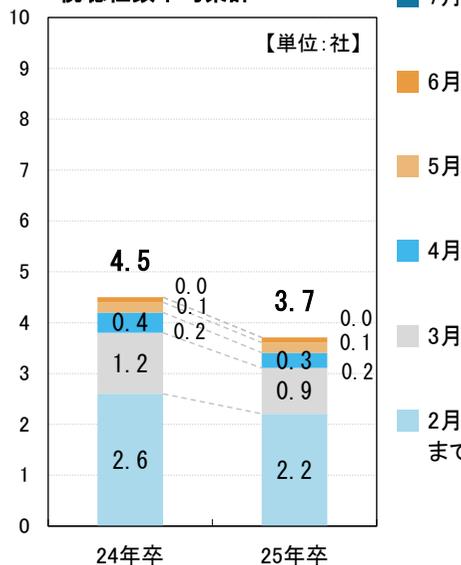


	25年卒			24年卒【参考】<前年>			<前々年>	
	7月全体	7月前半	7月後半	7月全体	7月前半	7月後半	23年卒 7月全体	25年卒 6月全体
WEB合説(WEBの合同企業説明会)に参加した	2.8%	1.7%	1.7%	2.9%	2.4%	1.0%	3.7%	3.3%
ライブ形式のWEBセミナー(個別企業の企業研究セミナー・会社説明会)に参加した	5.4%	4.0%	3.0%	7.4%	5.2%	4.7%	7.3%	8.1%
録画形式のWEBセミナー(個別企業の企業研究セミナー・会社説明会)を視聴した	2.9%	1.9%	1.6%	3.3%	2.1%	2.2%	4.9%	4.4%
WEB面接(ライブ形式)を受けた	6.5%	5.2%	3.6%	7.7%	5.9%	4.5%	8.6%	12.1%
WEB面接(録画形式)を受けた	0.8%	0.4%	0.5%	0.5%	0.2%	0.4%	2.2%	1.5%

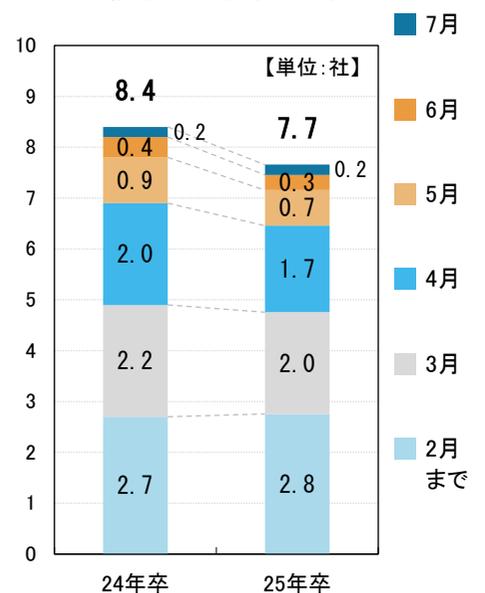
ライブ形式のWEBセミナー参加社数平均累計



録画形式のWEBセミナー視聴社数平均累計



WEB面接を受けた社数平均累計



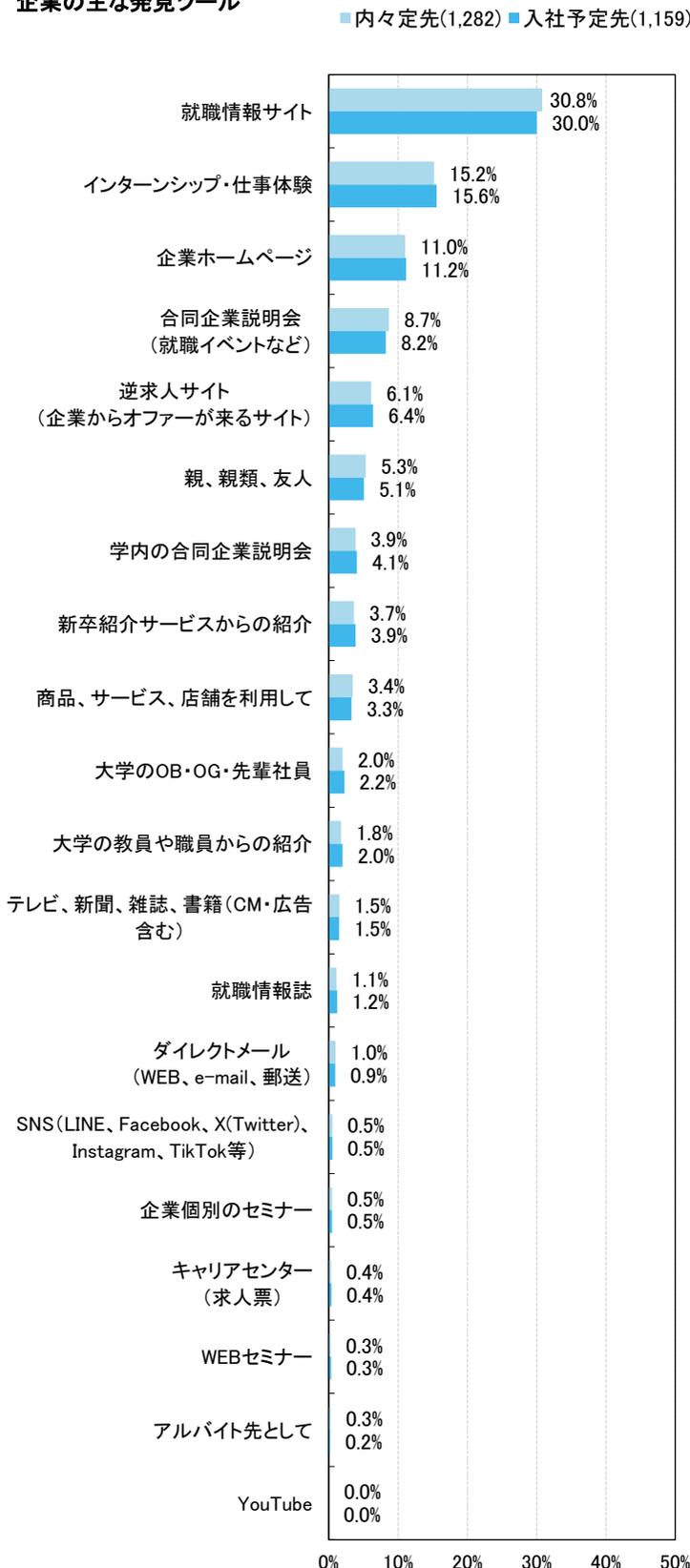
### ■3: 内々定保有者の活動状況

内々定を得ている人のうち入社予定先を決めている割合は89.5%（対前年1.0pt減）で前年から微減となったが、直近3年間の7月の結果としては約9割で同程度となっている。

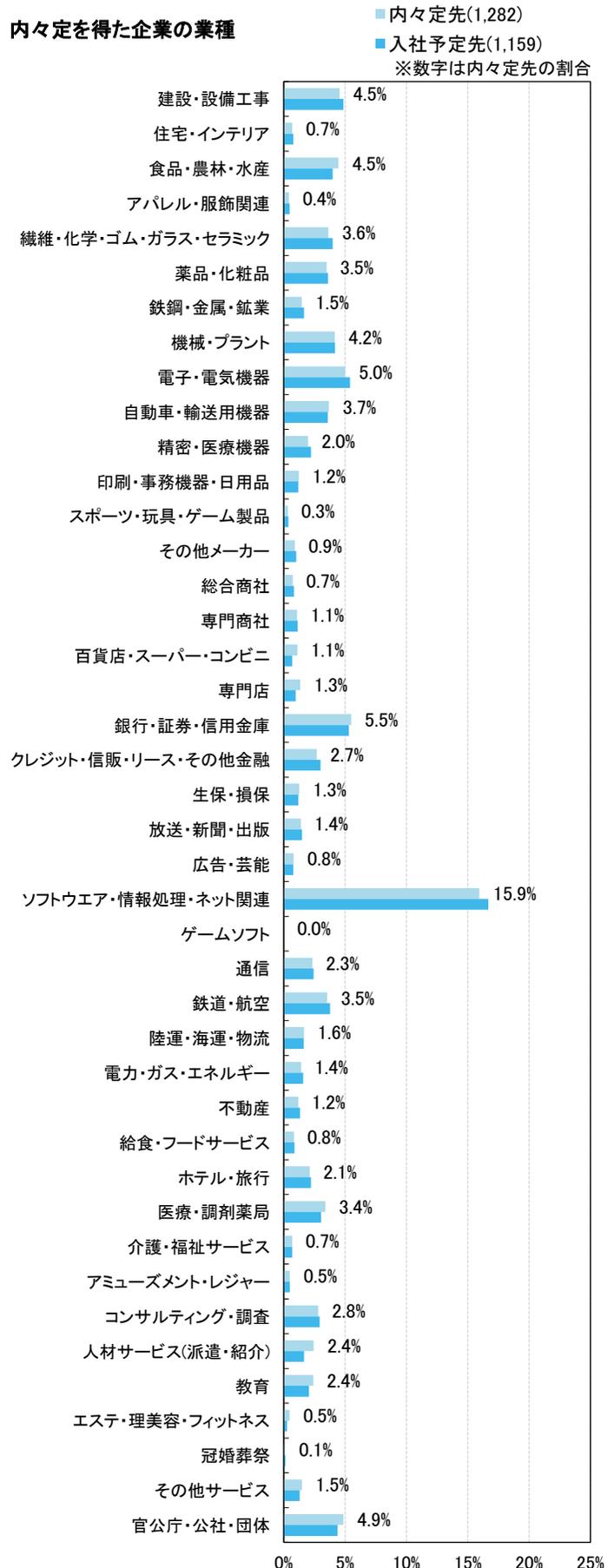
入社予定先企業は初めてその企業と接触する前の時点では第何志望だったかを聞くと、第一志望は35.4%（対前年2.6pt減）で、さらにその企業に入社したいと最初に強く思ったタイミングについては「就職活動を開始する前から」が8.8%（対前年1.6pt減）となった。最も多かったのは前年同様「インターンシップ・仕事体験参加時」で25.3%（対前年0.6pt増）となった。

※内々定保有者に対し、以下のように聞いています。  
 入社予定先を決めている人：入社予定先の企業  
 入社予定先を決めていない人：内々定先のうち最も志望度が高い企業

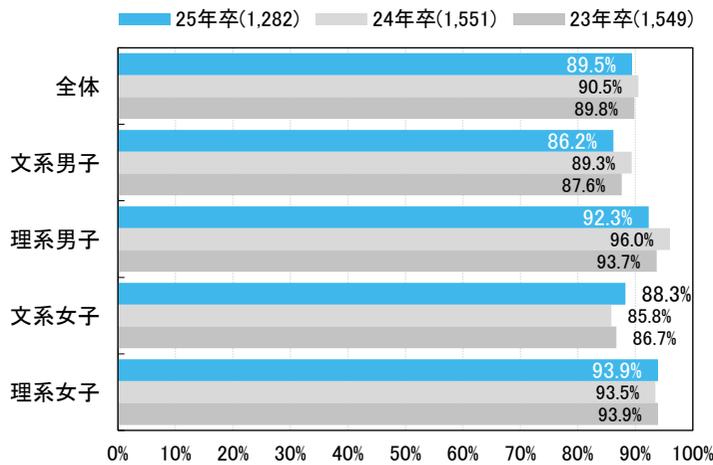
#### 企業の主な発見ツール



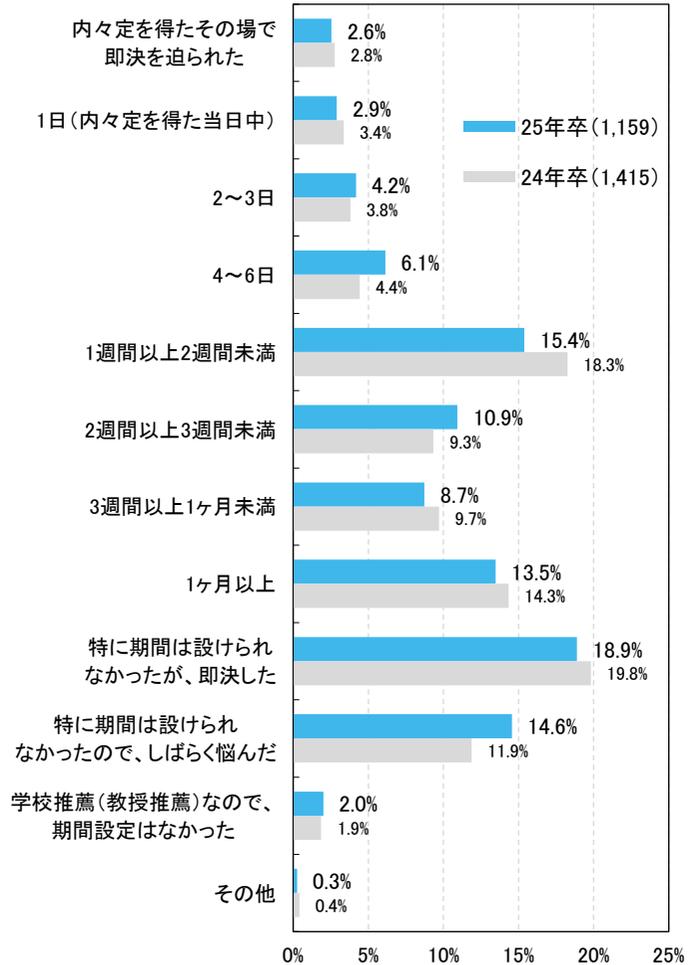
#### 内々定を得た企業の業種



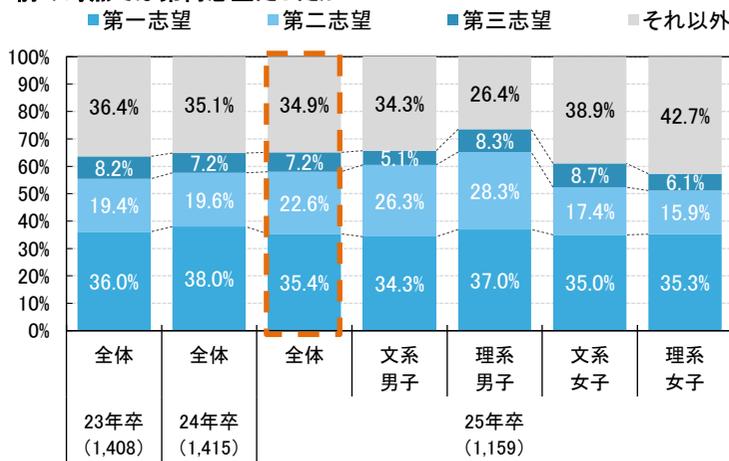
現段階で内々定獲得企業の中から入社予定先を決めている割合



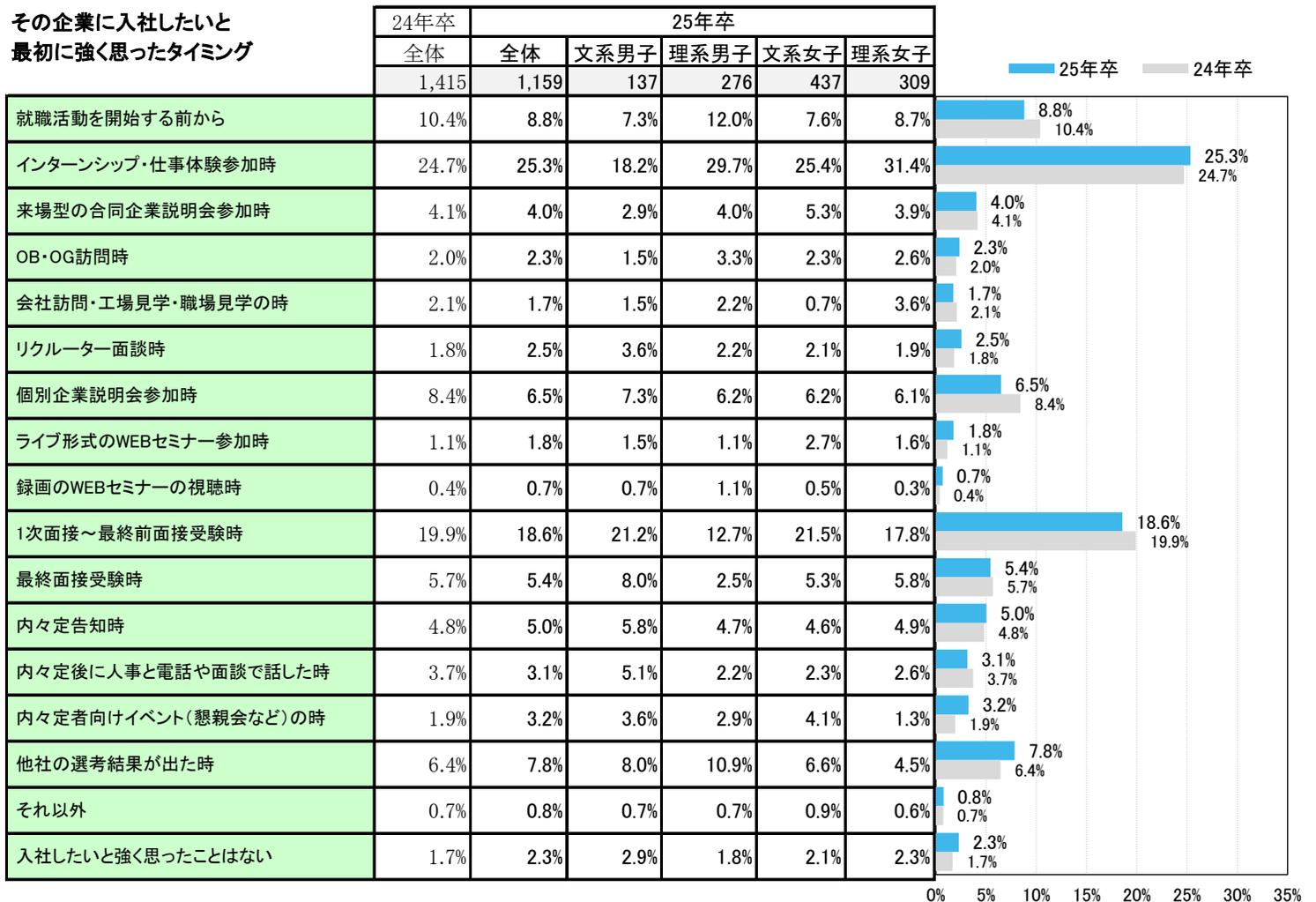
内々定獲得後、入社意思を固めるまでにもらった時間



入社予定先企業は、初めてその企業と接触する前の時点では第何志望だったか



その企業に入社したいと最初に強く思ったタイミング



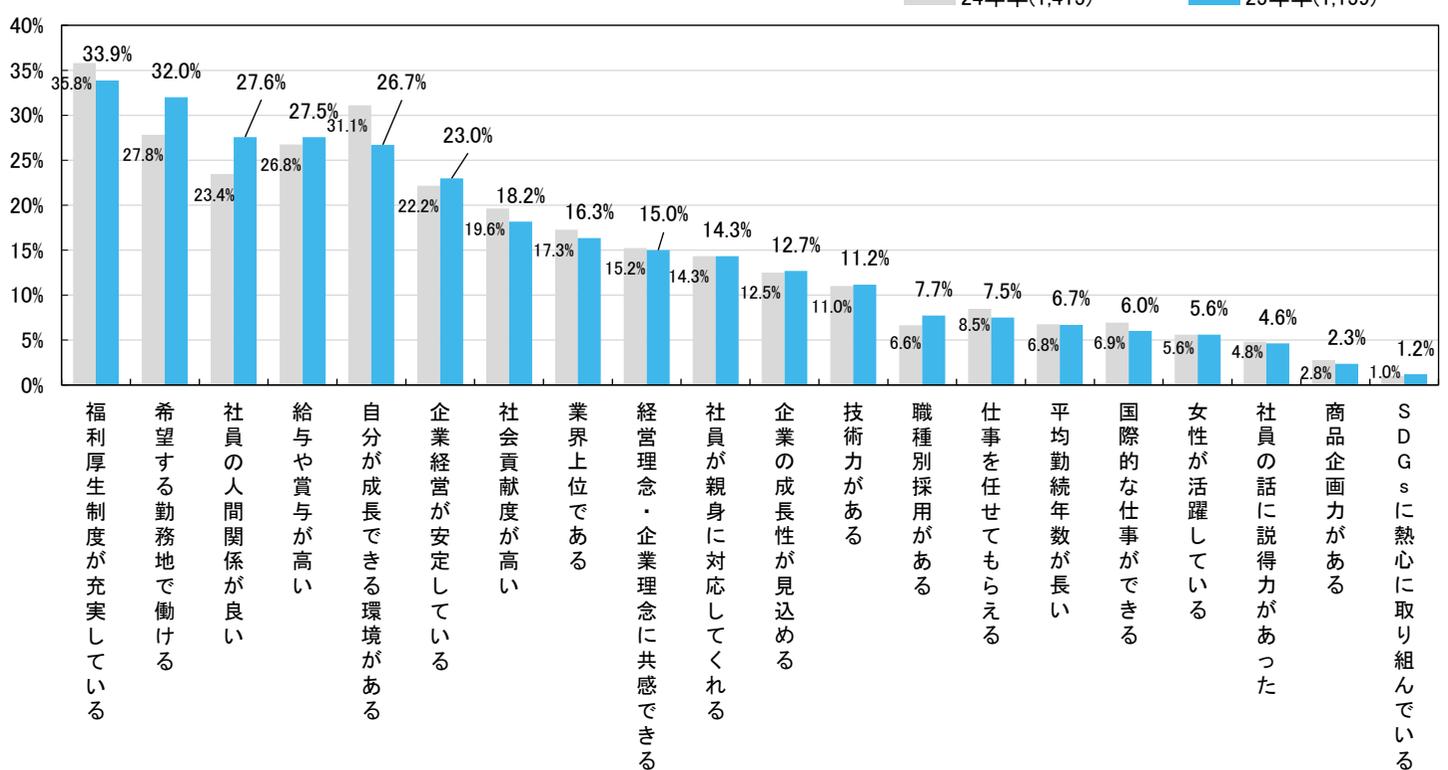
入社予定先企業を選択したポイント（ベスト3まで選択）は昨年に引き続き「福利厚生制度が充実している（33.9%、対前年1.9pt減）」の回答が最も多く、次いで「希望する勤務地で働ける（32.0%、対前年4.2pt増）」「社員の人間関係が良い（27.6%、対前年4.2pt増）」などが高かった。  
 入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合は増加傾向で、25年卒の7月回答では55.1%（対前年2.6pt増）と過半数を超えた。特に理系学生では理系男子60.1%（対前年0.9pt増）、理系女子65.0%（対前年5.2pt増）と、6割を超えている。入社予定先からの採用選考がインターンシップ・仕事体験参加者限定の者だった割合は65.6%で、前年より10.8pt増加した。

入社予定先企業を選択したポイント

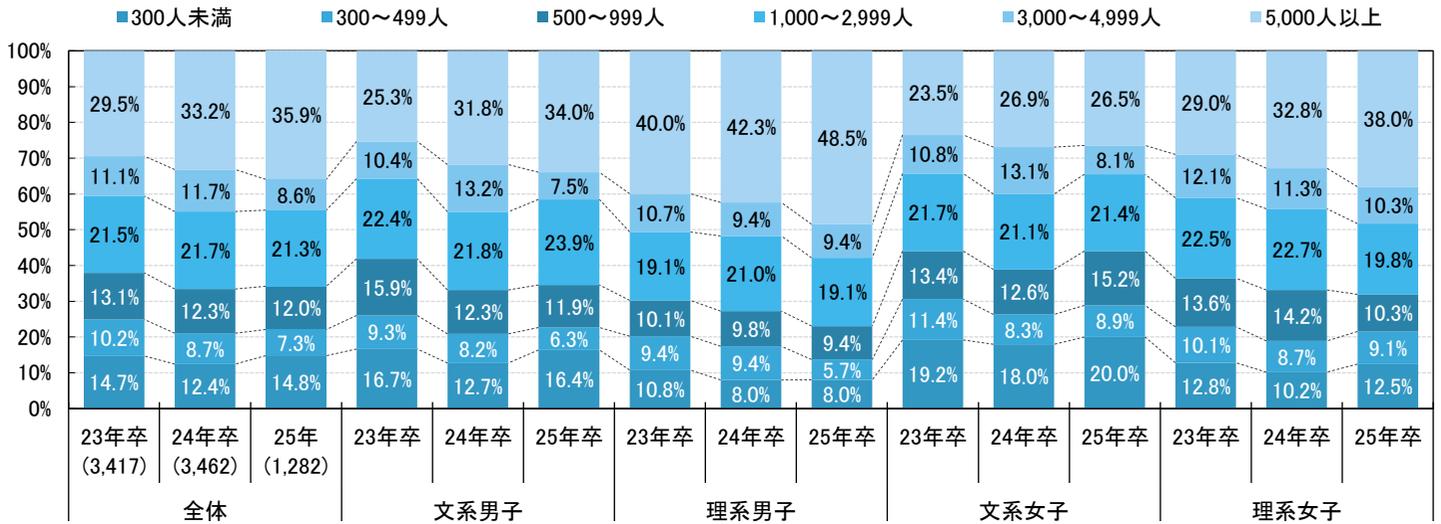
（企業を選ぶとき注目するポイントの順位と比較）

	ベスト3まで選択						最も重視したポイント			
	順位	前年 順位	全体	文系男子	理系男子	文系女子	順位	前年 順位	全体	
			1,159	137	276	437			309	1,159
福利厚生制度が充実している	1	1	33.9%	32.8%	29.3%	38.4%	34.6%	2	3	10.5%
希望する勤務地で働ける	2	3	32.0%	21.2%	30.4%	41.4%	36.9%	1	2	11.7%
社員の人間関係が良い	3	5	27.6%	25.5%	21.0%	33.9%	30.4%	4	4	10.2%
給与や賞与が高い	4	4	27.5%	27.7%	38.0%	21.7%	20.4%	5	6	8.9%
自分が成長できる環境がある	5	2	26.7%	26.3%	30.1%	24.9%	25.2%	3	1	10.3%
企業経営が安定している	6	6	23.0%	24.8%	21.4%	22.0%	24.3%	7	5	6.8%
社会貢献度が高い	7	7	18.2%	23.4%	17.4%	14.6%	16.5%	6	7	8.0%
業界上位である	8	8	16.3%	16.8%	23.2%	9.8%	16.5%	8	10	5.5%
経営理念・企業理念に共感できる	9	9	15.0%	24.1%	7.6%	14.4%	11.3%	10	9	4.3%
社員が親身に対応してくれる	10	10	14.3%	14.6%	7.6%	19.5%	15.2%	9	8	4.6%
企業の成長性が見込める	11	11	12.7%	16.1%	15.6%	8.2%	10.0%	11	11	3.6%
技術力がある	12	12	11.2%	5.1%	26.4%	2.1%	14.6%	14	12	2.7%
職種別採用がある	13	16	7.7%	4.4%	8.7%	9.6%	8.7%	12	13	3.1%
仕事を任せられる	14	13	7.5%	10.2%	6.2%	6.6%	6.1%	15	14	2.1%
平均勤続年数が高い	15	15	6.7%	8.8%	6.2%	6.2%	4.5%	16	16	1.9%
国際的な仕事ができる	16	14	6.0%	6.6%	5.1%	6.6%	5.2%	13	15	2.9%
女性が活躍している	17	17	5.6%	1.5%	0.0%	12.6%	9.4%	18	18	1.0%
社員の話に説得力があった	18	18	4.6%	6.6%	2.5%	4.1%	5.5%	17	17	1.2%
商品企画力がある	19	19	2.3%	2.2%	2.2%	2.1%	3.6%	19	19	0.7%
SDGsに熱心に取り組んでいる	20	20	1.2%	1.5%	1.1%	1.1%	1.0%	20	20	0.2%

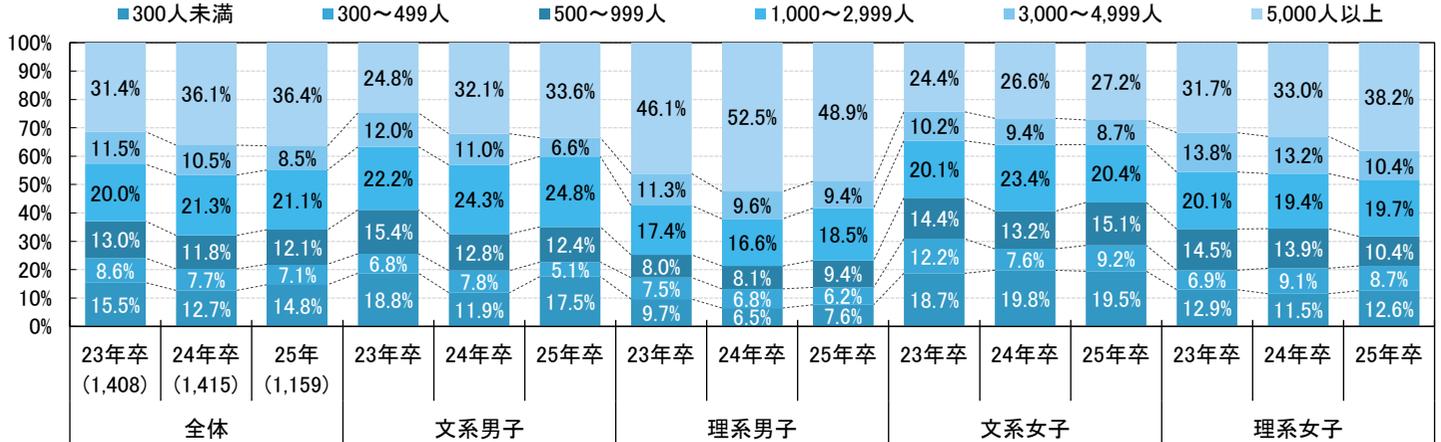
入社予定先企業を選択したポイント・前年比較(7月)



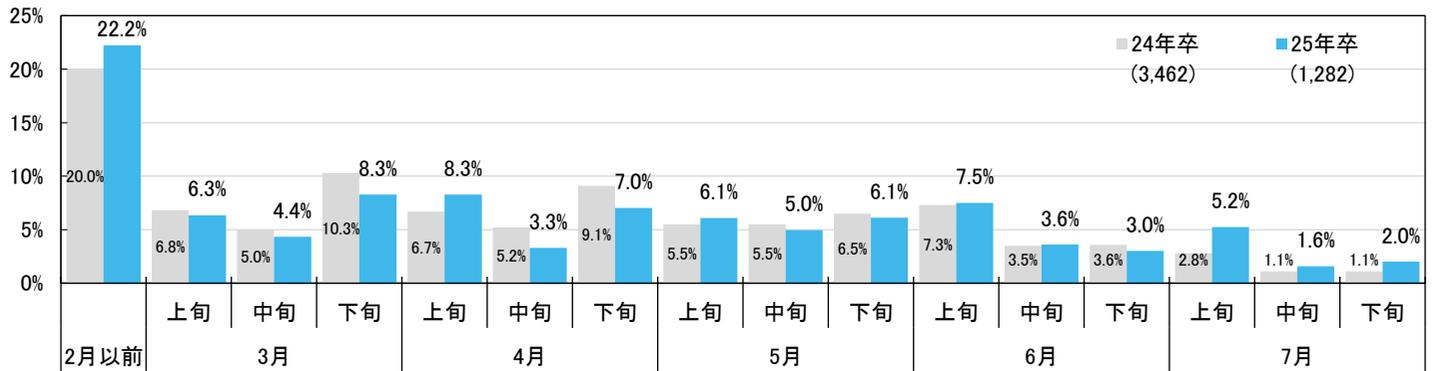
内々定を得た企業の規模 \* 各卒年の7月調査



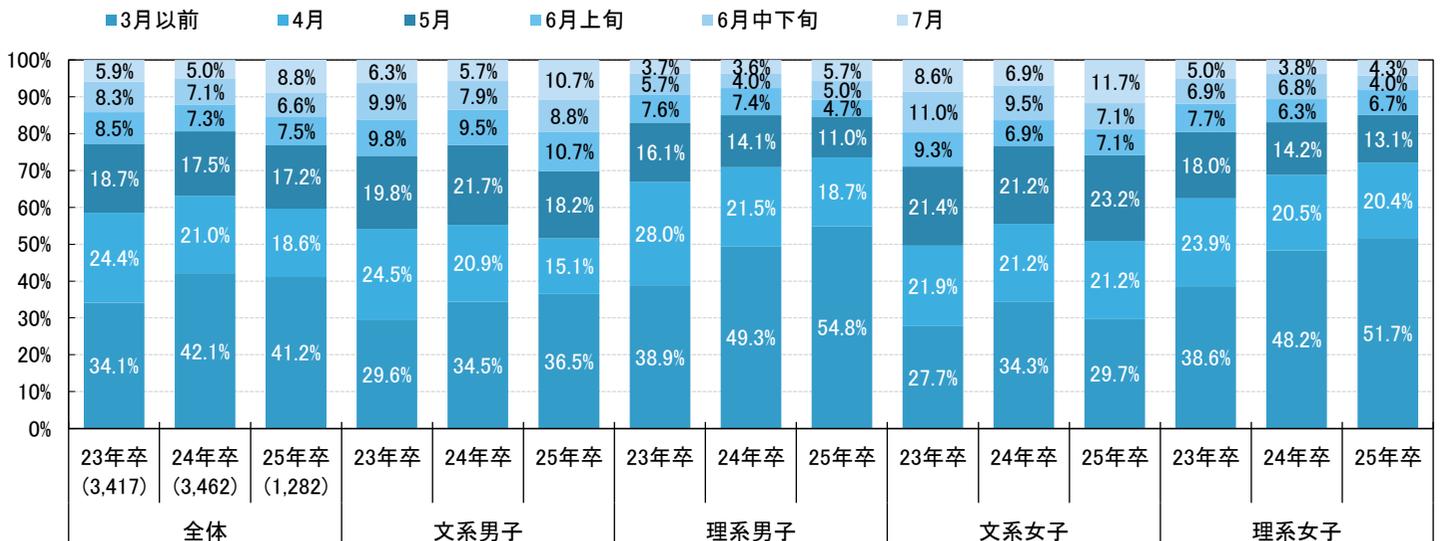
入社予定先企業の規模 \* 各卒年の7月調査



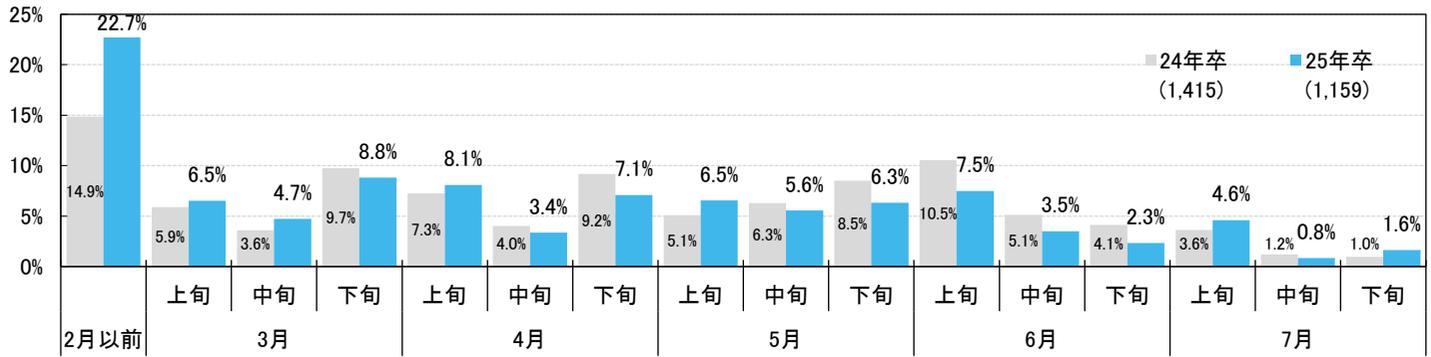
内々定を得た時期



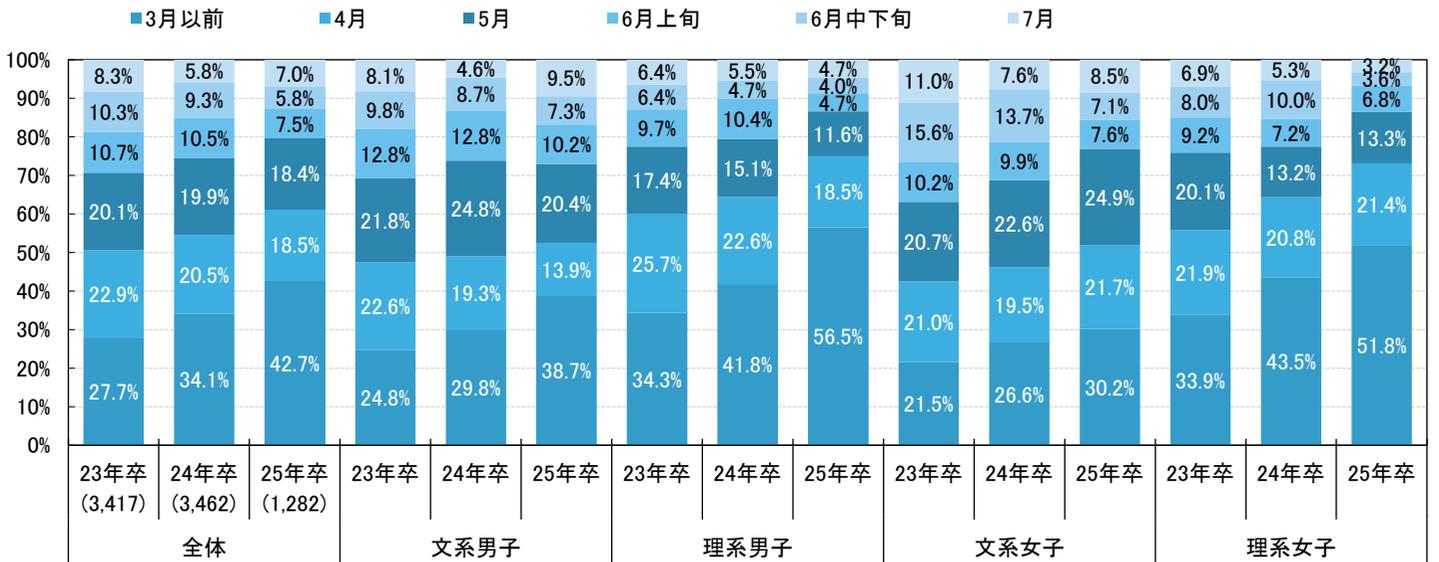
内々定を得た時期・文理男女経年比較 ※四捨五入前の数値で足し算をしているため上表と合わない場合あり



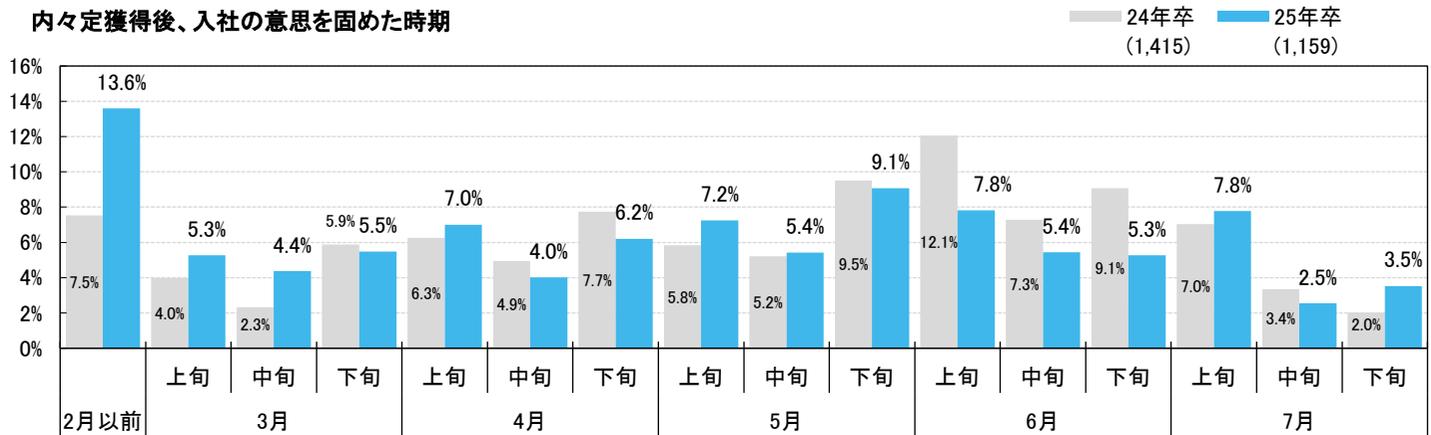
入社予定先の企業から内々定を得た時期



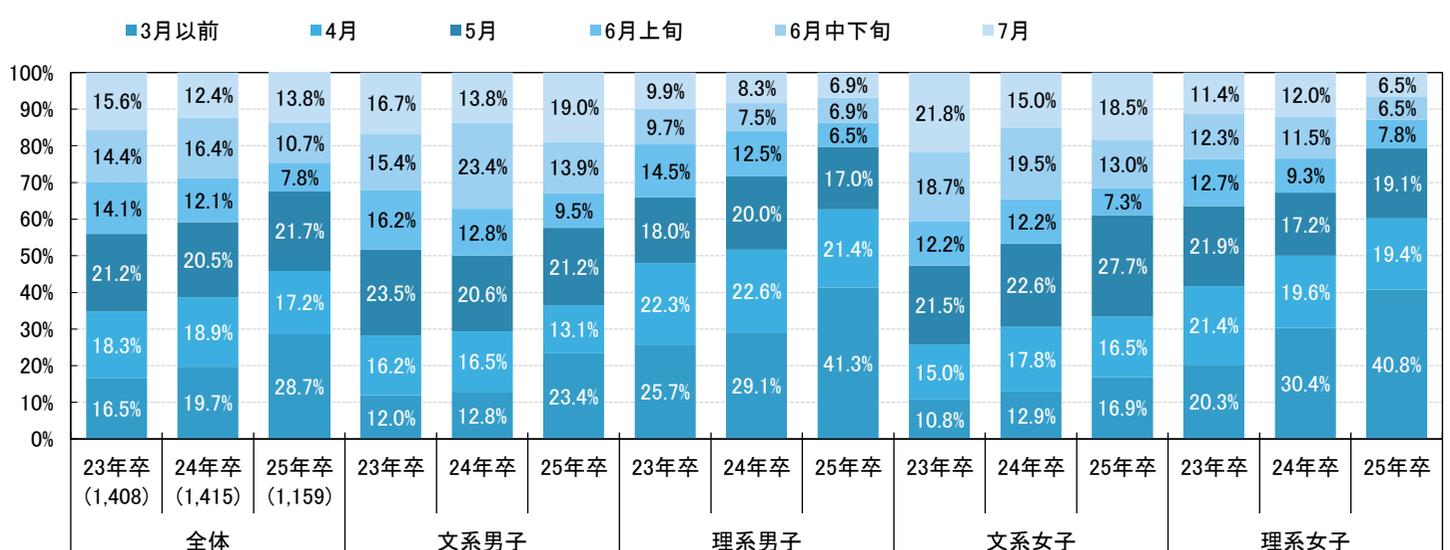
入社予定先の企業から内々定を得た時期・文理男女経年比較 ※四捨五入前の数値で足し算をしているため上表と合わない場合あり



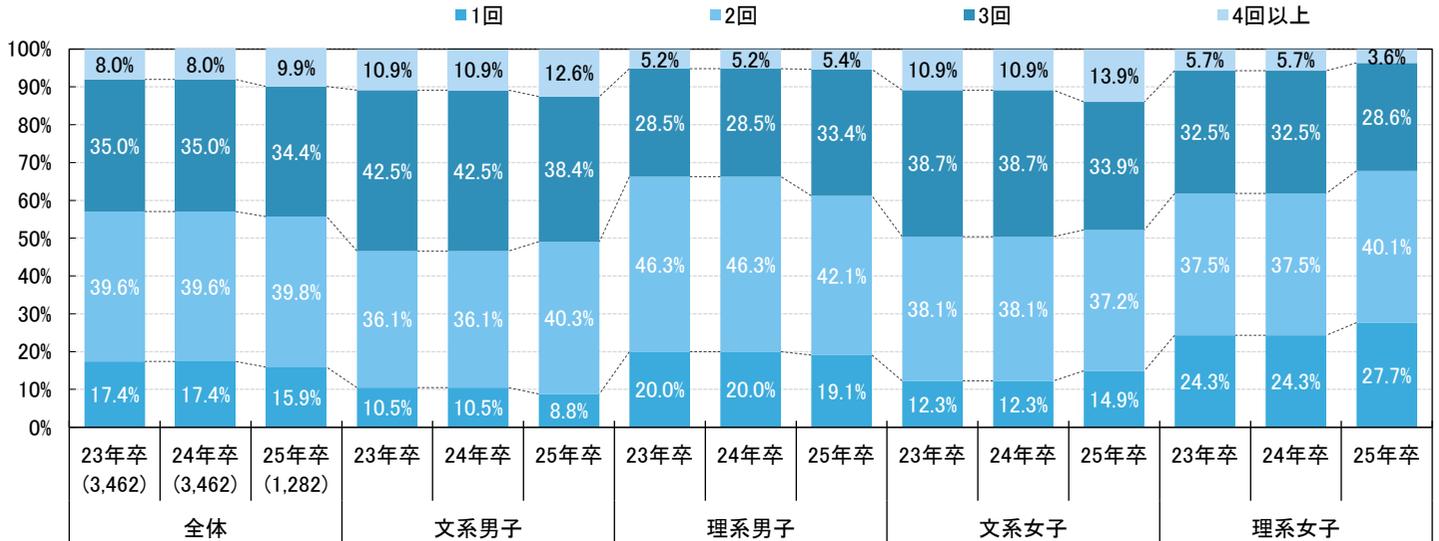
内々定獲得後、入社を固めた時期



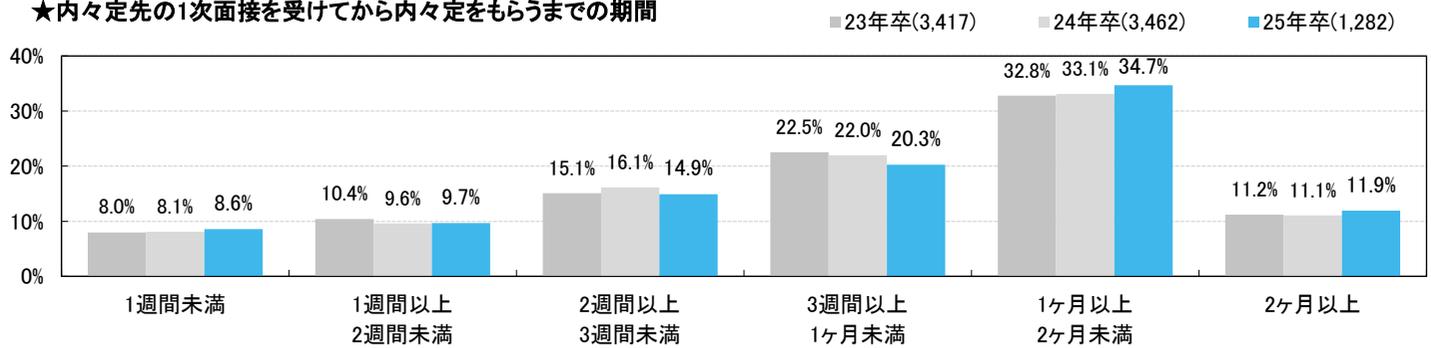
内々定獲得後、入社を固めた時期・文理男女経年比較 ※四捨五入前の数値で足し算をしているため上表と合わない場合あり



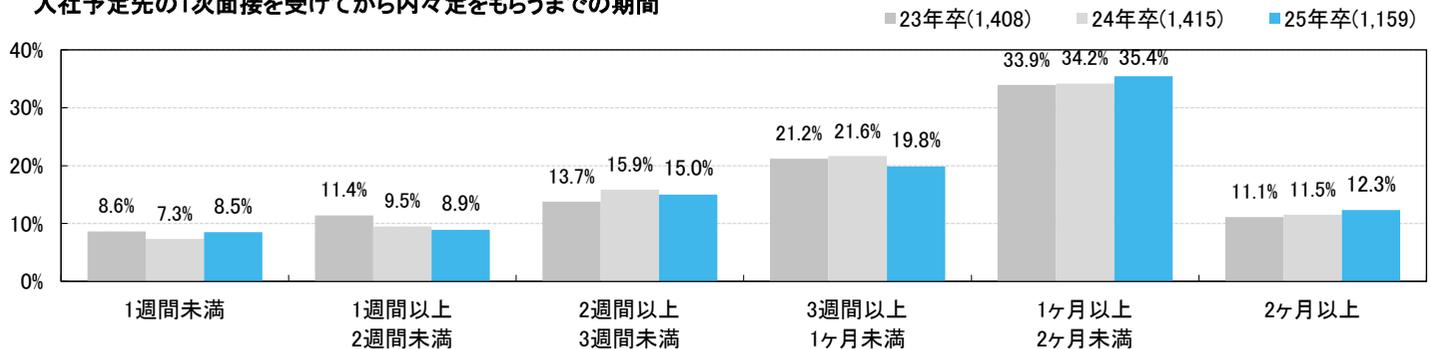
★1次面接～内々定までの選考回数



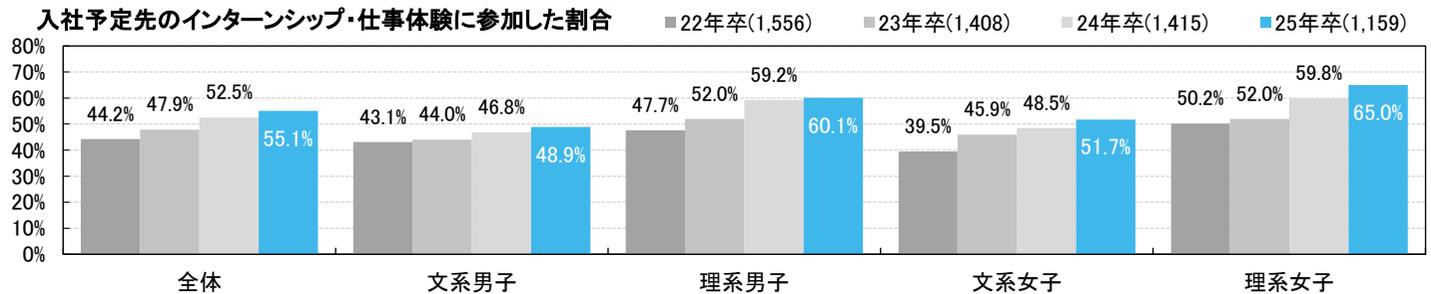
★内々定先の1次面接を受けてから内々定をもらうまでの期間



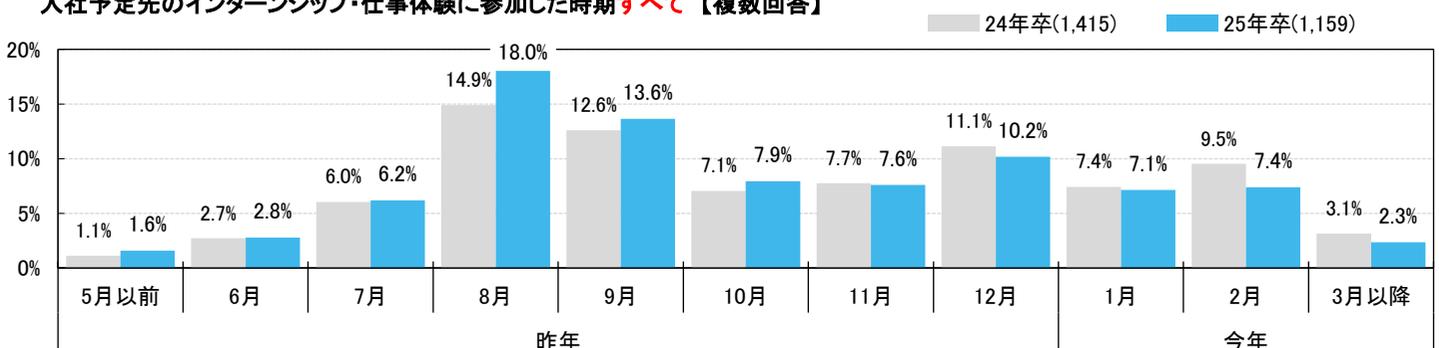
入社予定先の1次面接を受けてから内々定をもらうまでの期間



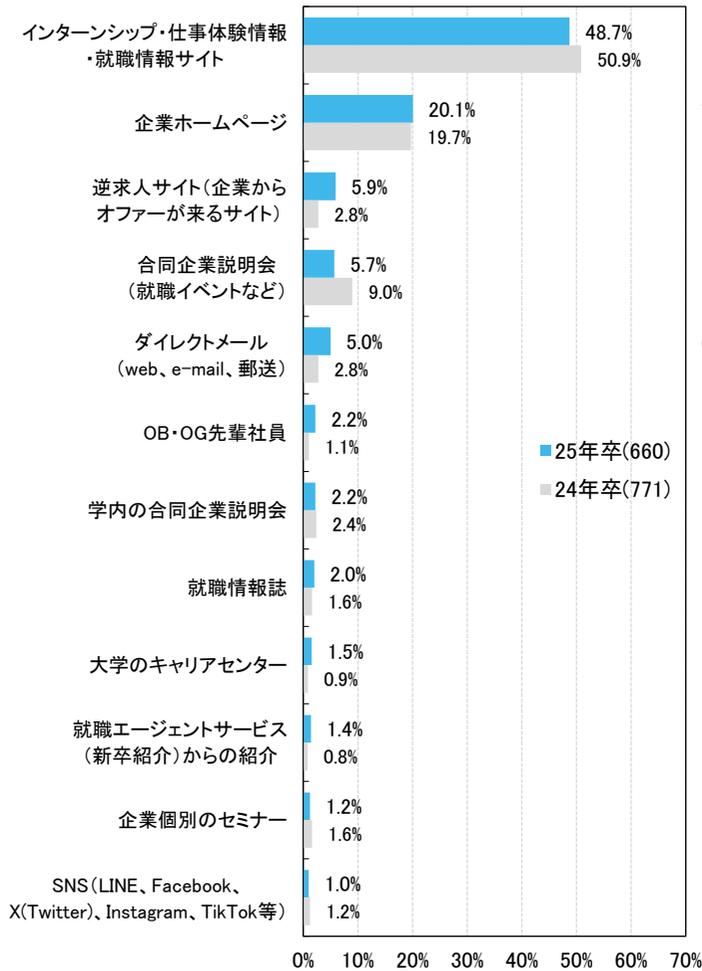
入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した割合



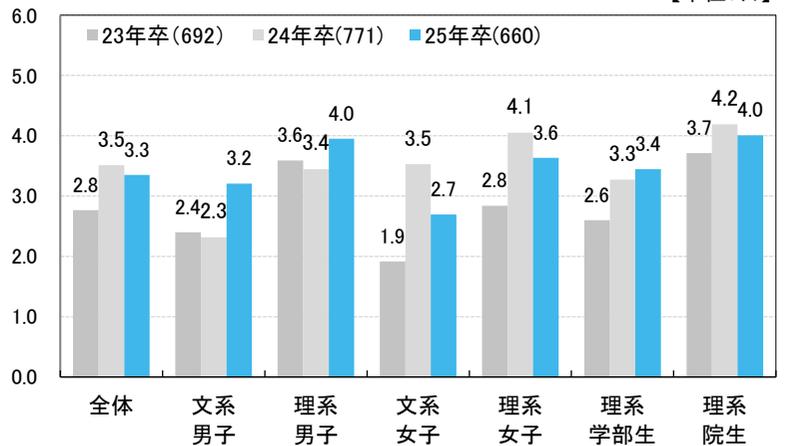
入社予定先のインターンシップ・仕事体験に参加した時期すべて【複数回答】



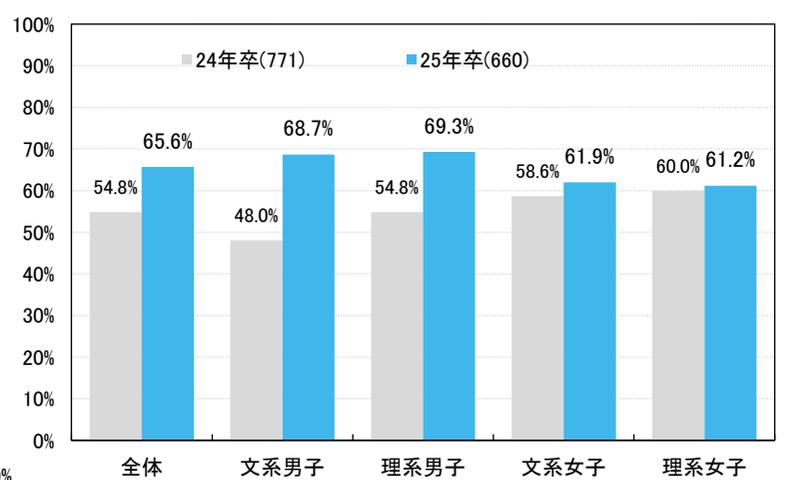
入社予定先のインターンシップ・仕事体験の  
主な発見ツール ※上位抜粋



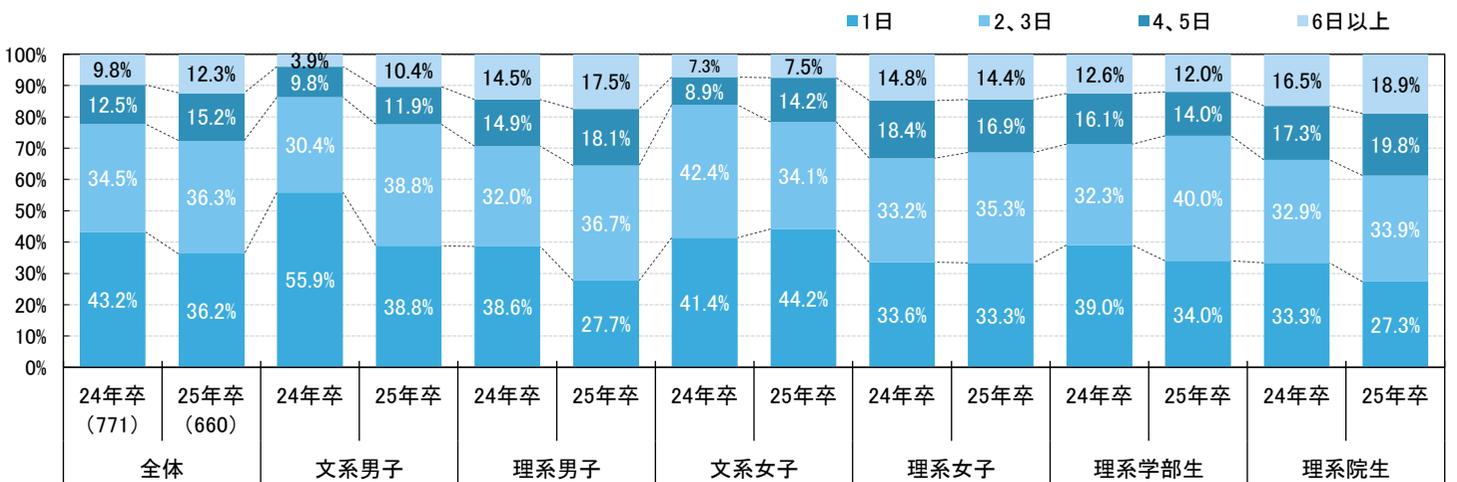
入社予定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(平均) 【単位:日】



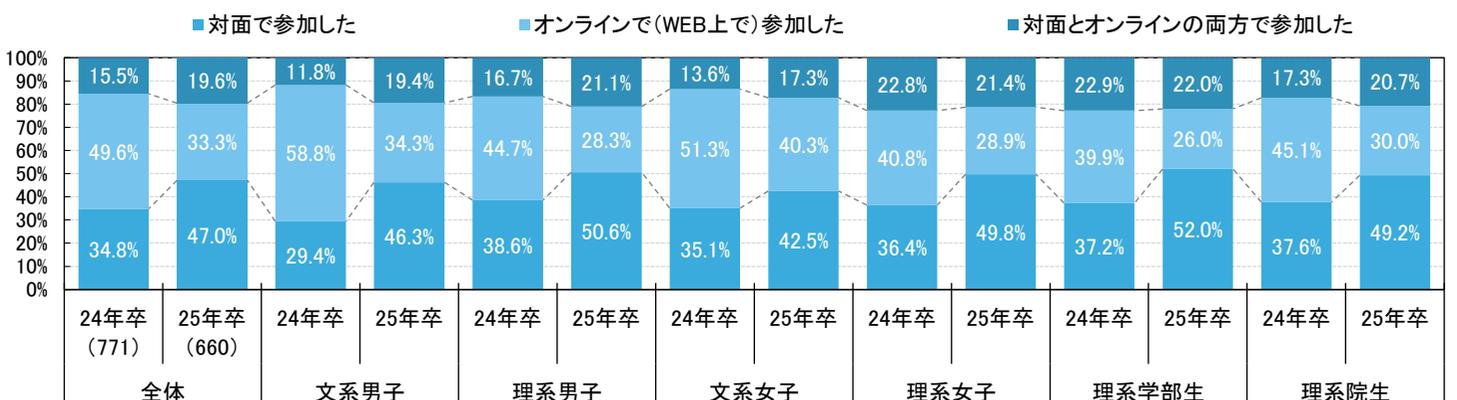
受けた入社予定先の採用選考が  
インターンシップ・仕事体験参加者限定のものだった割合



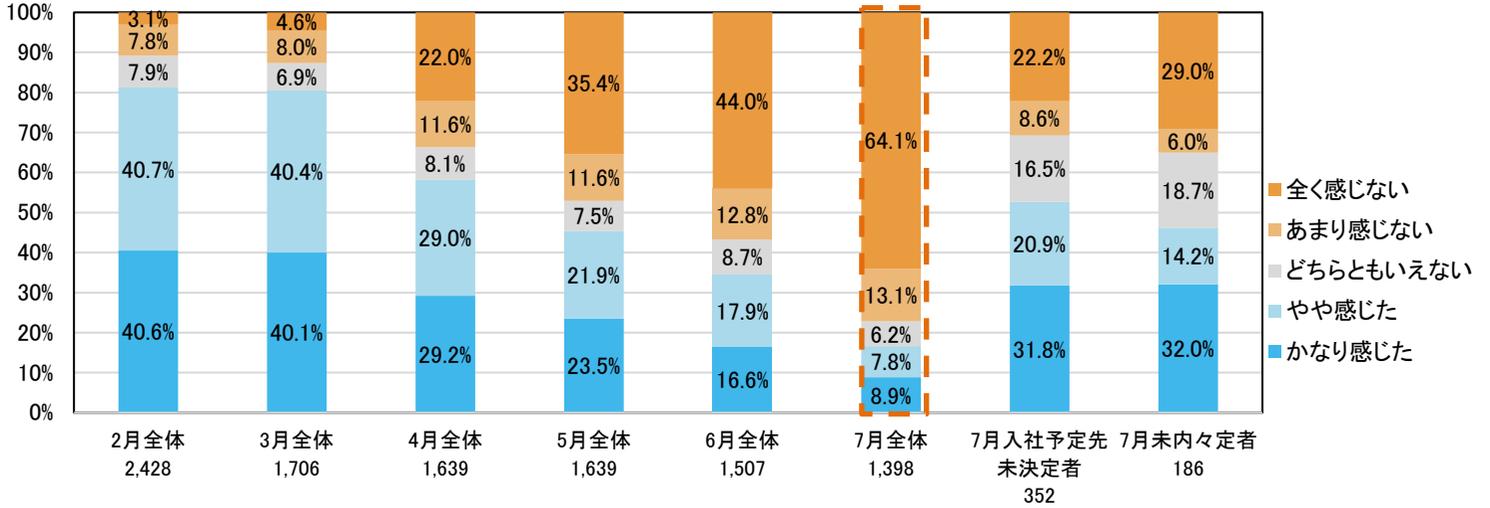
入社予定先のインターンシップ・仕事体験参加日数(分布)



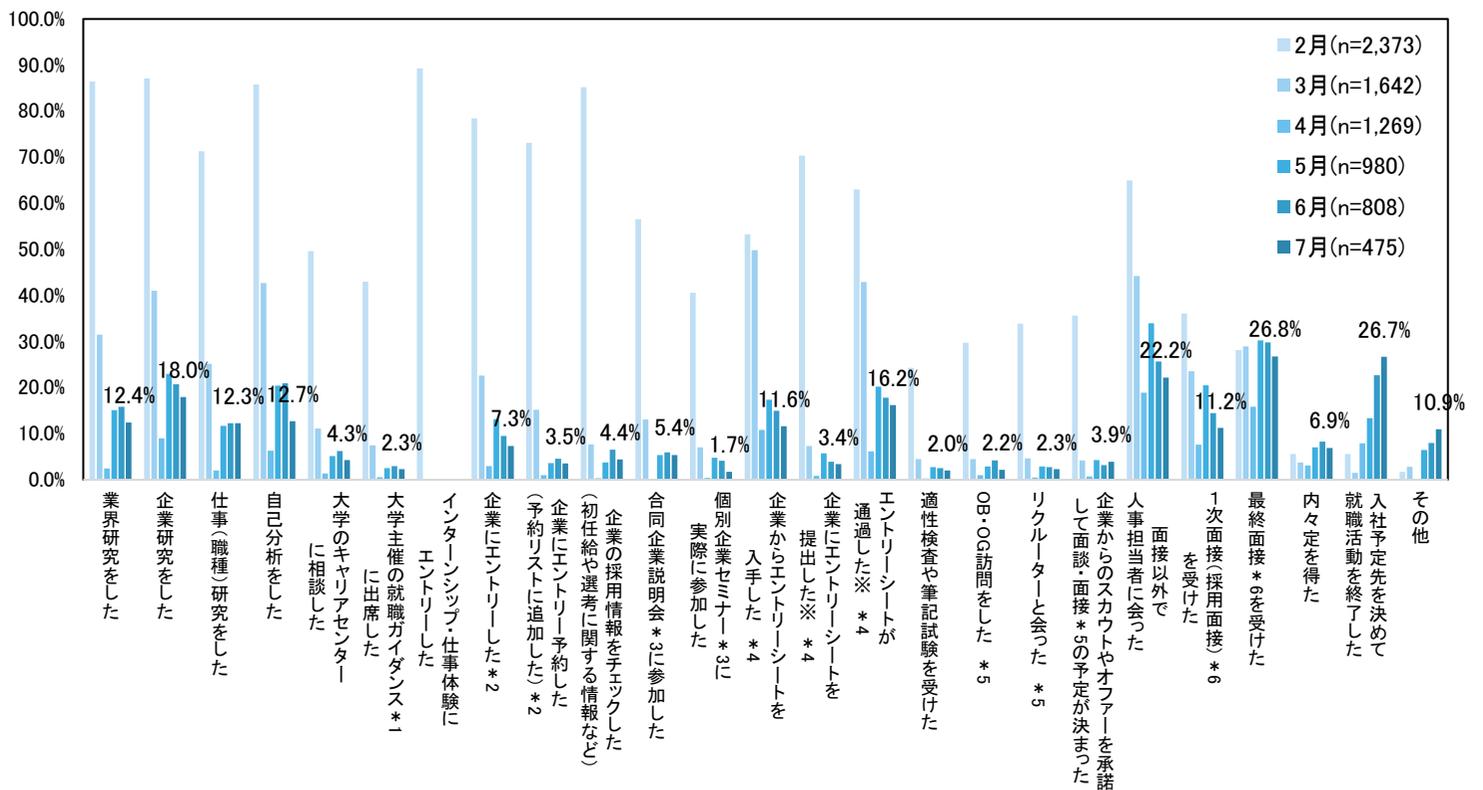
入社予定先のインターンシップ・仕事体験には対面で参加したか、オンラインで参加したか



就活疲れを感じたことはあるか(就活準備を含む)

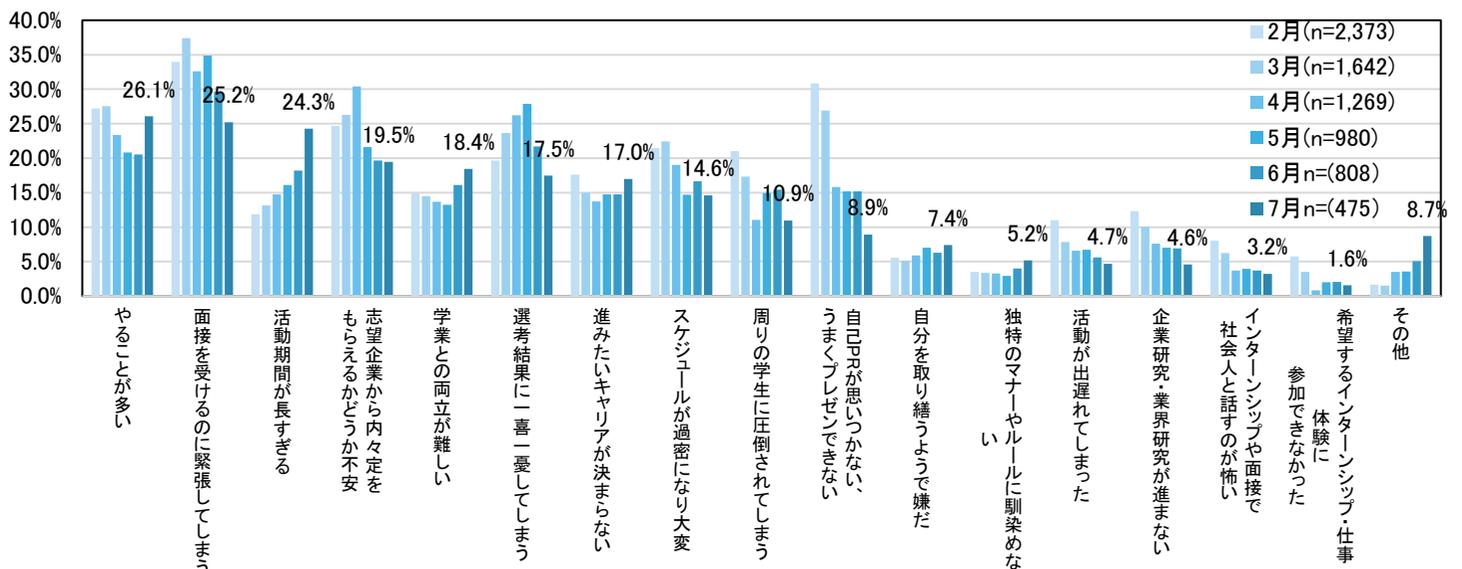


就活疲れを感じた活動

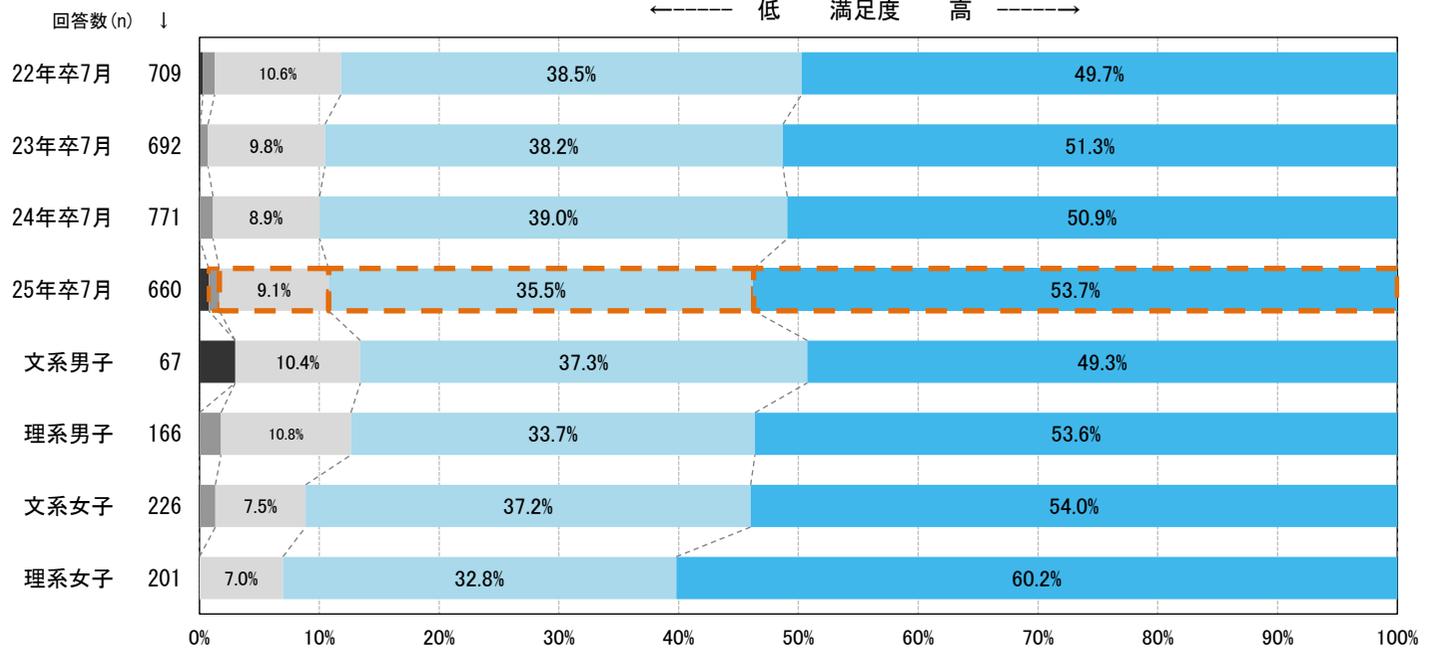


\*1 オンライン形式を除く \*2 インターンシップ・仕事体験エントリーを除く \*3 WEBセミナーを除く \*4 インターンシップ・仕事体験参加用を除く \*5 WEB含む \*6 WEB面接を含む

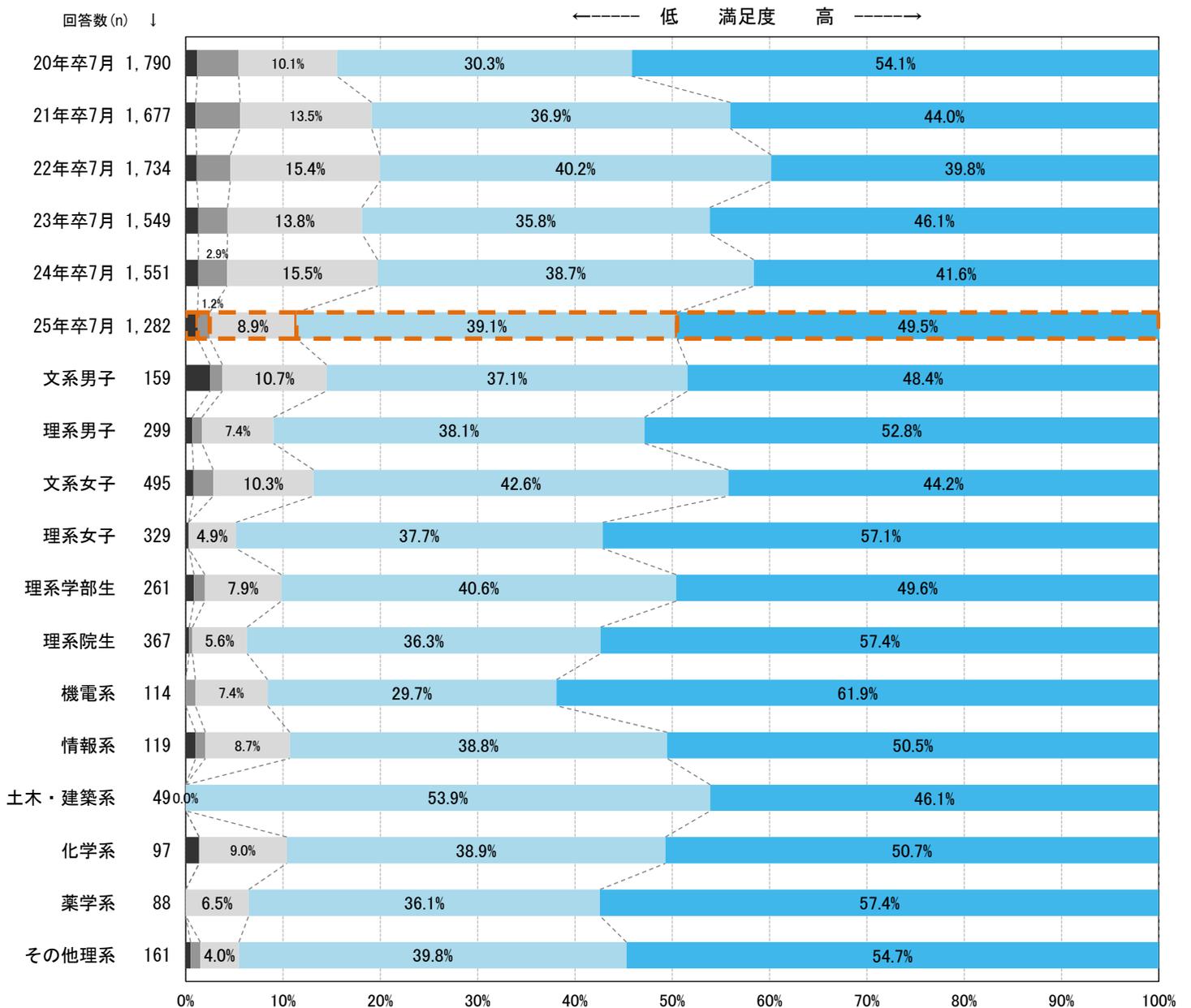
就活疲れの理由としてあてはまるもの(就活準備を含む)※上位3つまで



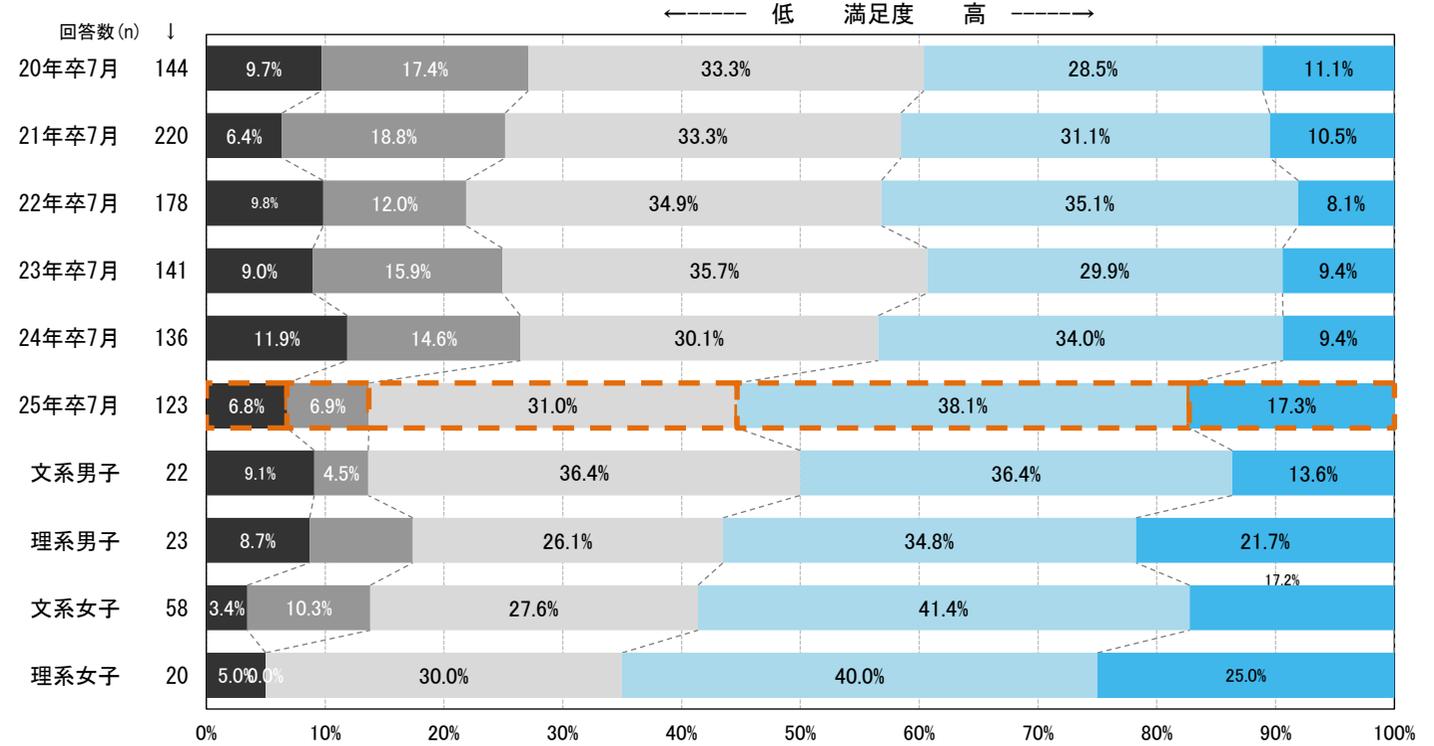
入社予定先のインターンシップ・仕事体験の満足度



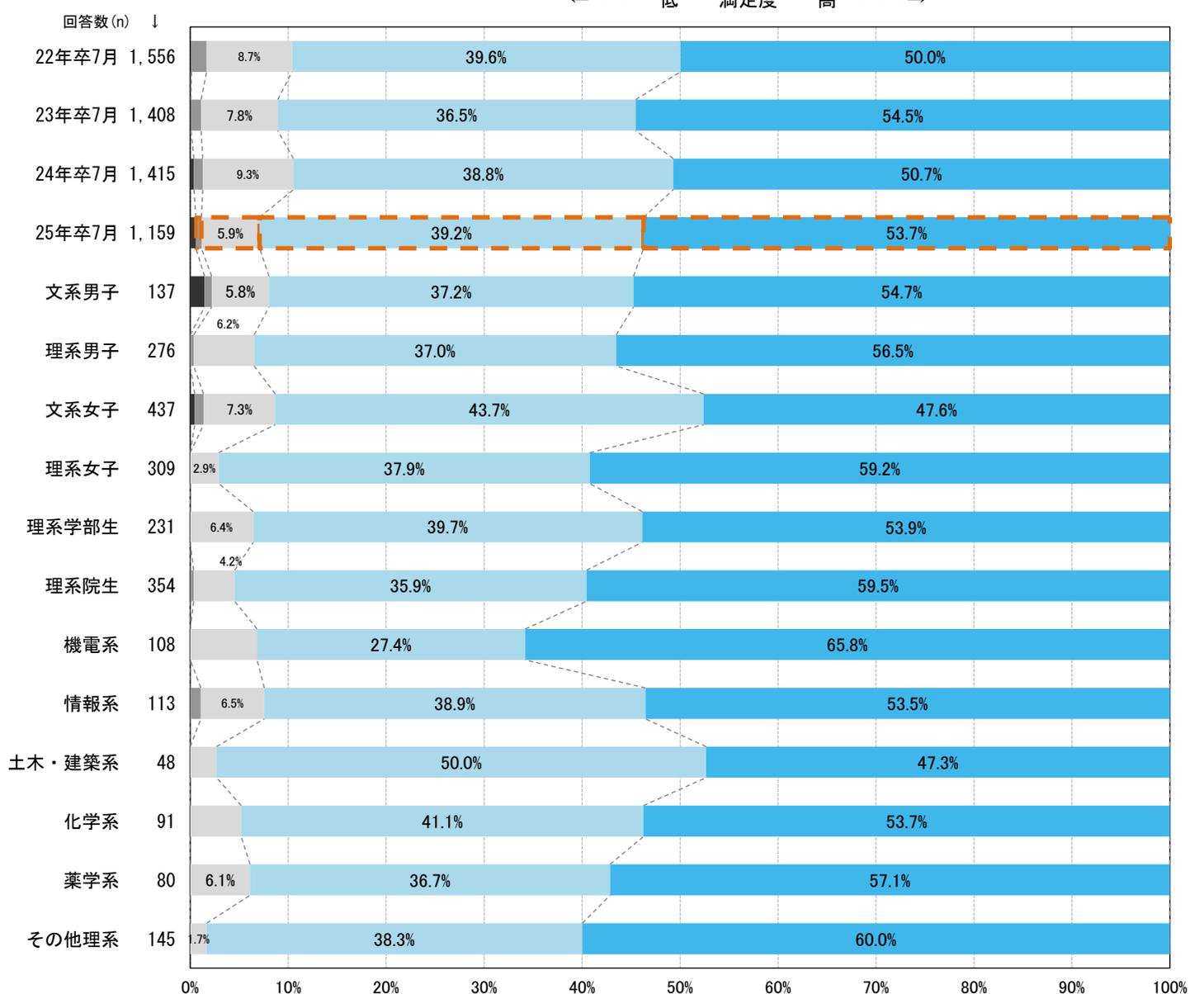
内々定先満足度 ※内々定を得た先全部に対する満足度



入社予定先を決めていない学生の内々定先満足度

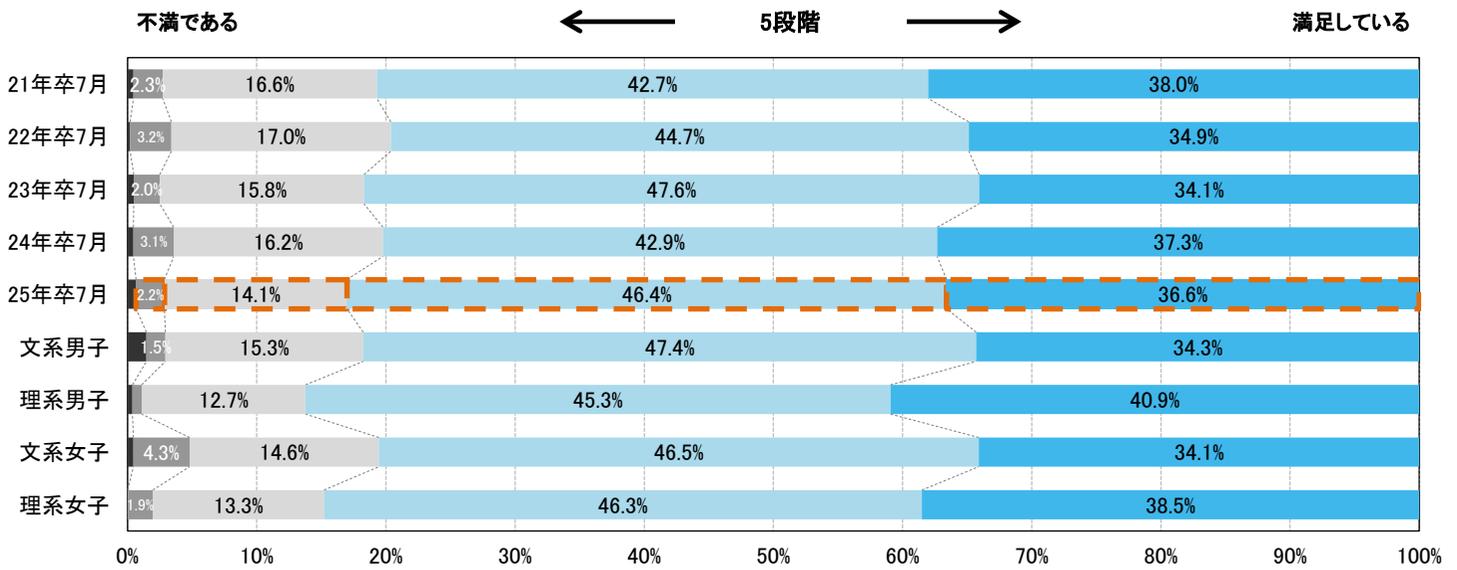


入社予定先総合満足度



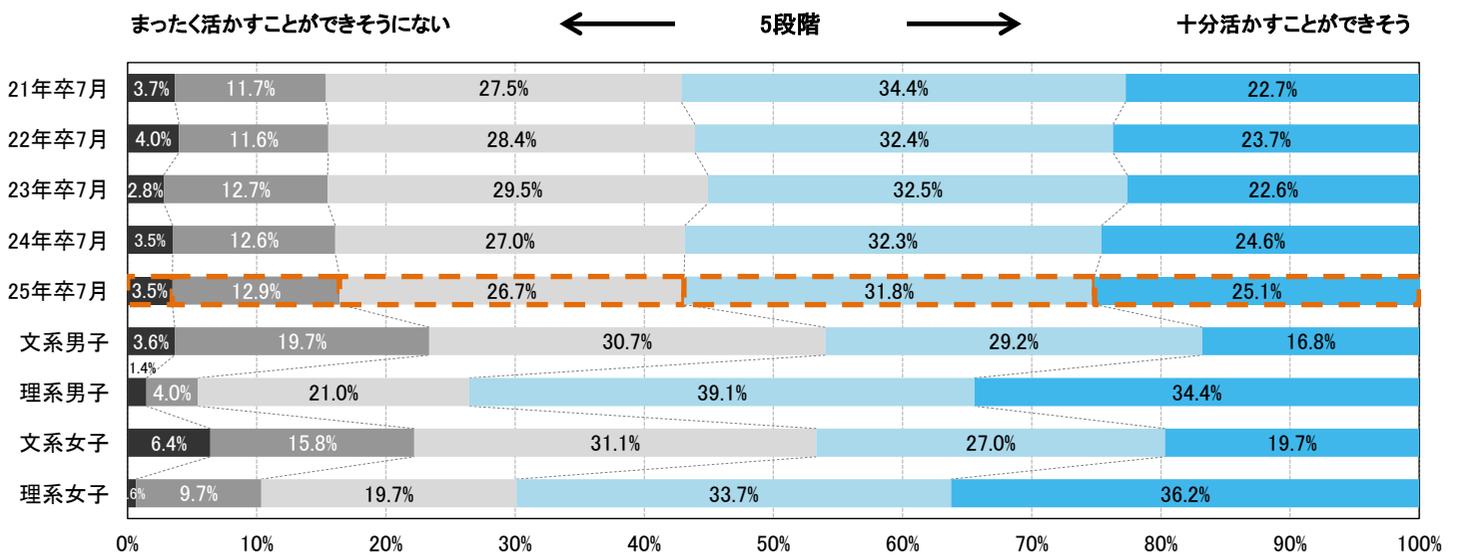
【就業条件、職場環境の満足度】

入社予定先の給与、福利厚生、休日休暇、残業時間について



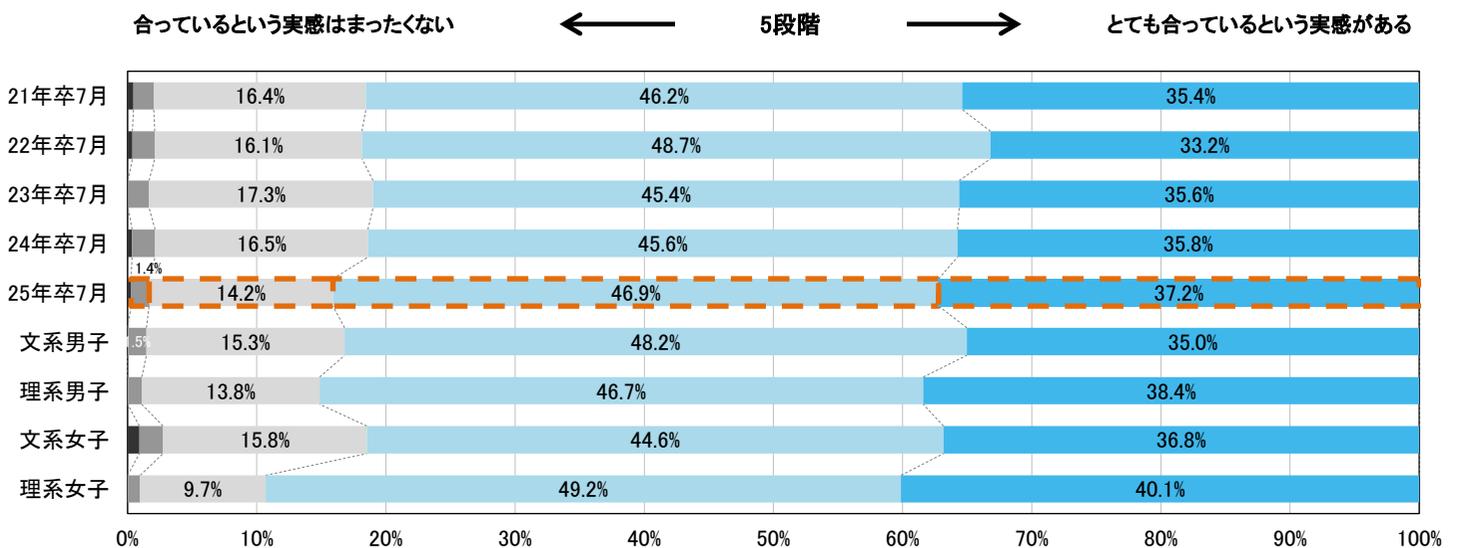
【能力を活かせるか】

入社予定先の企業では、大学や大学院で学んだことや、卒業までに取得する予定の資格、その他今持っている能力を活かせるか



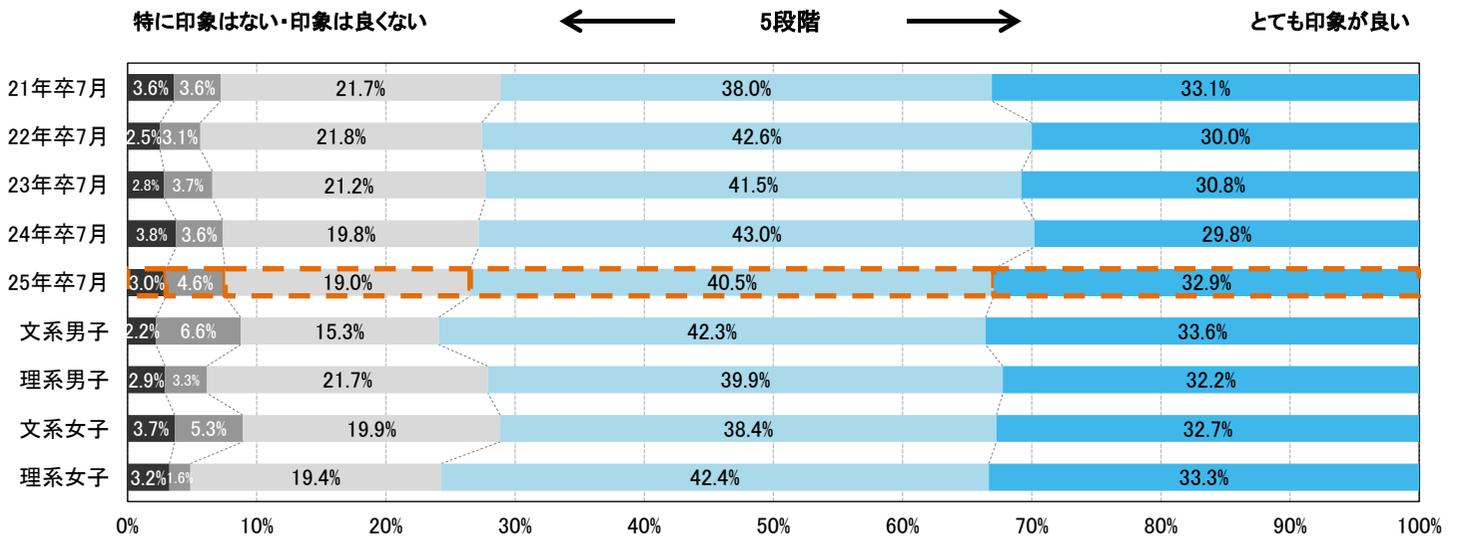
【社員の印象と帰属感】

入社予定先の企業の社員の印象から、その企業が自分に合っているという実感はあるか



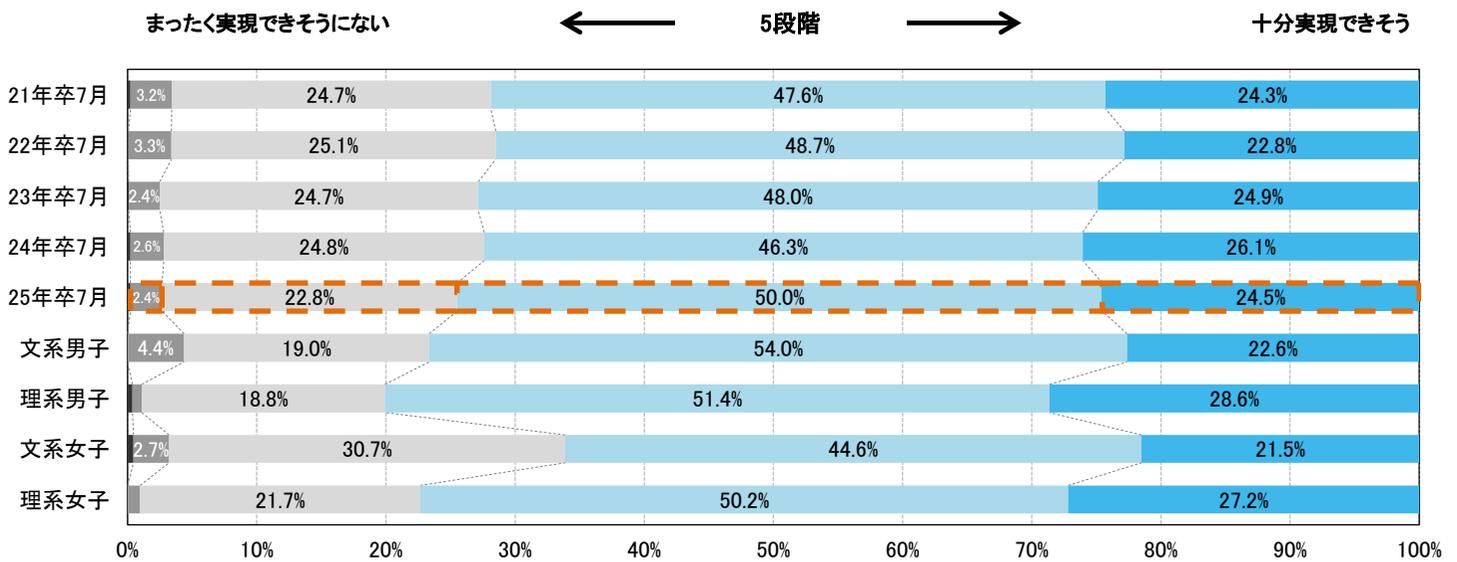
【経営者の印象】

入社予定先の企業の社長、役員、経営者の印象について



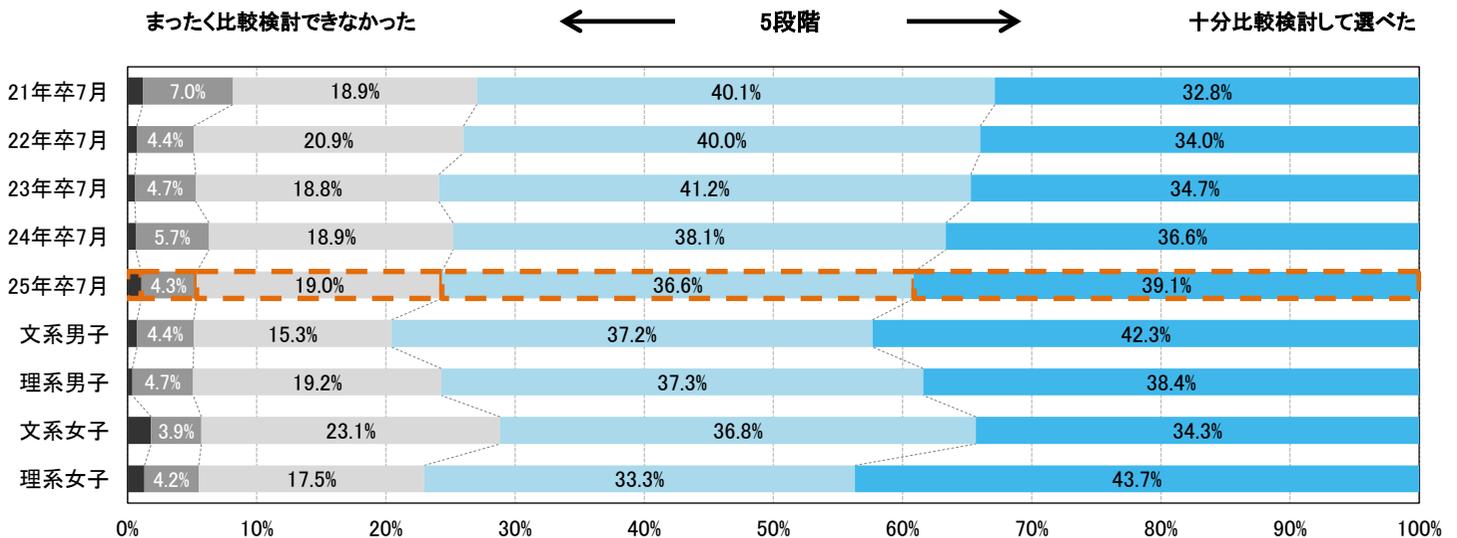
【将来のキャリア展望】

入社予定先の企業で働くことで、理想とする将来のキャリアプランを実現できそうか



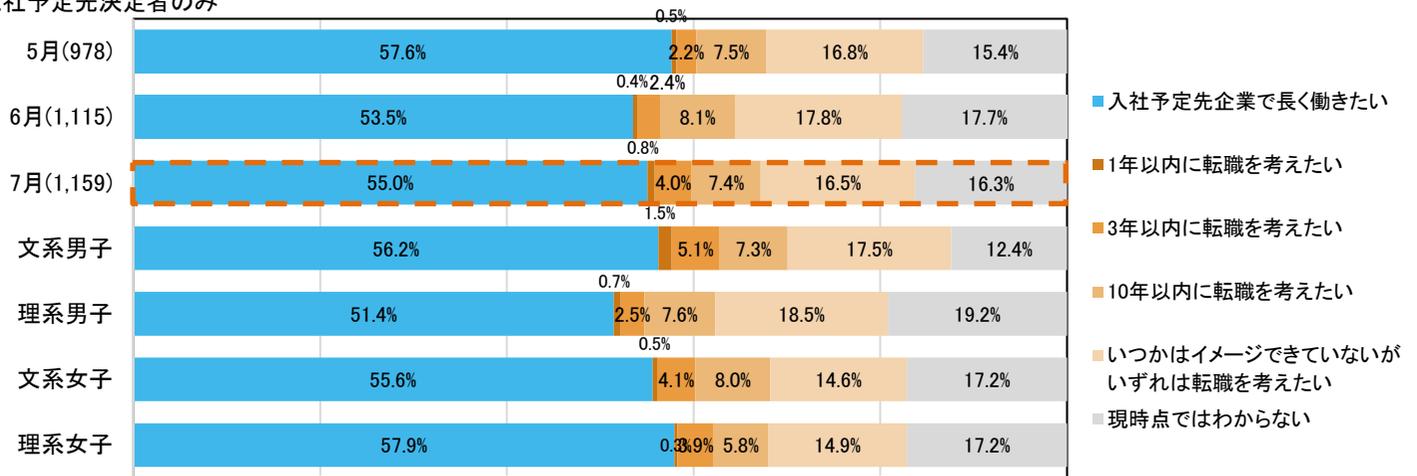
【比較検討】

入社予定先の企業は、企業研究やセミナー参加、インターンシップ・仕事体験や選考を通じて、十分な選択肢の中から比較検討して選べたか



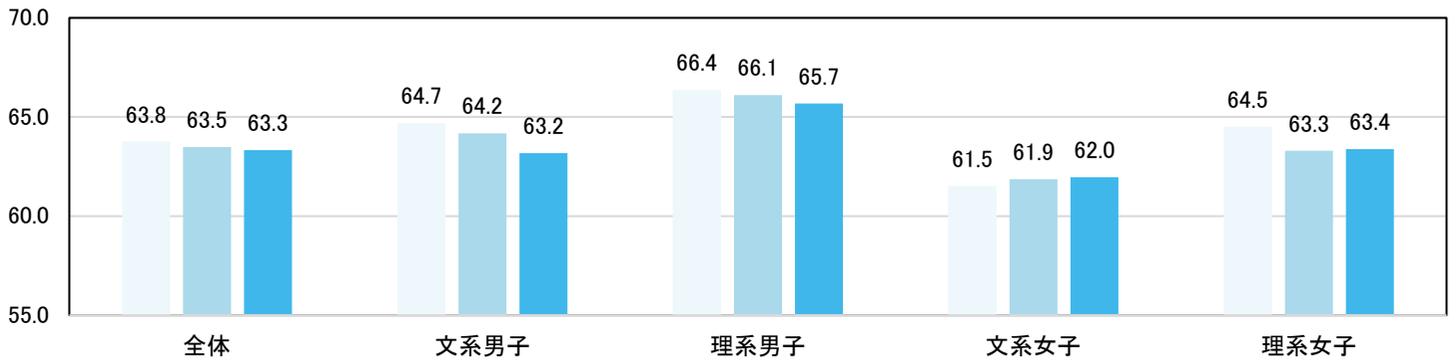
入社後のその先のキャリアについて、どのように考えているか

※入社予定先決定者のみ



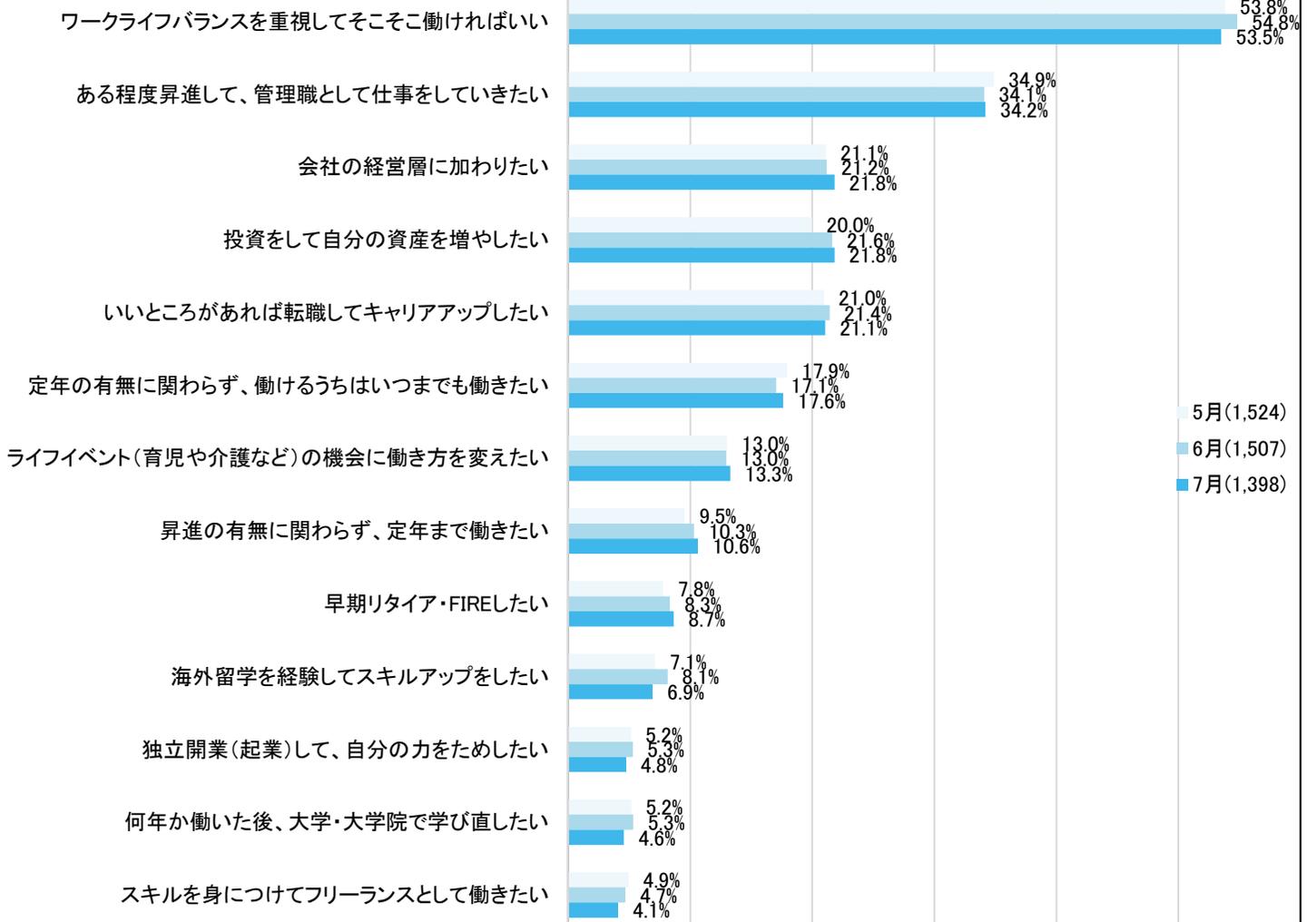
「人生100年時代」

何歳まで働き続けたいと思うか



「人生100年時代」

今後の働き方として考えに近いもの

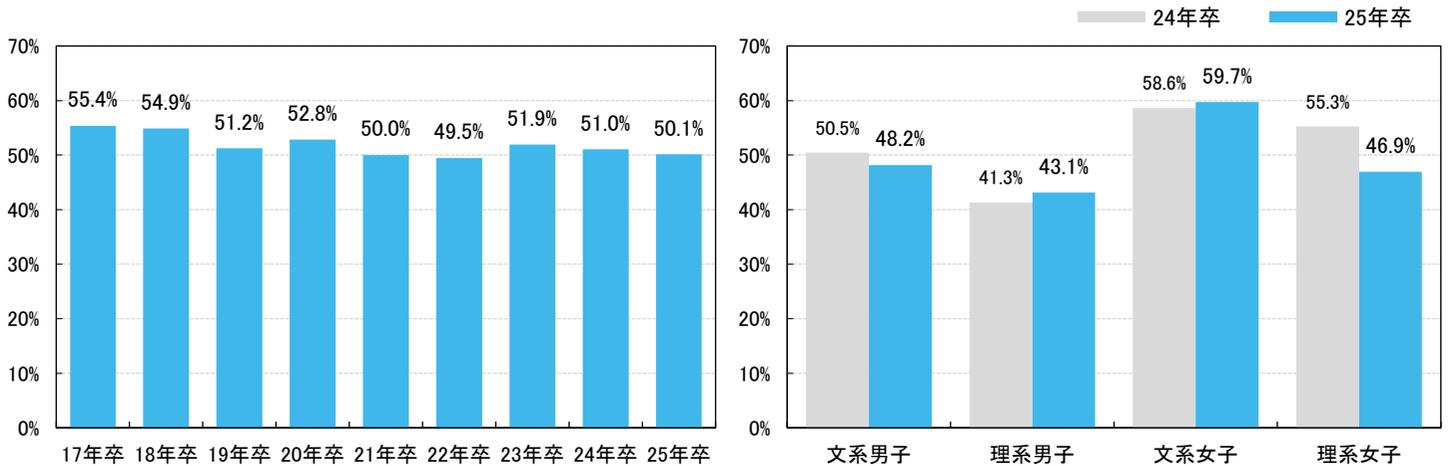


■4: 入社予定先企業を決めるにあたって

入社予定企業を決めたあとに「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある学生の割合は50.1%（対前年0.9pt減）で、2年連続で減少した。不安になったことがある学生についても、不安が解消された割合が41.1%（対前年5.8pt増）となり、全体的に入社予定先に対する不安を持つ学生が減少しているようだ。

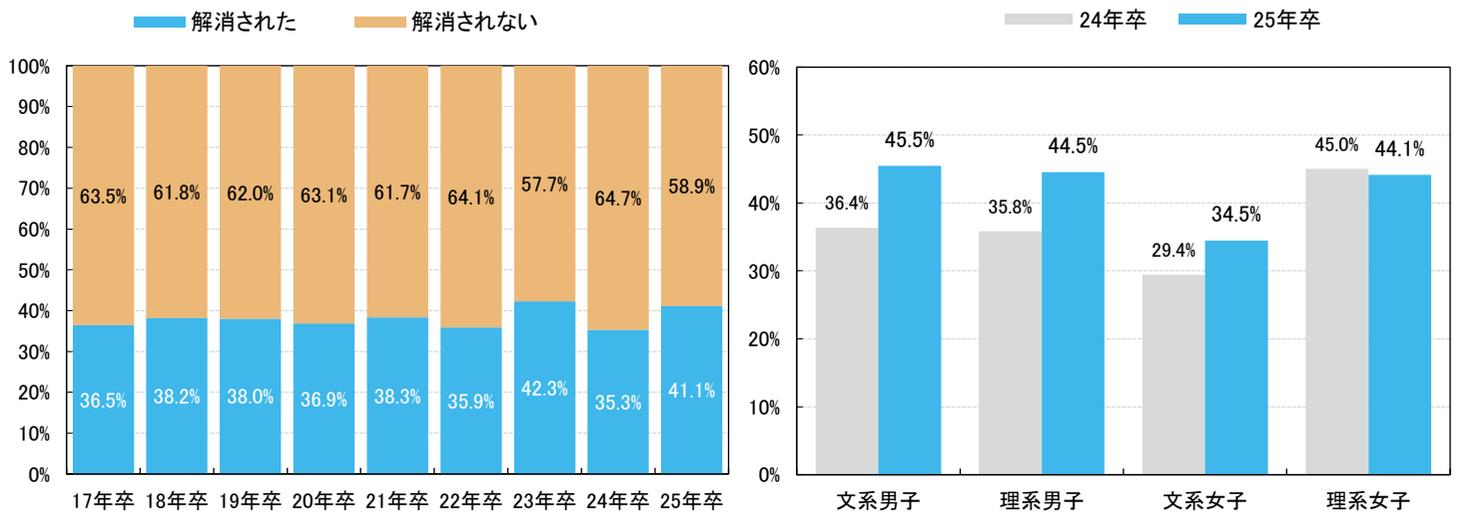
入社予定先企業から親・保護者が入社を承諾しているか確認されたことがある割合（「オヤカク」の経験がある割合）は25.4%（対前年2.0pt増）で4人に1人が経験していることがわかった。確認方法としては「あなた宛ての電話で確認された（8.9%、対前年2.1pt増）」「対面式の個人面談や面接の席で確認された（8.0%、対前年0.6pt増）」などが多く、企業から保護者に直接確認を取る方法よりも、学生を通じた確認方法が多いようだ。

入社予定企業を決めたあとに、「本当にこの会社でいいのか」と不安になったことがある学生の割合 n=1,159



不安になったことがある学生：不安は解消されたか

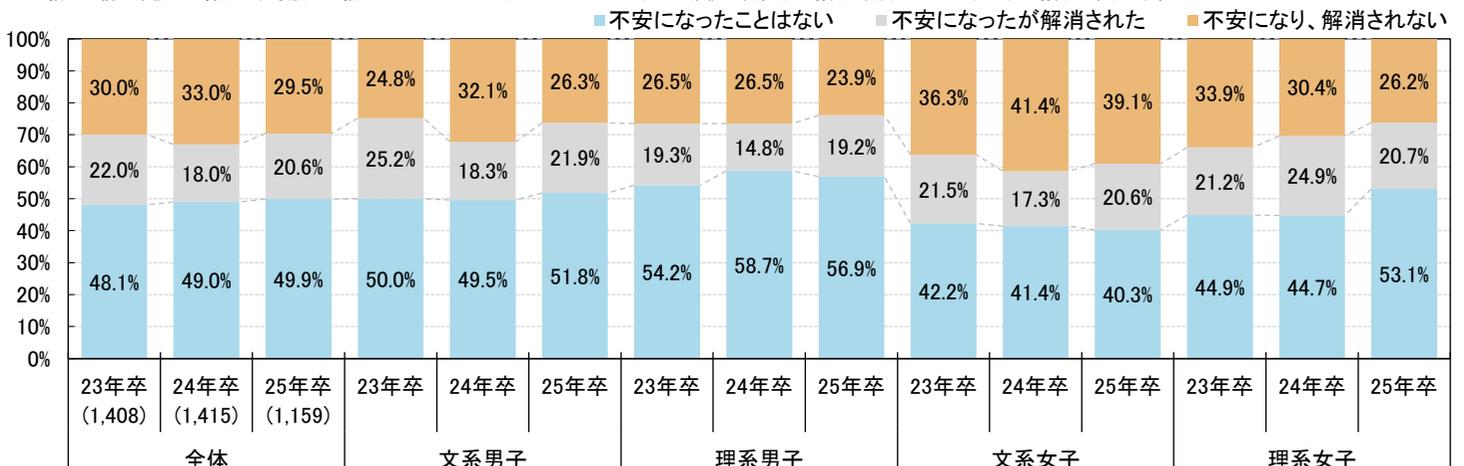
＜文理男女別＞不安が解消された人の割合



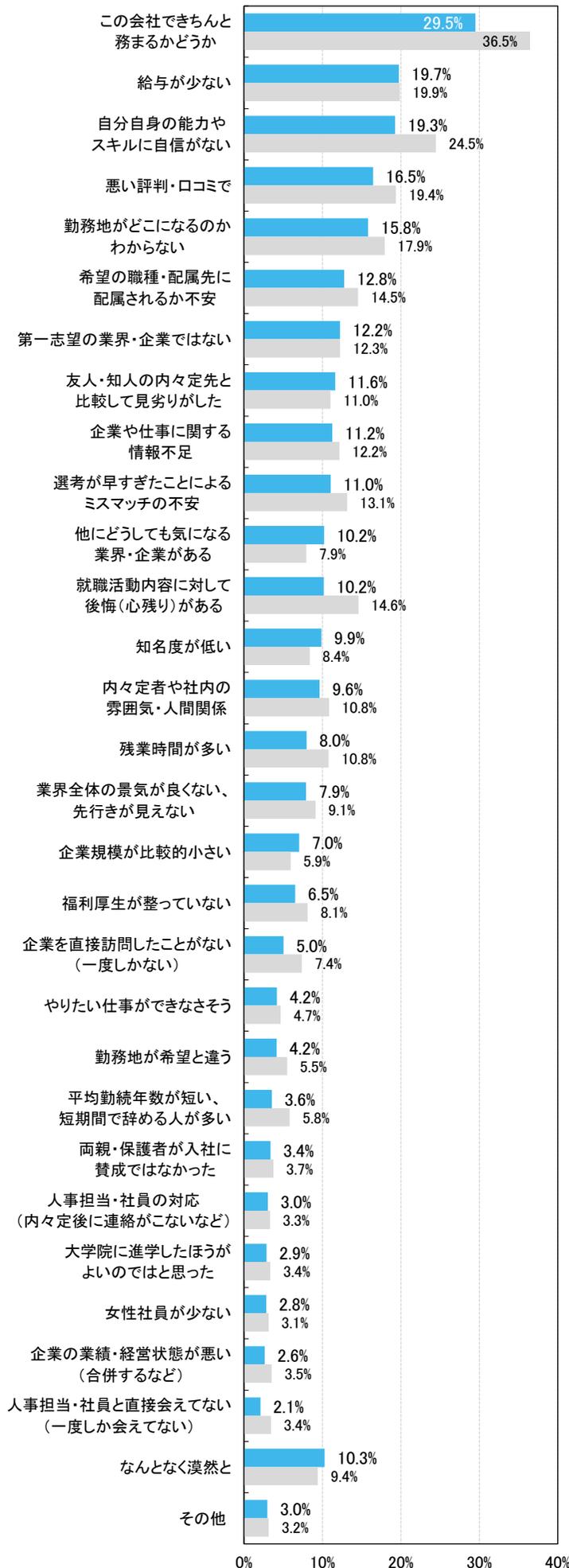
入社予定先を決めた学生全体から見て：

不安になったことがあるかと解消されたかどうかの割合

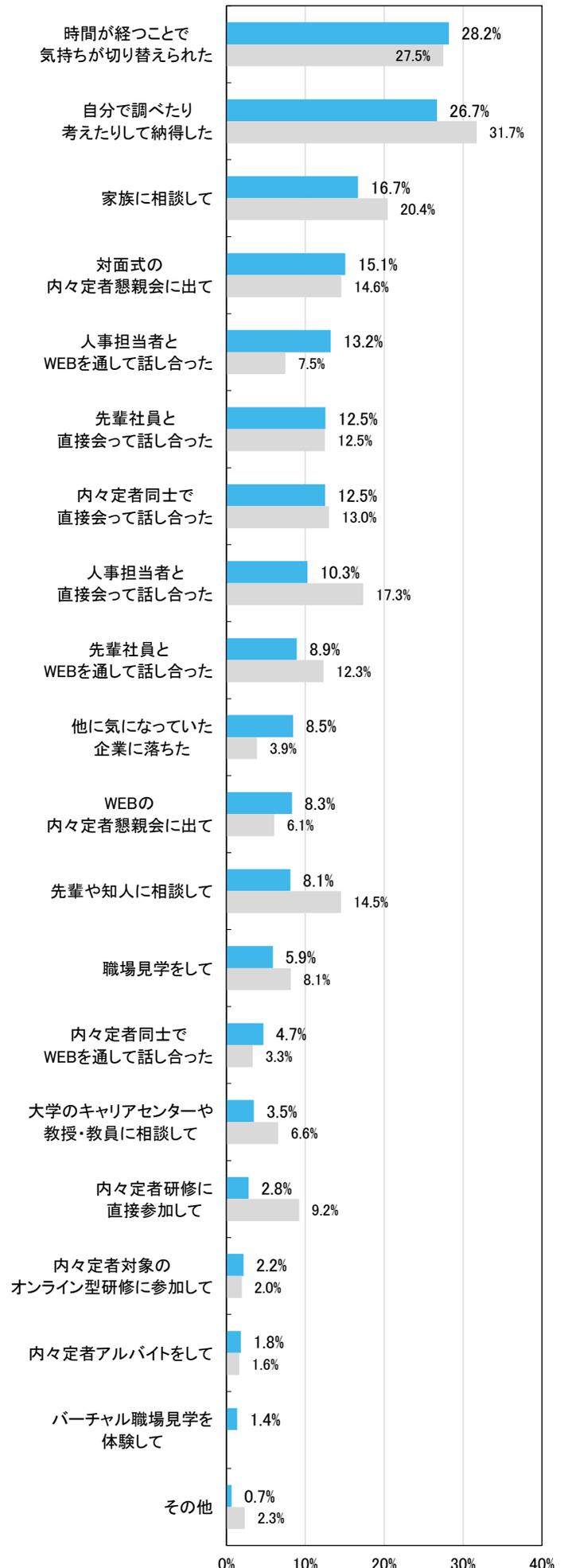
※四捨五入前の数値から算出し、最後に四捨五入しているためこのページ上のグラフと数値が合わない場合や合計が100%にならない場合があります。



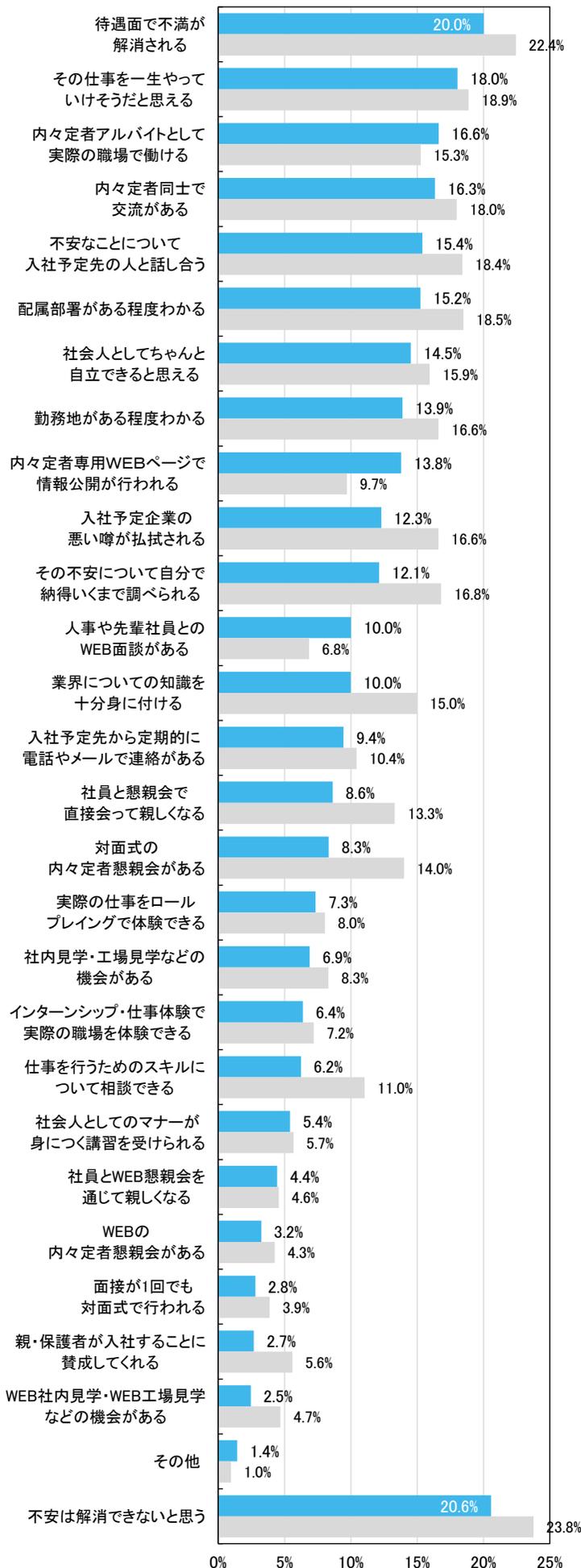
不安になったことがある学生：  
なぜ不安になったのか【複数回答】



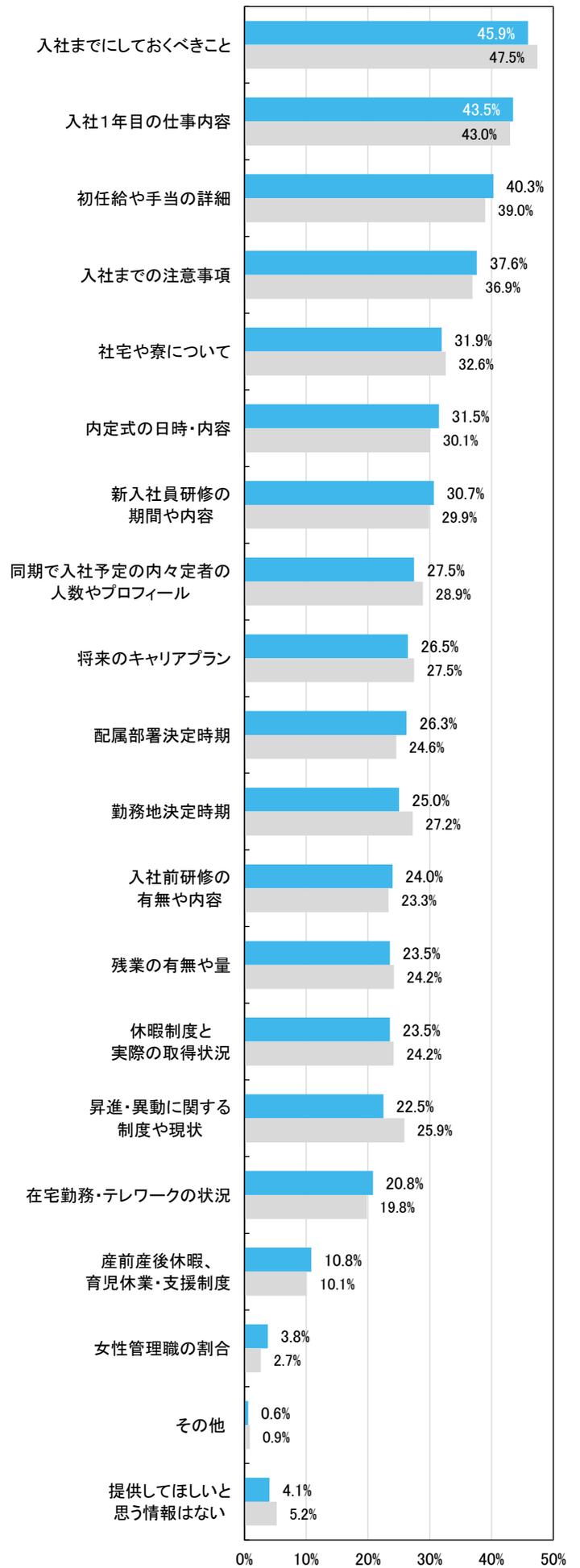
不安が解消された学生：  
不安が解消された理由【複数回答】



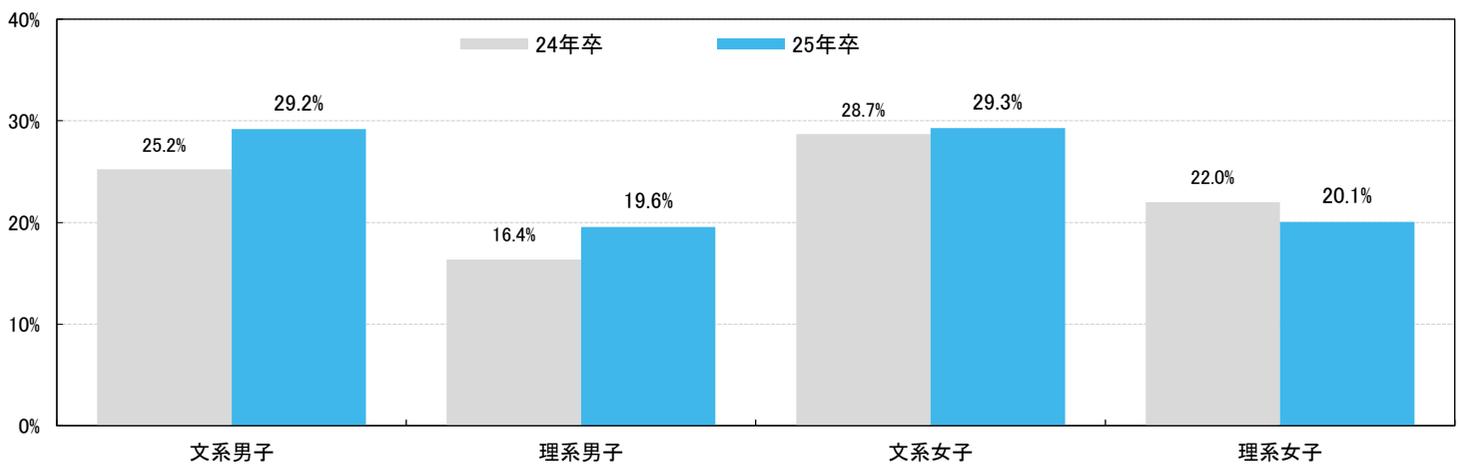
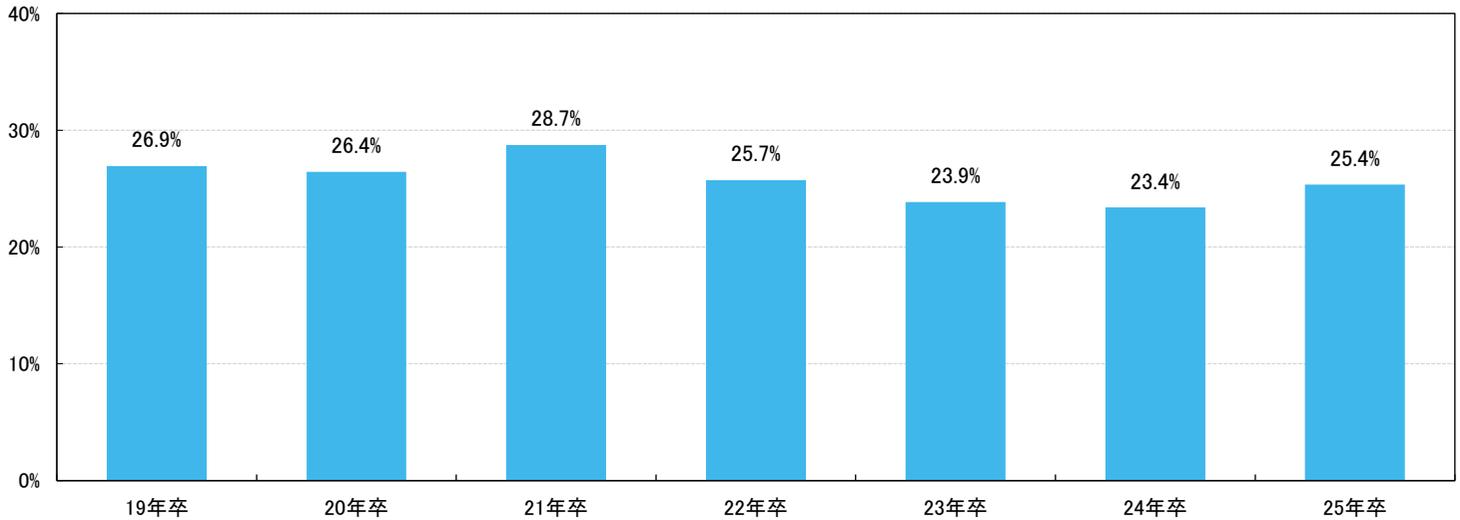
不安が解消されない学生のみ  
「もしこうだったら『この会社でいいのか』という  
不安は解消されたのに」と思うこと【複数回答】



入社予定先から「今」提供してほしいと思う情報【複数回答】

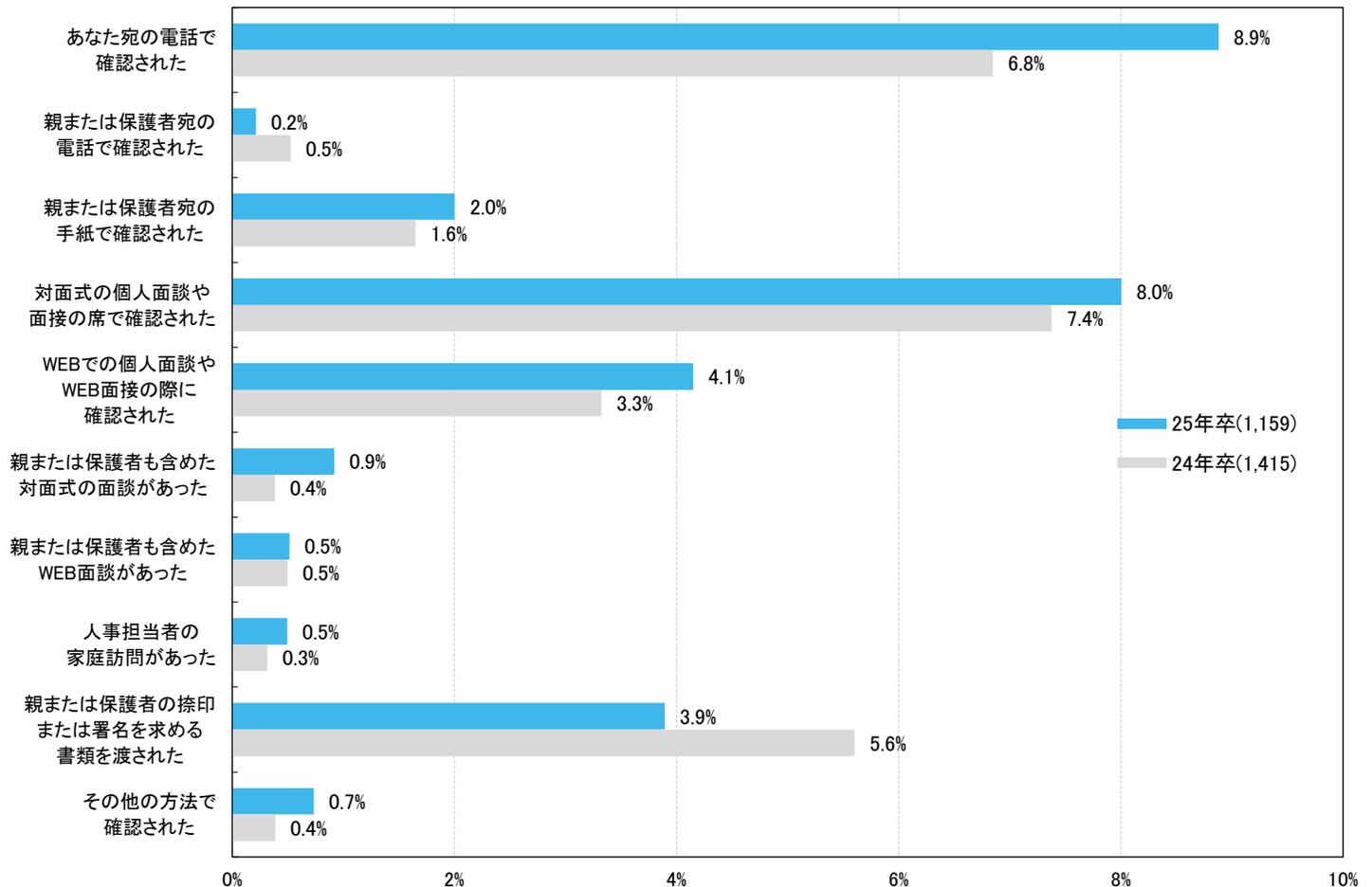


入社予定先企業から親・保護者が入社を承諾しているか確認されたことがある割合(オヤカク)



親・保護者承諾の確認方法【複数回答】

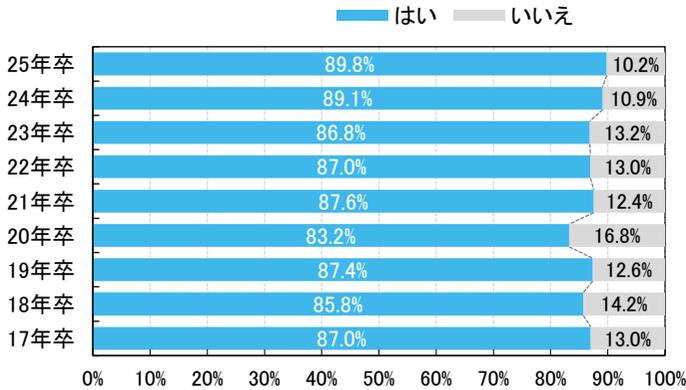
※分母は入社予定先が決まっている学生



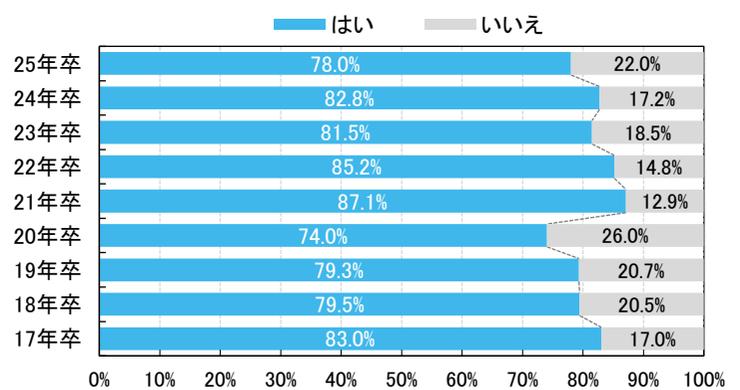
■5: 内々定後の企業との接触について

内々定後、企業と接触を持った学生の割合は89.8%（対前年0.7pt増）で、多くの学生が内々定後に企業との接触があるようだ。接触している頻度は「1か月に1回程度（40.1%、対前年1.2pt減）」の割合が最も高かった。入社までに内々定者フォロー・内々定者研修を希望する学生は78.0%となり、その理由としては「内々定者同士の人間関係を深めたい（53.8%、対前年9.5pt減）」が前年に引き続き最も高かった。希望する内容では「内々定者懇親会（対面）（58.0%、対前年2.8pt減）」が最も多い。内々定式については希望する学生が47.9%（対前年8.8pt減）と過半数を下回った。

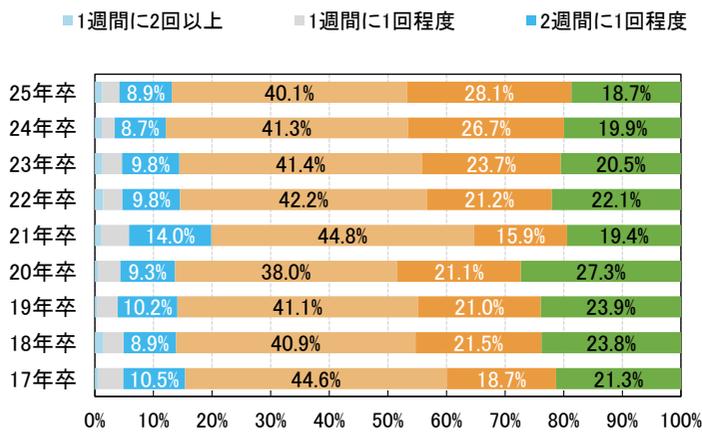
内々定後、企業と接触をもったか



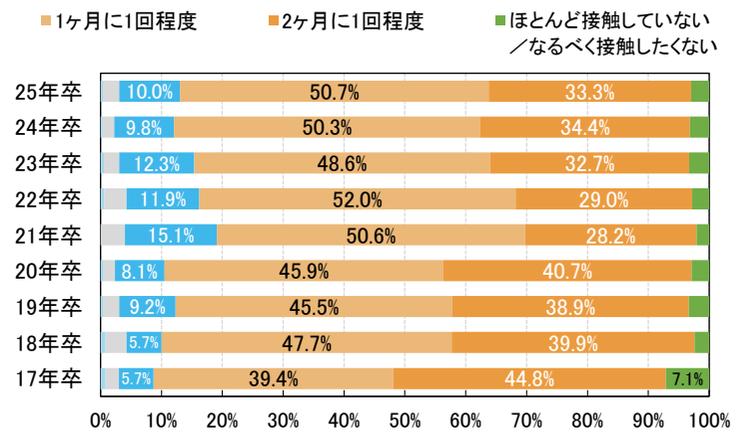
入社までに内々定者フォロー・内々定者研修を希望するか



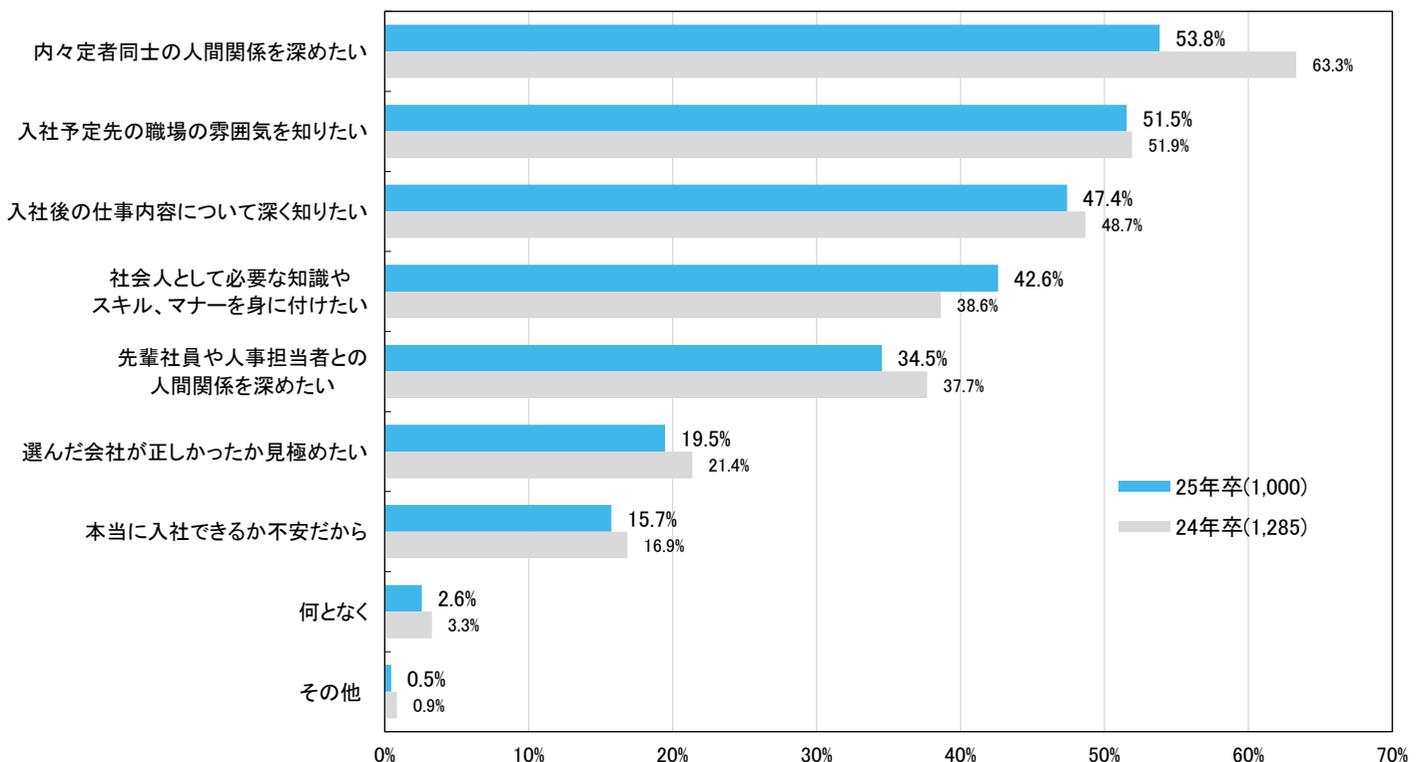
企業と接触している頻度



今後内々定先企業と接触する場合に希望する頻度



内々定者フォローや、内々定者研修を受けたい理由【複数回答】



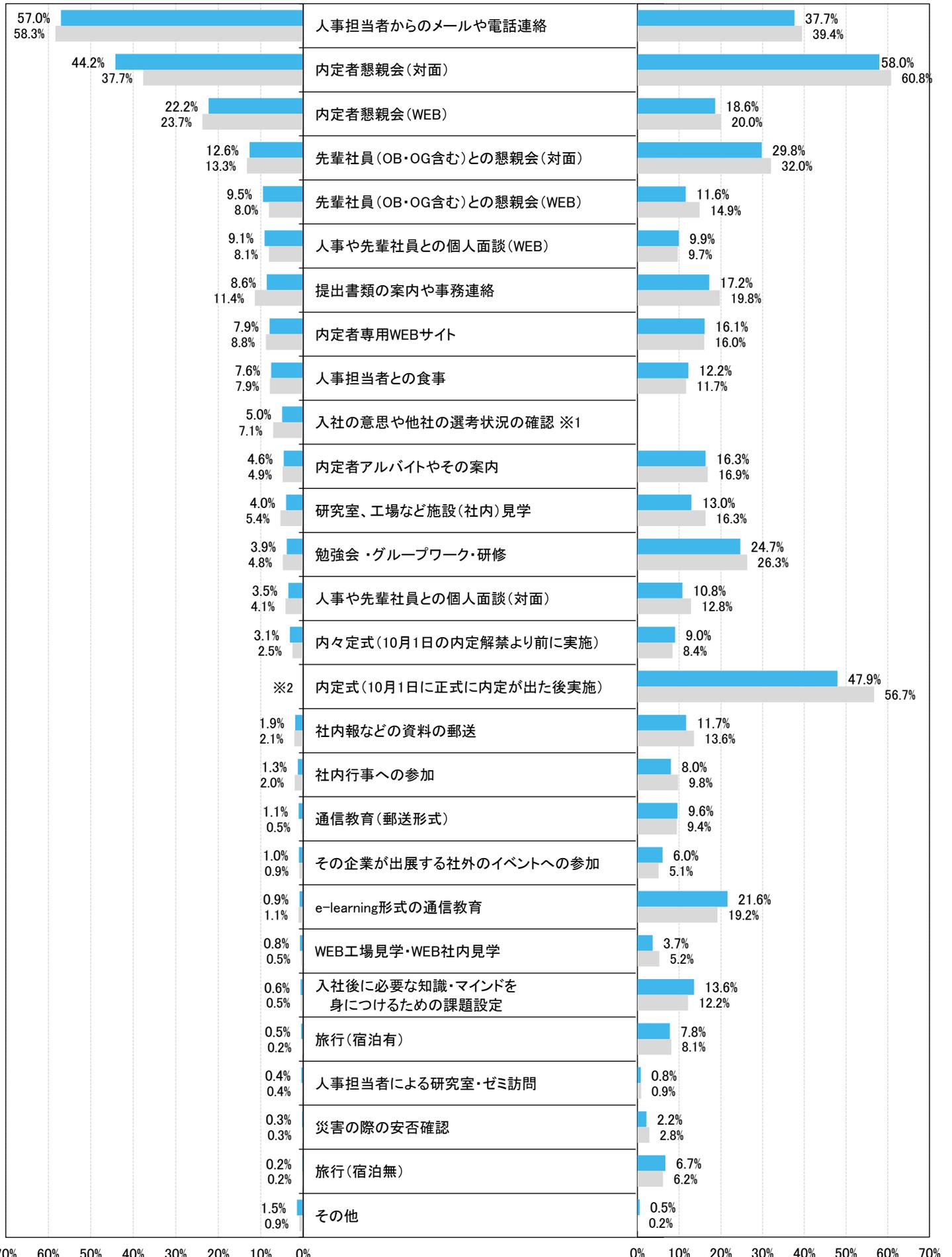
内々定者フォロー・実際にあった接触の内容【複数回答】

内々定者フォロー・希望する内容【複数回答】

25年卒(1,146)  
24年卒(1,372)

25年卒(1,000)  
24年卒(1,285)

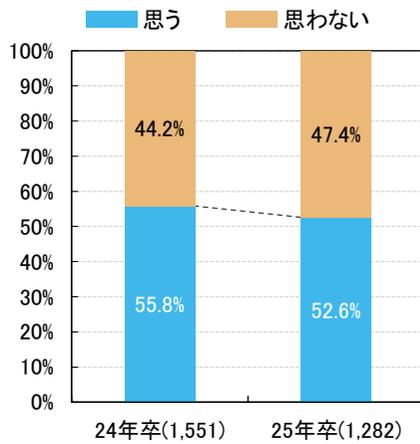
※1 は「希望する内容」の選択肢には含めない  
※2 は「実際にあった接触の内容」の選択肢には含めない



入社までの期間に研修を受けたいと思う学生の割合は52.6%（対前年3.2pt減）となった。研修の形式としてはオンライン型研修が70.1%（対前年3.5pt増）で、集合型研修の65.7%（対前年2.8pt減）をやや上回っている。研修で受けたい内容では「ビジネスマナー（62.2%、対前年1.3pt増）」「社会人としての心構え（53.7%、対前年3.5pt減）」「業務内容に関する専門的なスキル（51.2%、対前年0.3pt減）」などが特に多かった。

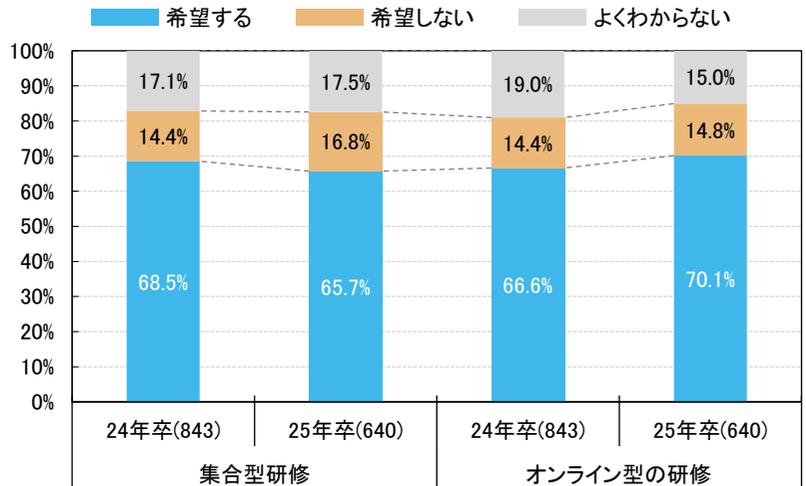
入社までの期間に研修※を受けたいと思うか

※集合型研修やオンライン型の研修



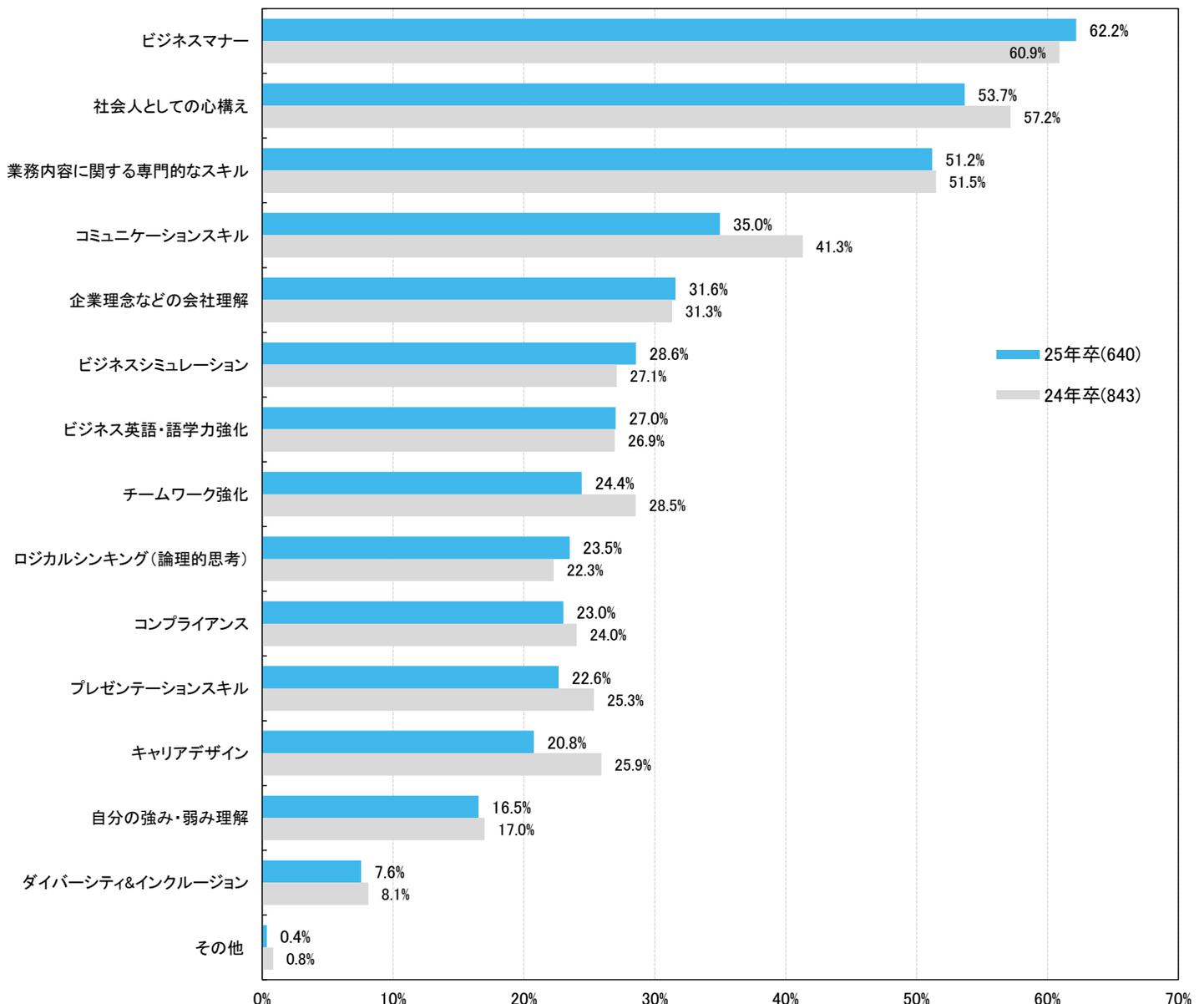
研修を受けたいと思う学生

集合型研修、オンライン型の研修を希望するか



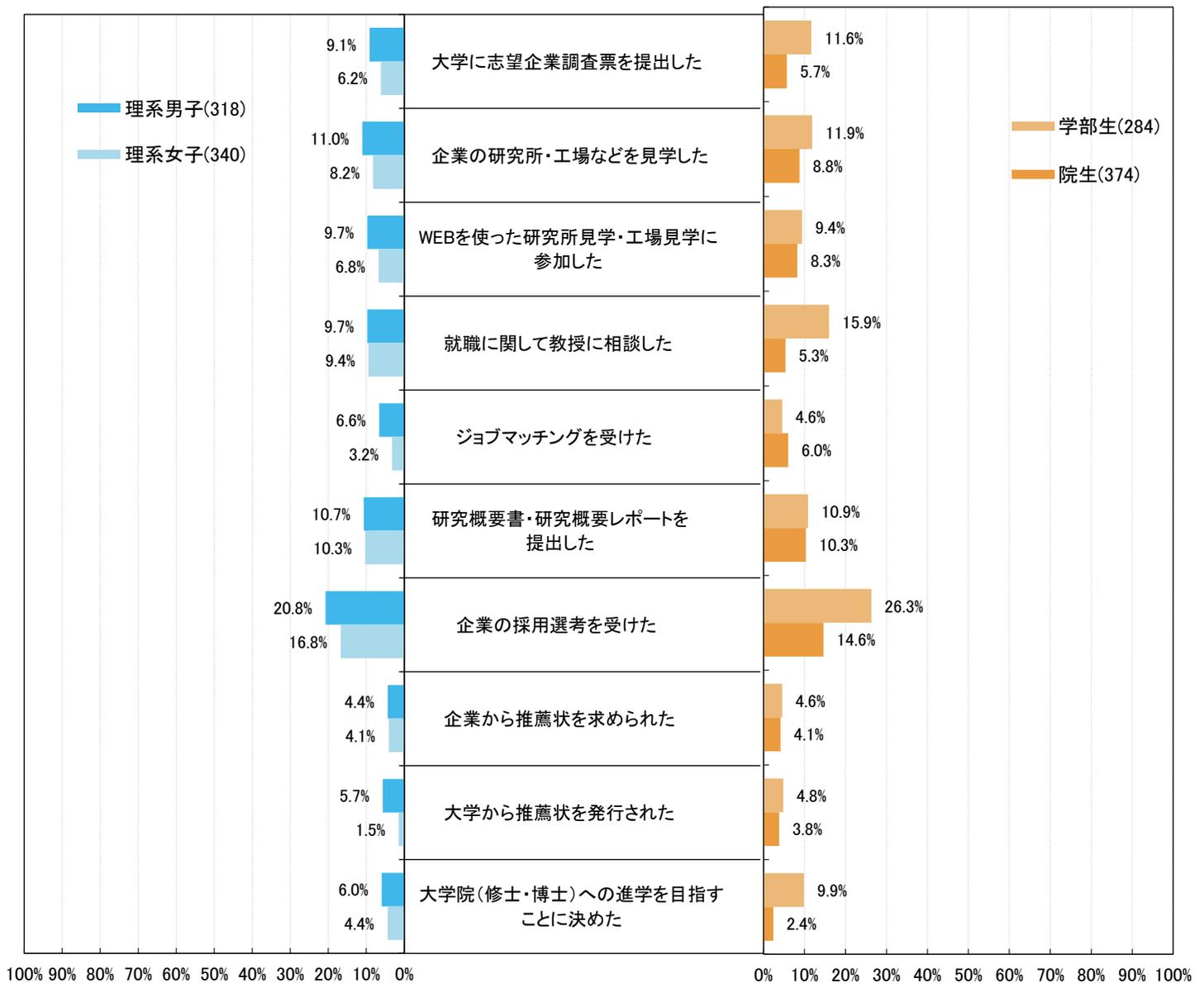
研修を受けたいと思う学生

研修で受けたい内容【複数回答】

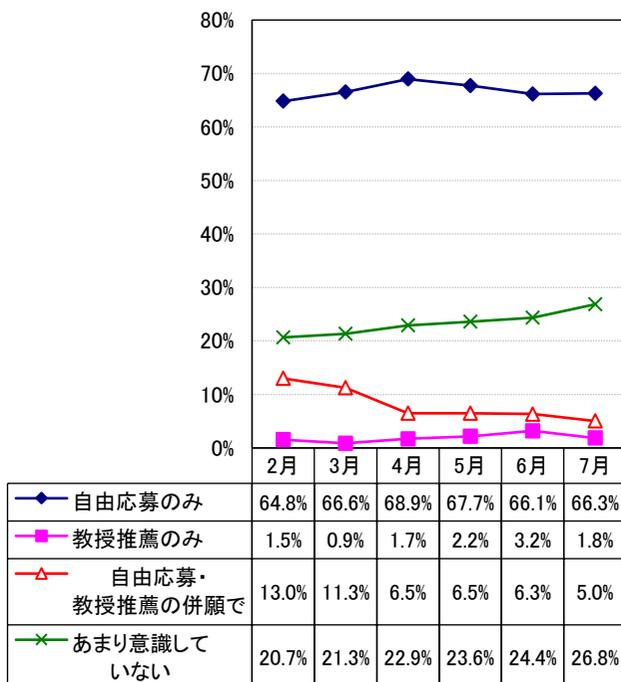


■6:【理系】7月の活動状況

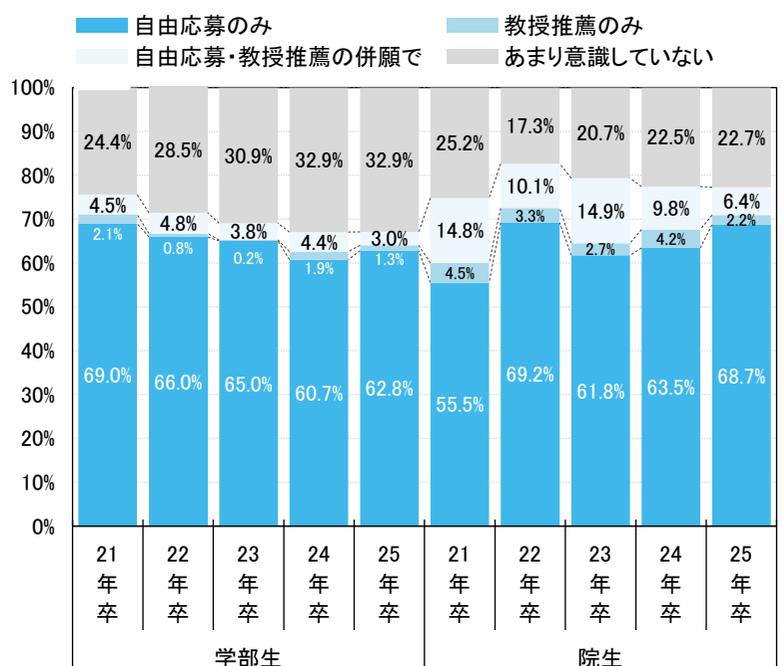
7月の理系学生の活動状況【複数回答】



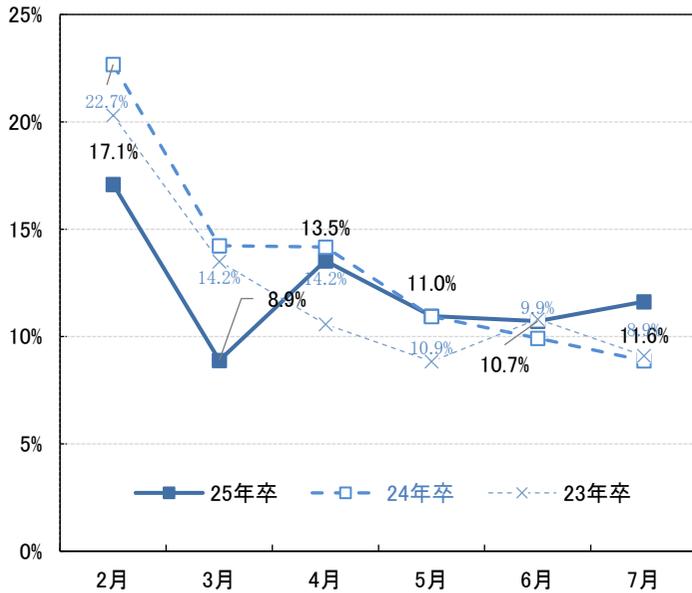
企業への応募方法 (25年卒2月~7月)



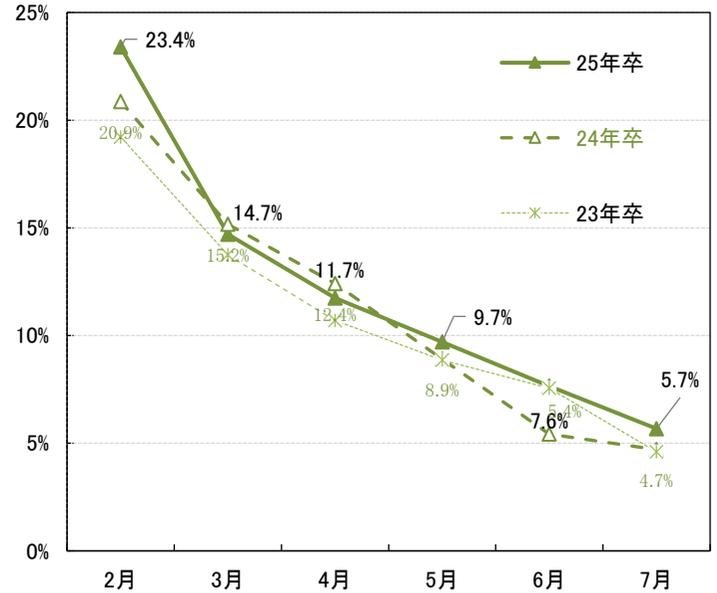
企業への応募方法 (各卒年7月の年次推移)



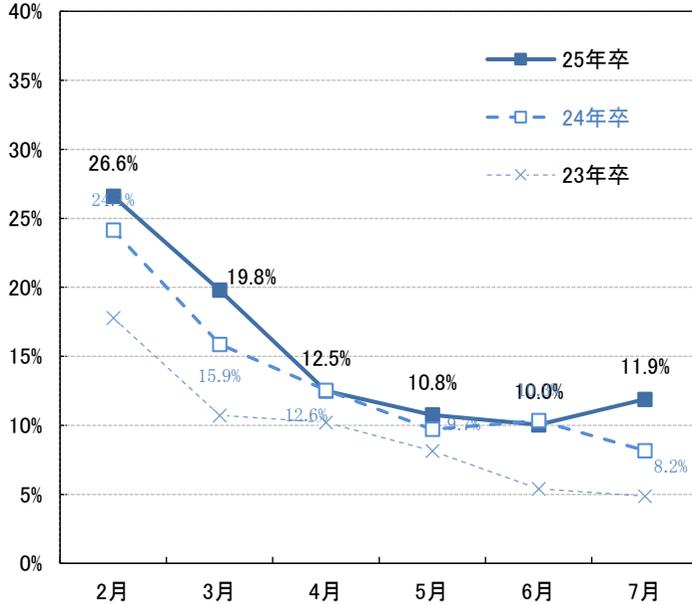
大学に志望企業調査票を提出した・学部生



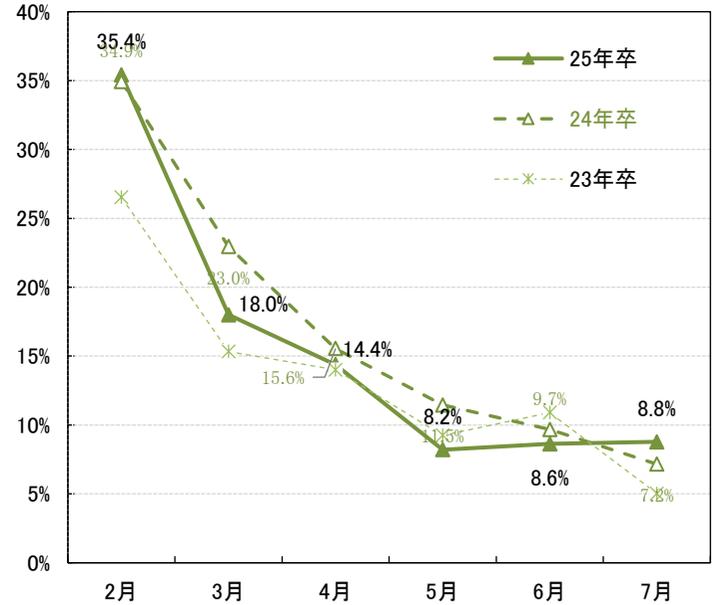
大学に志望企業調査票を提出した・院生



企業の研究所・工場などを見学した・学部生

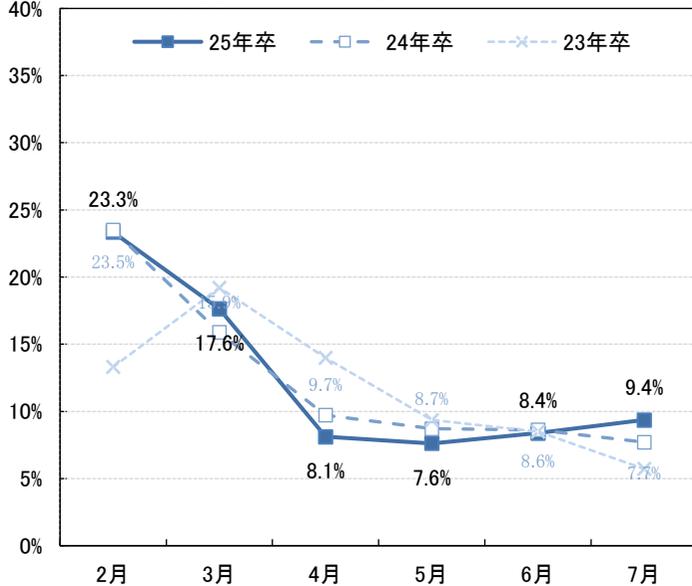


企業の研究所・工場などを見学した・院生



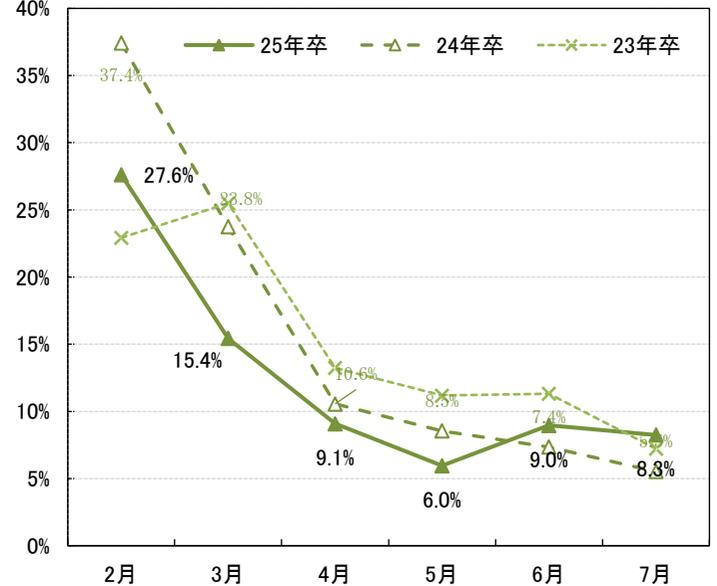
WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した・学部生

※23年卒の2月は、3月に2月分の活動を調査したもの

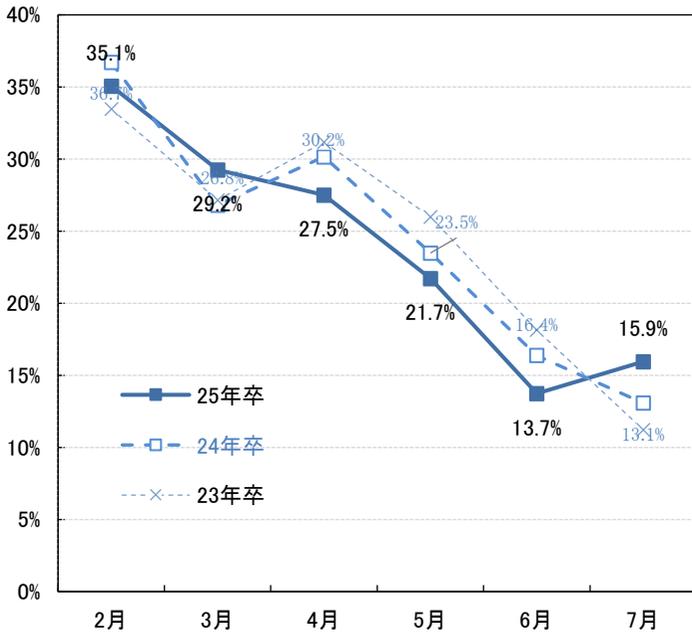


WEBを使った研究所見学・工場見学に参加した・院生

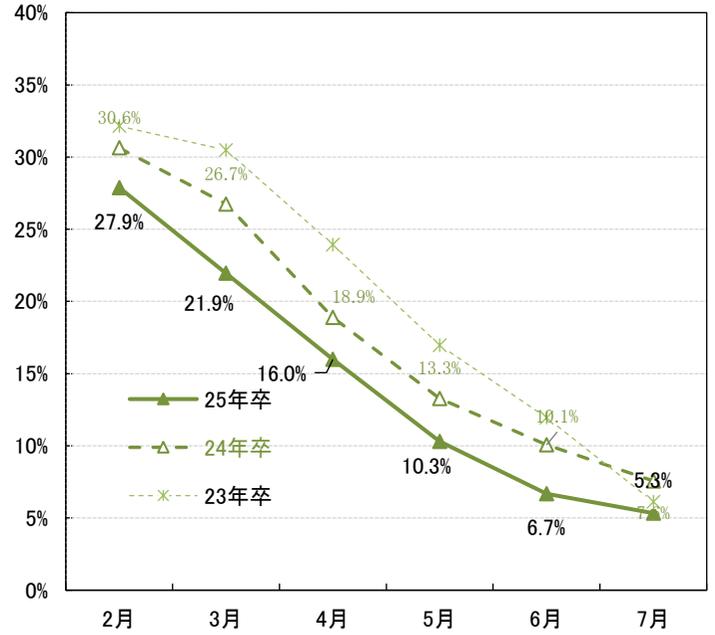
※23年卒の2月は、3月に2月分の活動を調査したもの



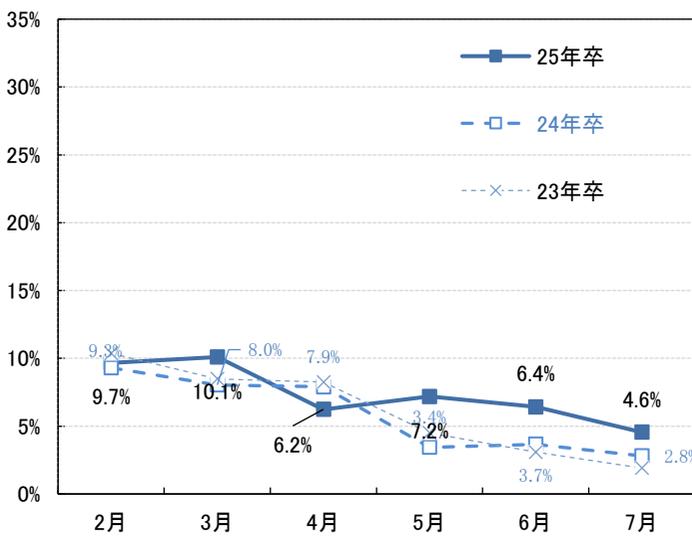
就職に関して教授に相談した・学部生



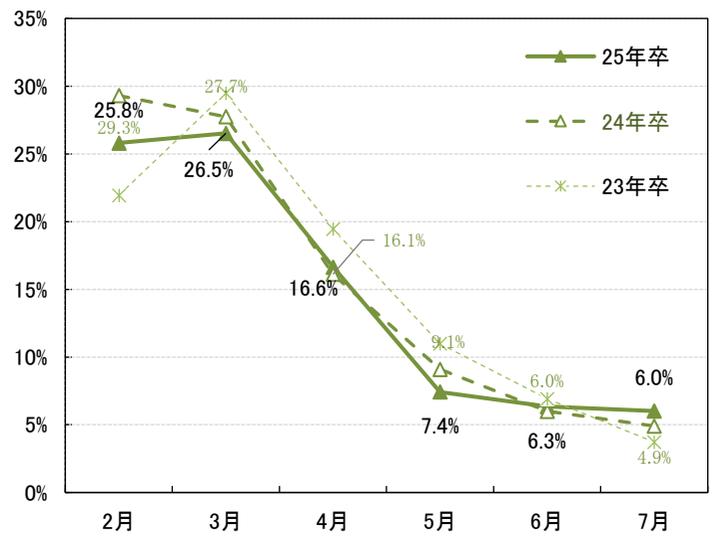
就職に関して教授に相談した・院生



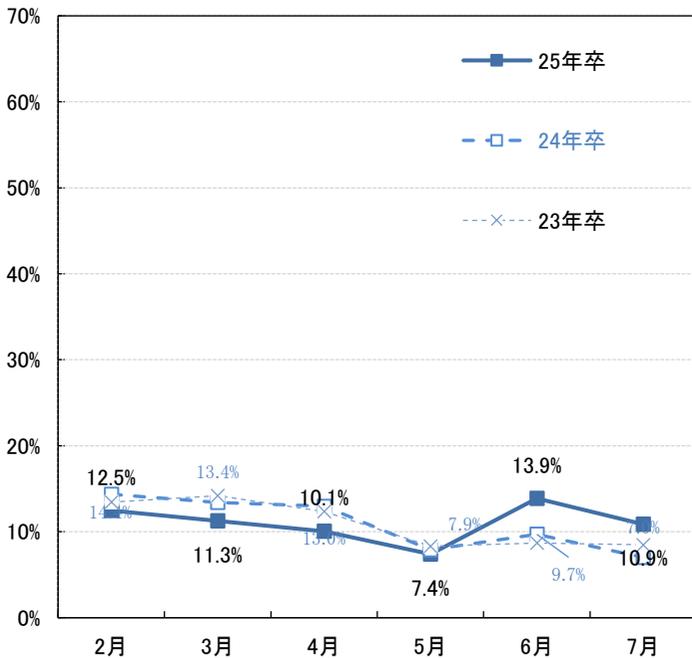
ジョブマッチングを受けた・学部生



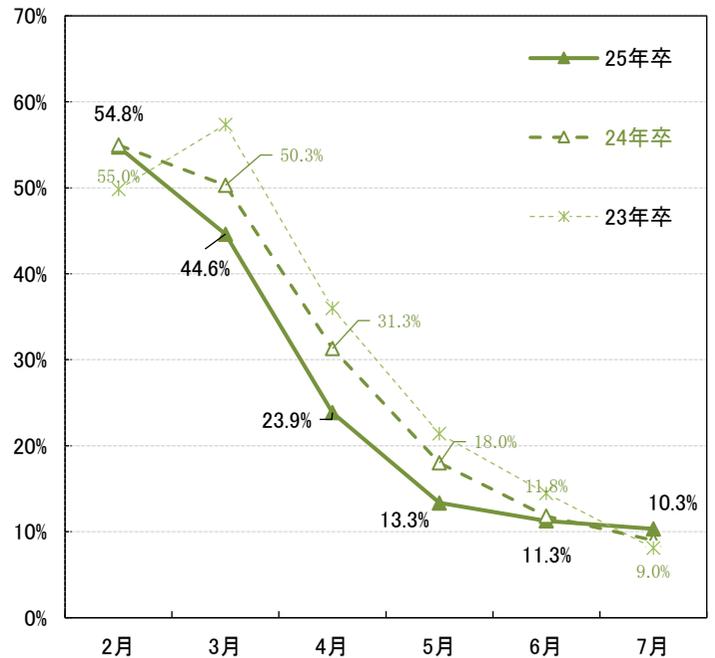
ジョブマッチングを受けた・院生



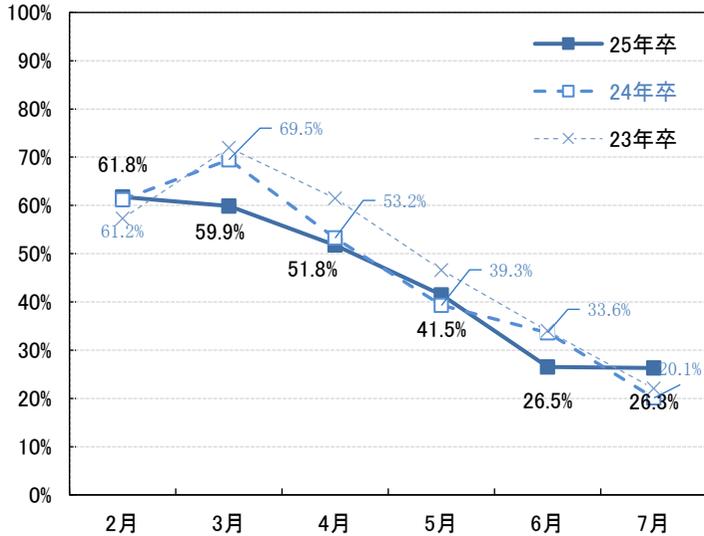
研究概要書・研究概要レポートを提出した・学部生



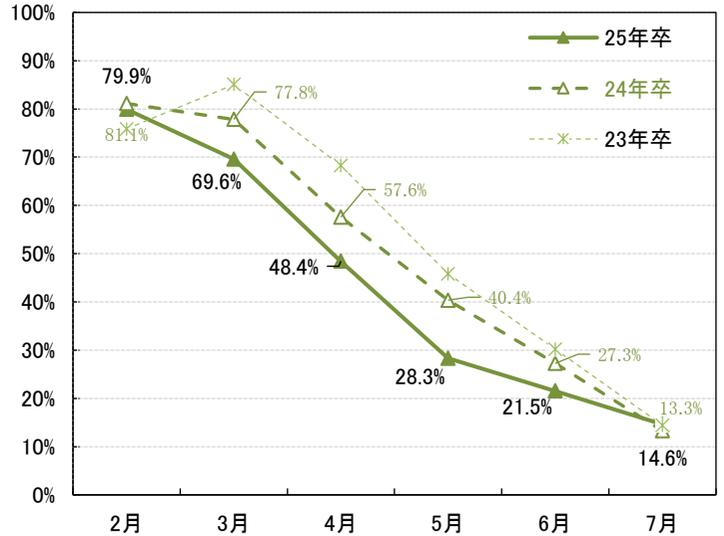
研究概要書・研究概要レポートを提出した・院生



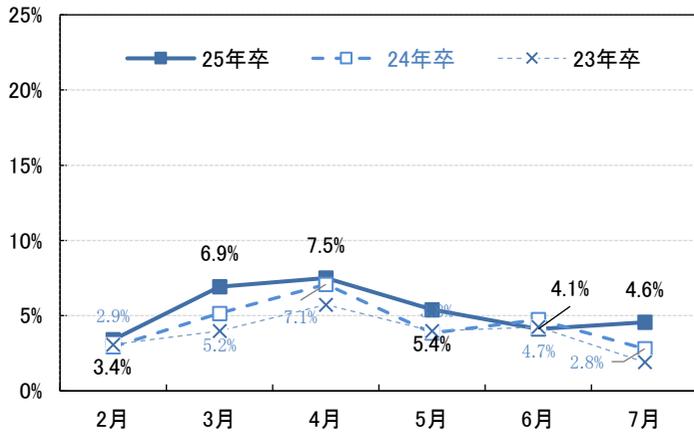
企業の採用選考を受けた・学部生



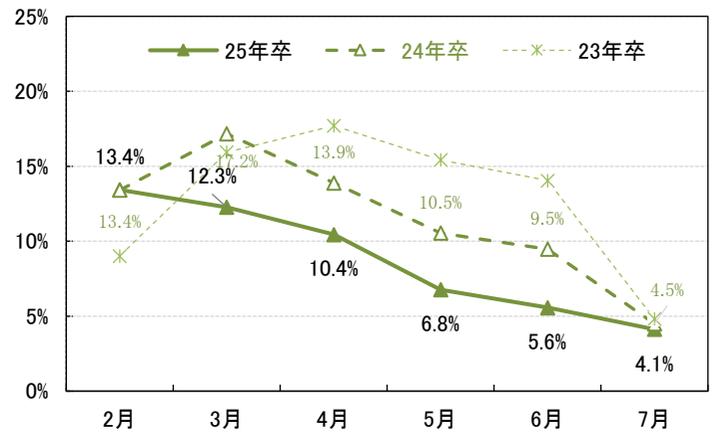
企業の採用選考を受けた・院生



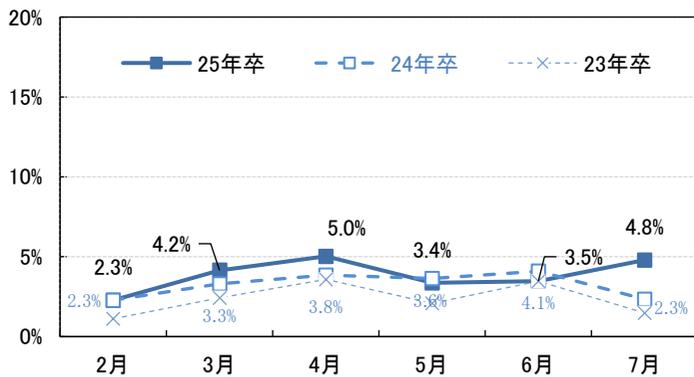
企業から推薦状を求められた・学部生



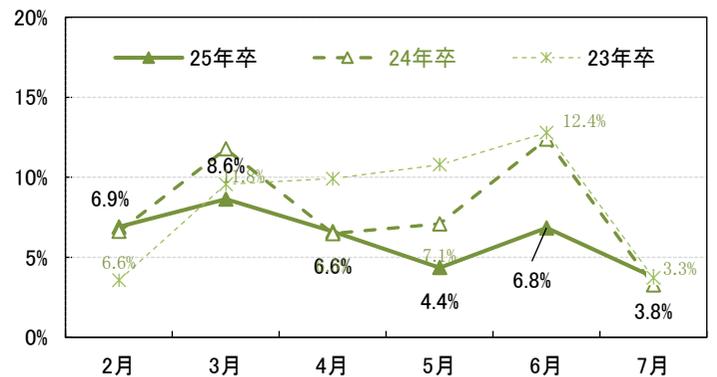
企業から推薦状を求められた・院生



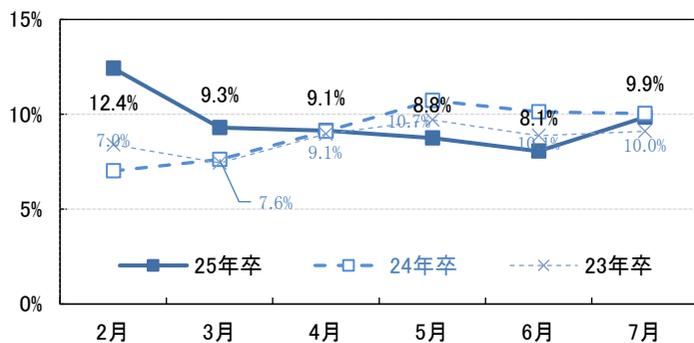
大学から推薦状を発行された・学部生



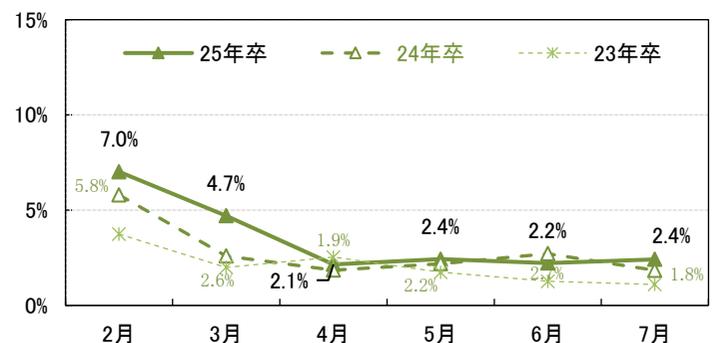
大学から推薦状を発行された・院生



大学院への進学を目指すことに決めた・学部生



大学院への進学を目指すことに決めた・院生

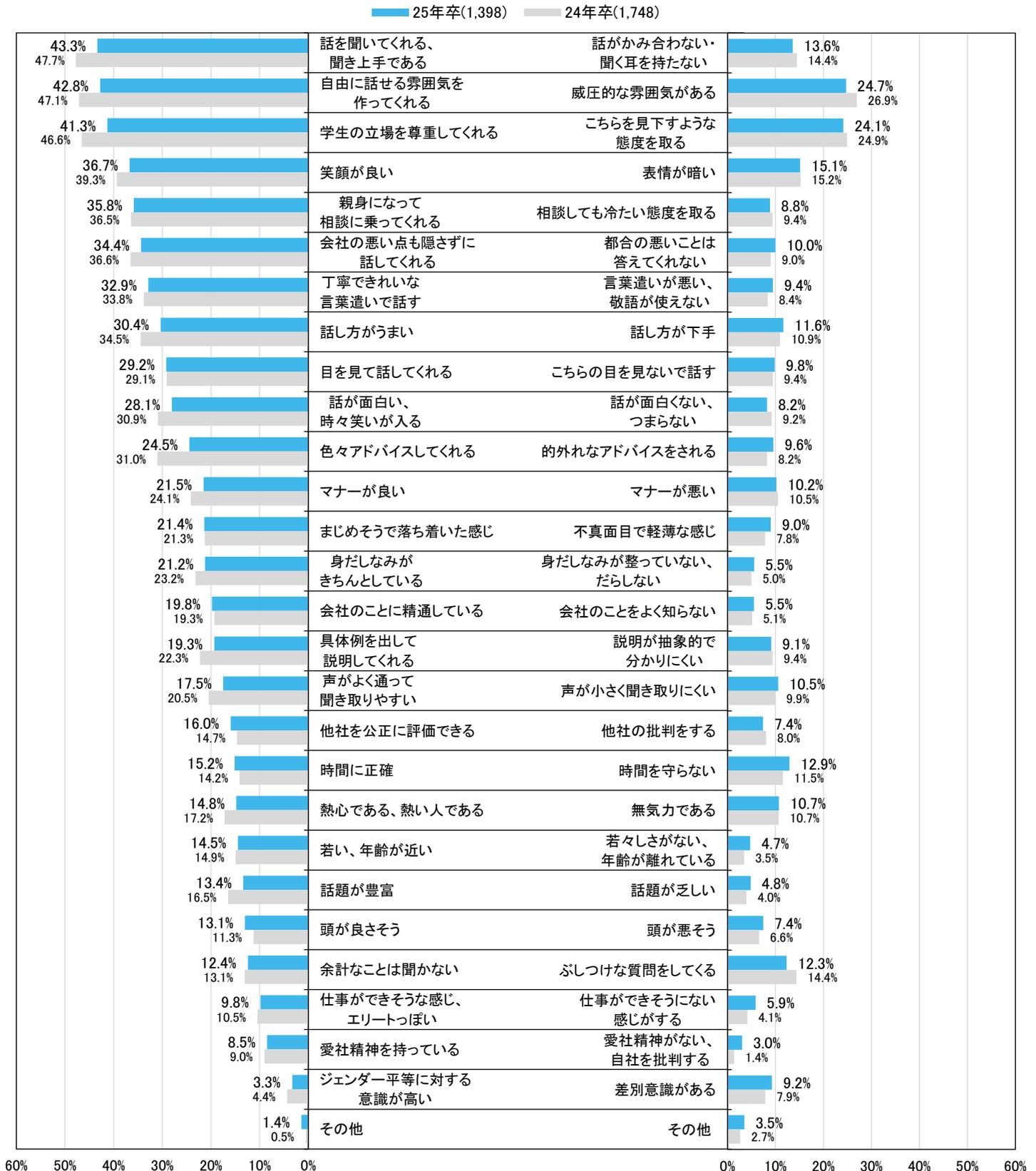


■7: 人事担当者について

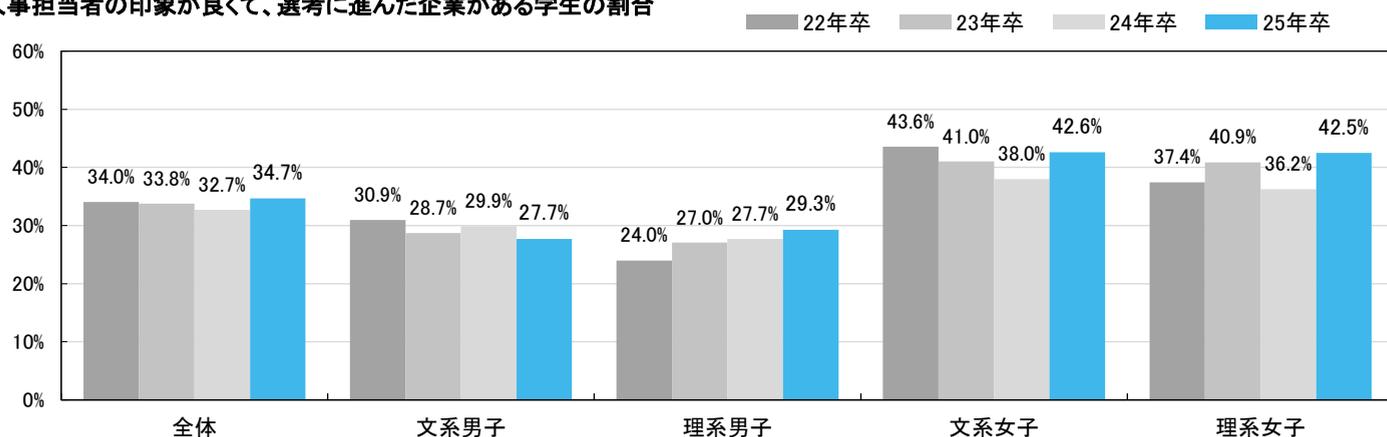
これまでに出会った印象の良かった人事担当者の特徴では「話を聞いてくれる、聞き上手である（43.3%、対前年4.4pt減）」が前年に引き続き最も回答が多かったが、昨年よりも回答率が減少した。また多くの項目で回答率が減少した。印象の悪かった人事担当者の特徴で最も割合が高かったのは「威圧的な雰囲気がある（24.7%、対前年2.2pt減）」だった。

これまで出会った印象の良かった人事担当者の特徴【複数回答】

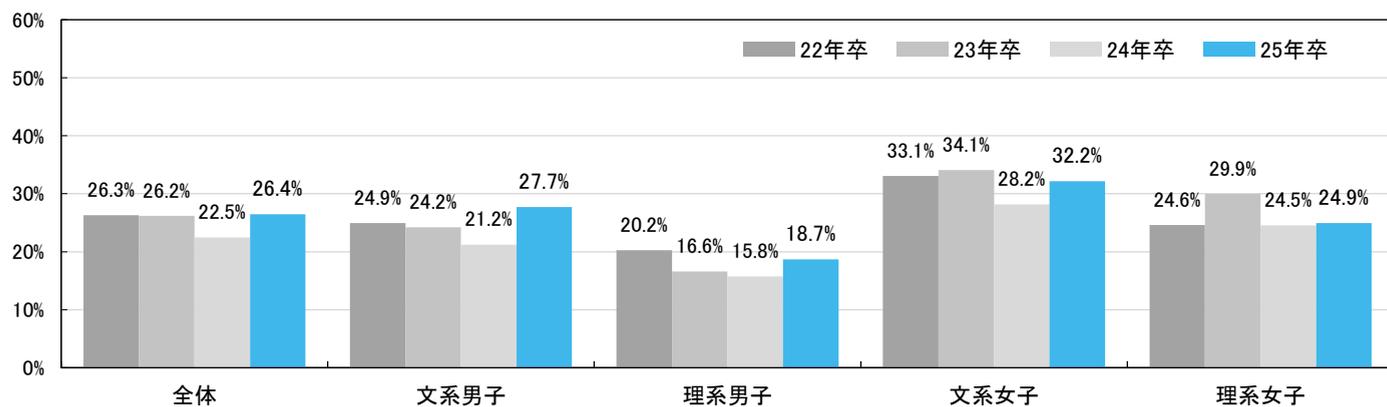
これまで出会った印象の悪かった人事担当者の特徴【複数回答】



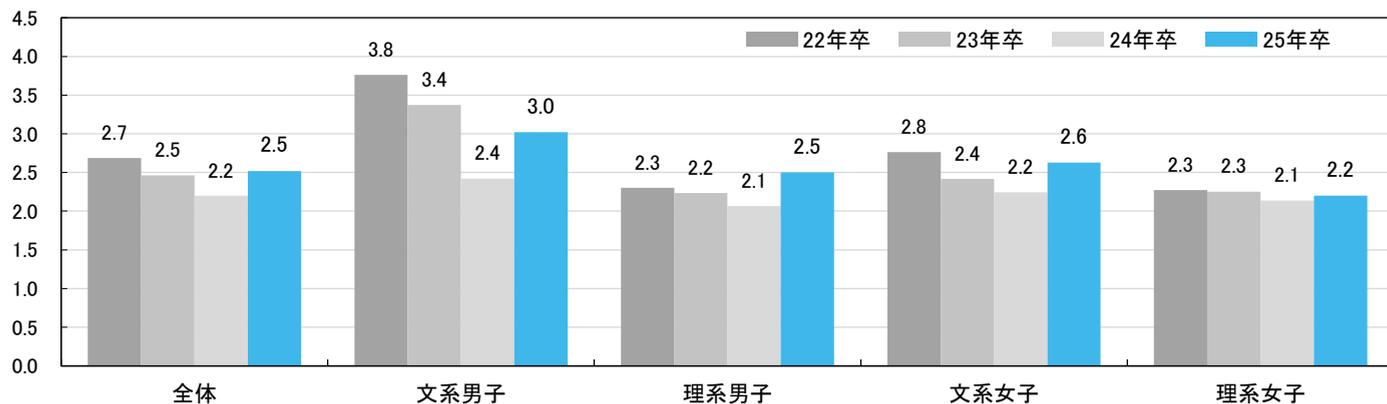
人事担当者の印象が良く、選考に進んだ企業がある学生の割合



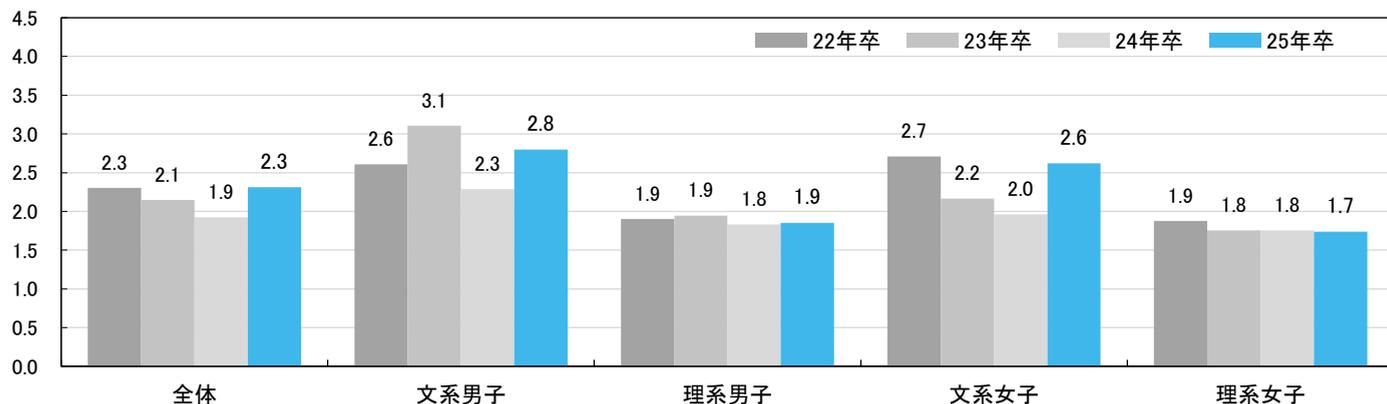
人事担当者の印象が悪かったため選考に進まなかった企業がある学生の割合



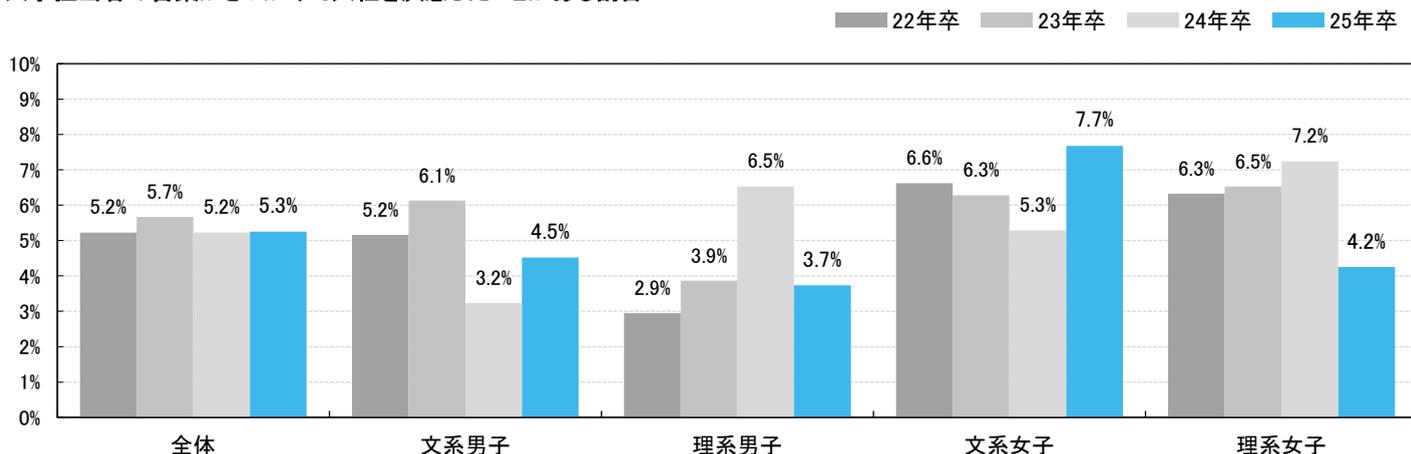
人事担当者の印象が良かったため選考に進んだ企業数平均【単位:社】



人事担当者の印象が悪かったため選考に進まなかった企業数平均【単位:社】



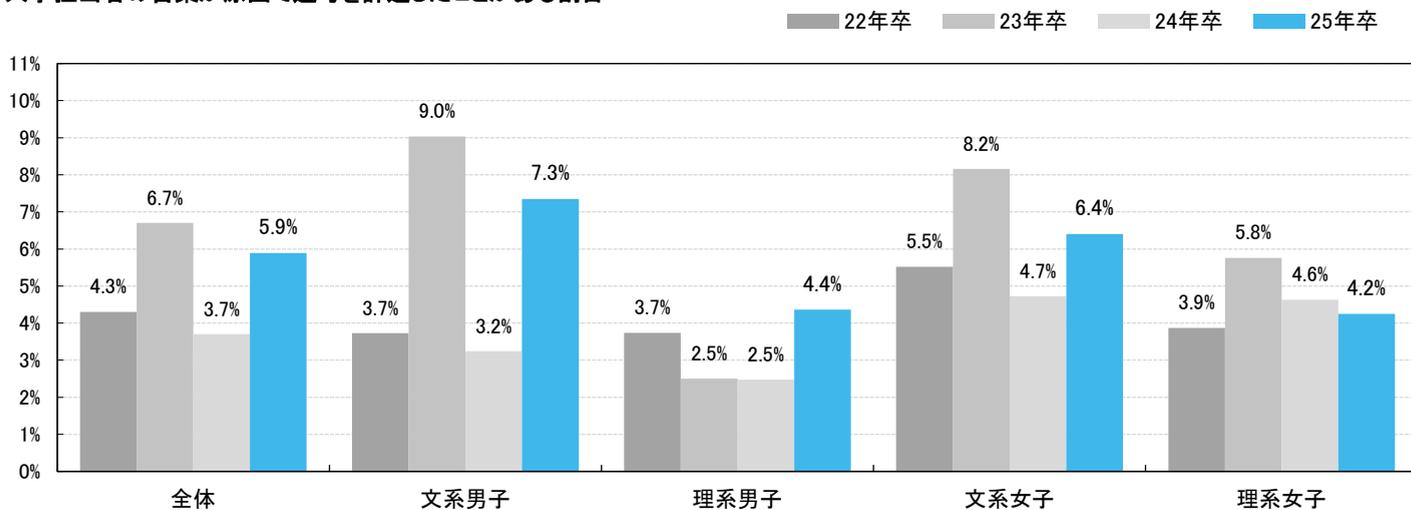
人事担当者の言葉がきっかけで入社を決意したことがある割合



入社を決意したきっかけとなった言葉 ※一部抜粋

理系男子	弊社で活躍できる人材だと思うし、会社をどんどん改革していってくれることを期待している。
理系男子	嗚んでも大丈夫だから、思いを最大限ぶつけてください
理系女子	明るい雰囲気うちに馴染めると思います。
理系男子	弊社はあなたが活躍できる環境があると思います。
理系女子	あなたはこの職種に向いていると思うよ。あなたと働きたい
理系女子	専門分野関係なく、挑戦して良い
文系女子	この仕事向いてると思うよ
文系男子	すぐにも活躍できると思う
文系男子	自社で学んだことは他社でも必ず武器になる。
文系女子	自身のやりたいことを第一優先に
文系女子	自分のことが好きと思える人生に
文系女子	チャレンジできる環境がある

人事担当者の言葉が原因で選考を辞退したことがある割合



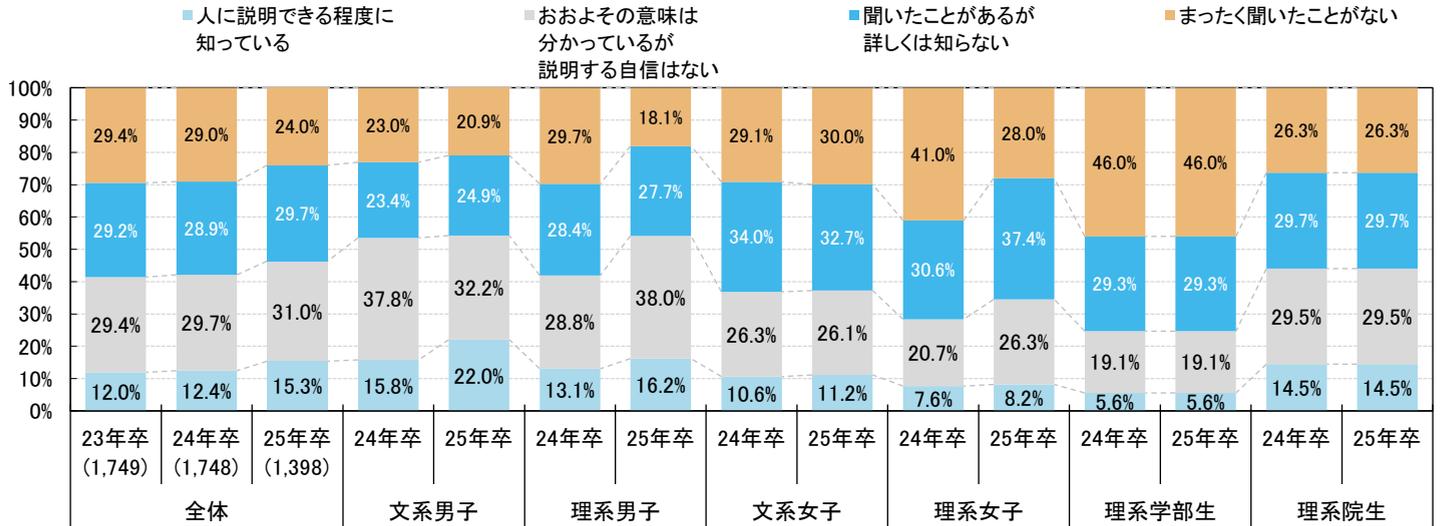
選考辞退のきっかけとなった言葉 ※一部抜粋

文系女子	趣味が多く君の人間性がわからないね。
理系女子	そんなんじゃない社会人やっていけないですよ。
文系男子	友達いなそうだね
文系女子	〇〇企業に入るならこちらに入ってくださいよ
文系男子	名前を間違えられた。
理系女子	他の人に聞いてください
理系男子	それうちじゃなくていいじゃん。
理系女子	自動車業界なんてこの先縮小するから
理系男子	現実的に考えてその企画は無理

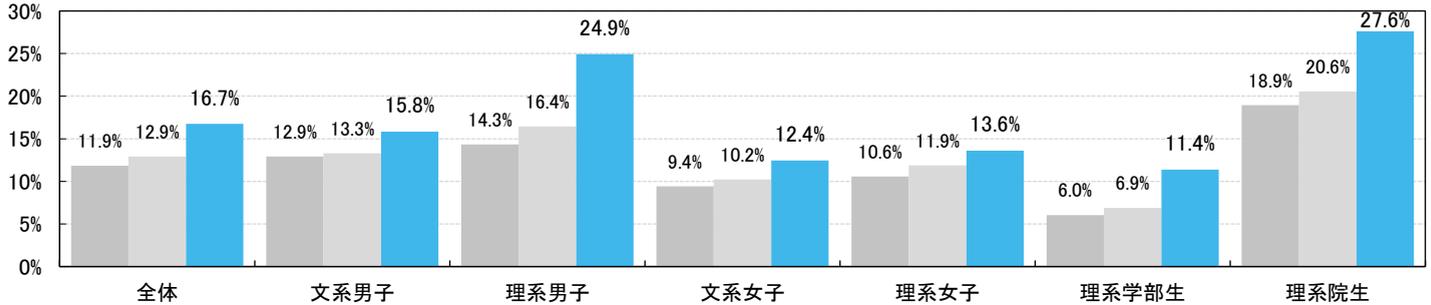
■8:ジョブ型採用について

ジョブ型採用の採用選考に応募したことがある割合は全体で16.7%（対前年3.8pt増）で、2年連続で増加していた。特に理系院生では割合が高く、27.6%（対前年7.0pt増）と4人に1人以上が経験があることが分かった。ジョブ型採用の採用選考に応募した理由では「やりたい仕事ができそうだから（22.4%、対前年5.0pt増）」の割合が最も高かった。一方でジョブ型採用の採用選考を受けた社数の平均は前年の4.8社から1.0pt減少し3.8社となった。入社予定先がジョブ型採用での採用だった割合は、入社予定先を決めている学生の10.1%（対前年2.4pt増）で1割を超えた。

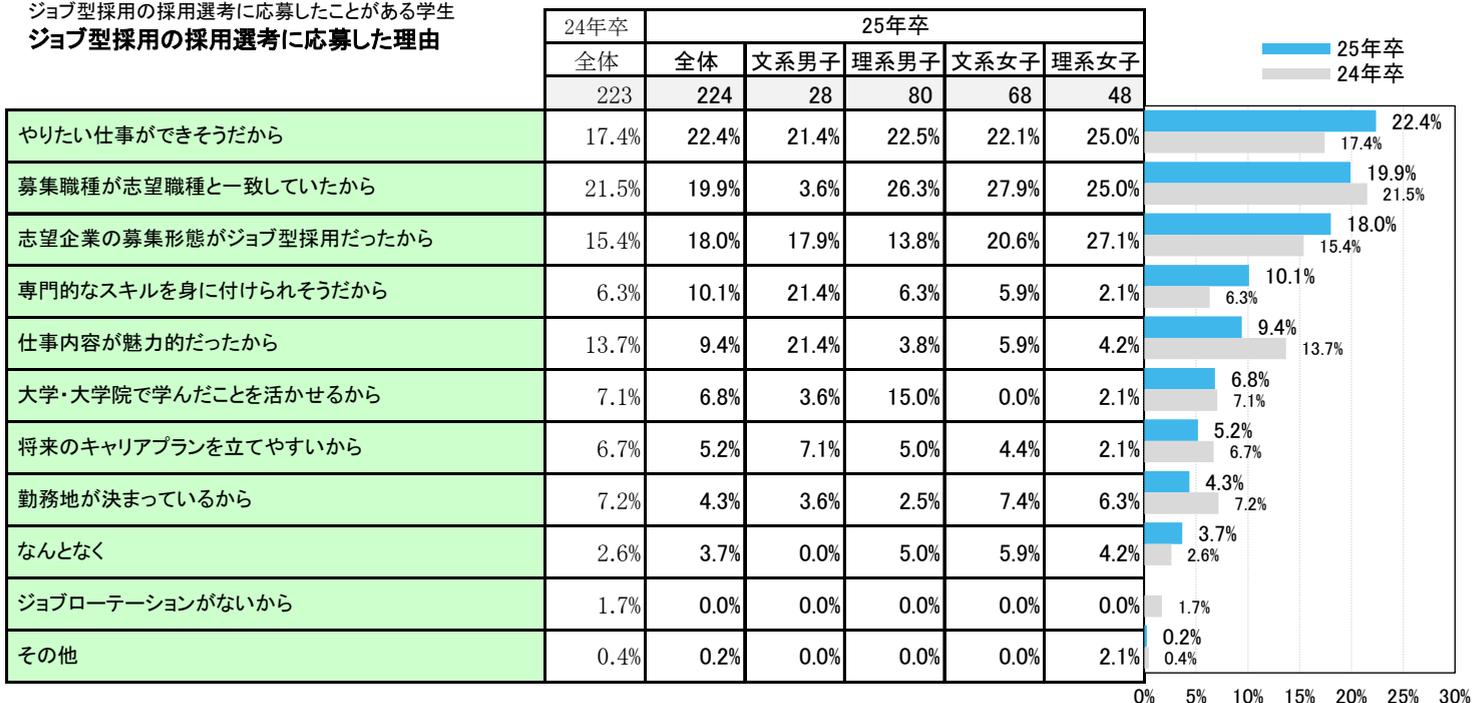
ジョブ型採用について、どの程度知っているか



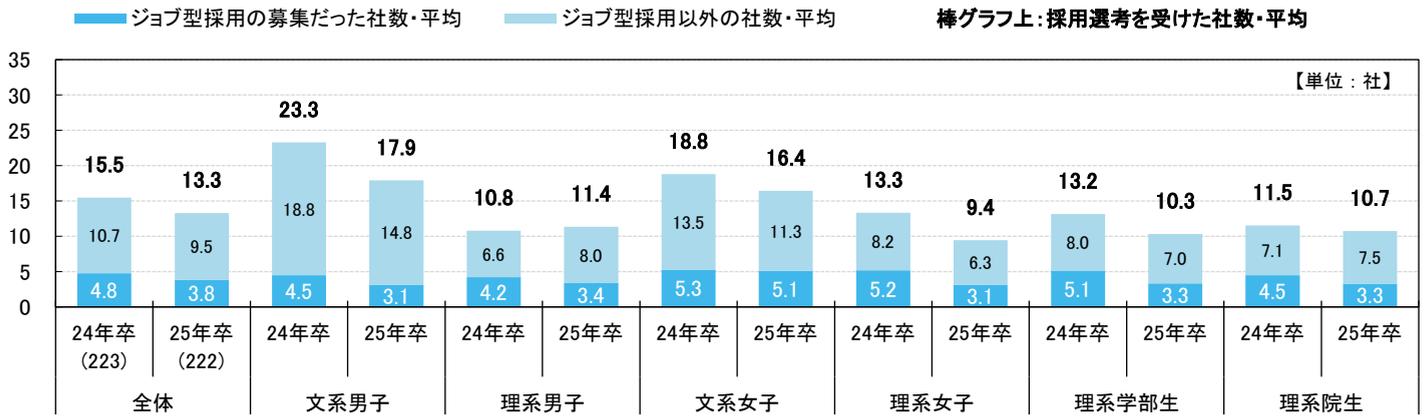
ジョブ型採用の採用選考に応募したことがある割合



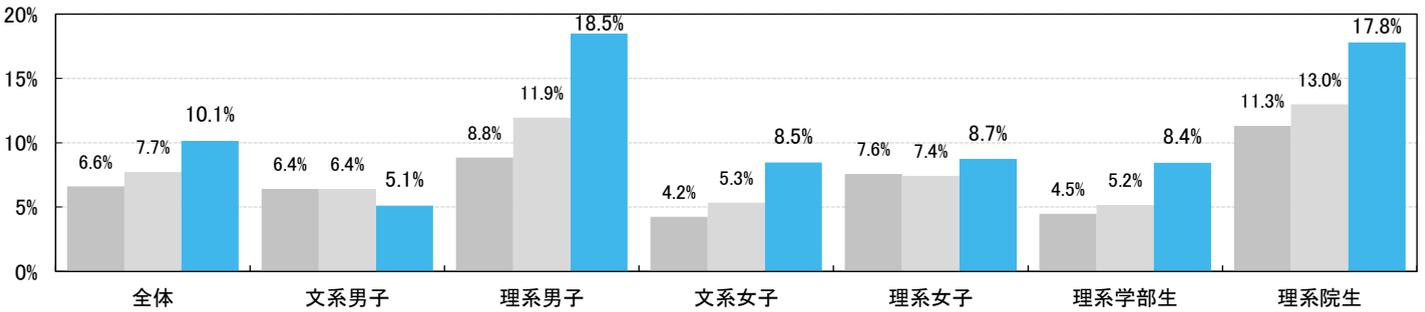
ジョブ型採用の採用選考に応募したことがある学生  
ジョブ型採用の採用選考に応募した理由



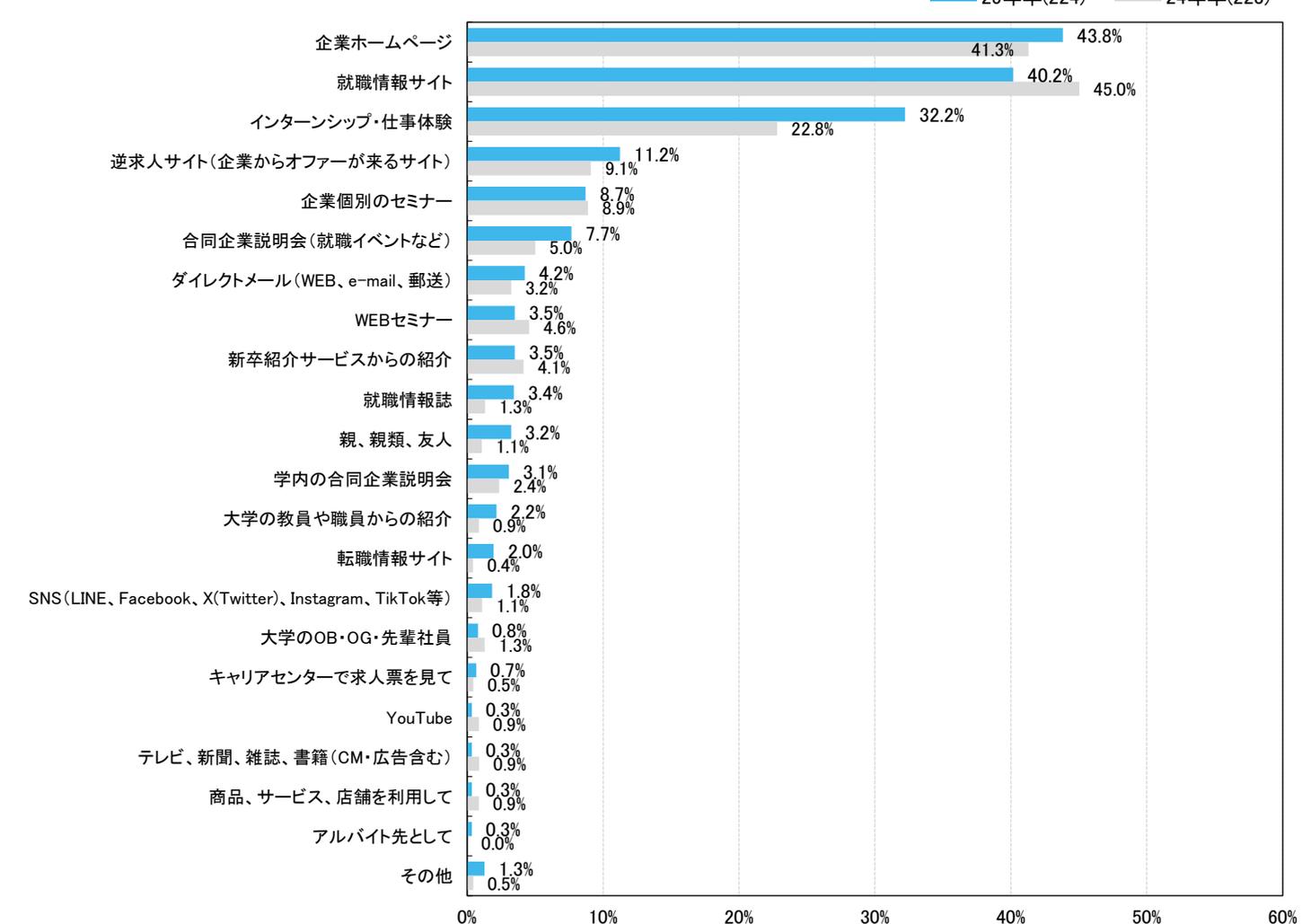
ジョブ型採用の採用選考に応募したことがある学生  
ジョブ型採用の採用選考を受けた社数・平均



入社予定先を決めている学生  
入社予定先がジョブ型採用での採用だった割合



ジョブ型採用の採用選考に応募したことがある学生  
ジョブ型採用の募集はどこで探したか【複数回答】



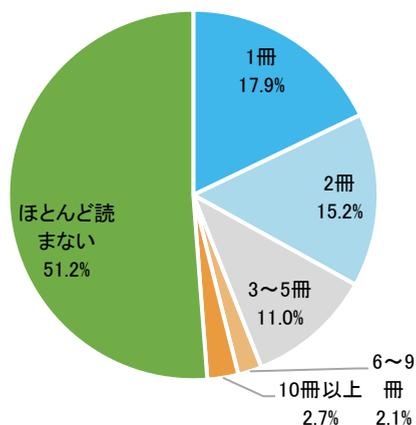




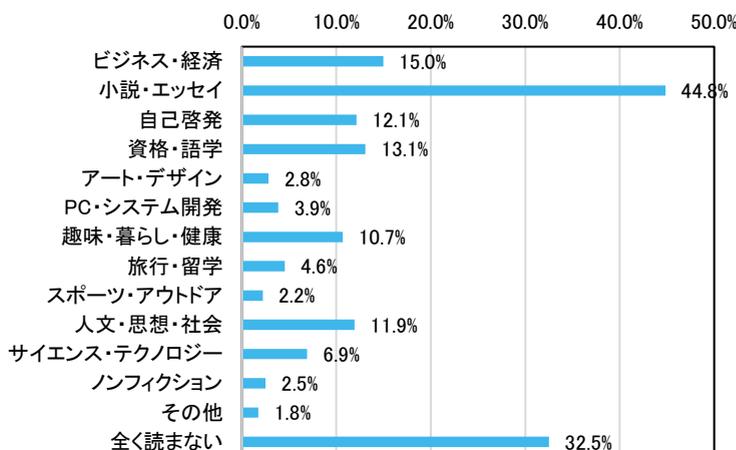
■10: 大学生活における習慣について

大学生活における習慣と、就職活動を通じた習慣の変化について聞いた。読書習慣について1ヶ月にどの程度読書をするか聞くと、「ほとんど読まない」が51.2%で過半数を占めた。睡眠習慣としては、1日の平均睡眠時間は6.8時間で、就寝時刻としては「24時台」が32.4%で最も多かった。就職活動による変化としては、4人に1人が睡眠時間が「減った」（25.0%）と回答しており、次いで運動習慣（「減った」16.6%）や読書習慣（「減った」15.3%）も減ったと回答した学生が多かった。反対に「増えた」という回答が多かったのは読書習慣で8.7%となった。

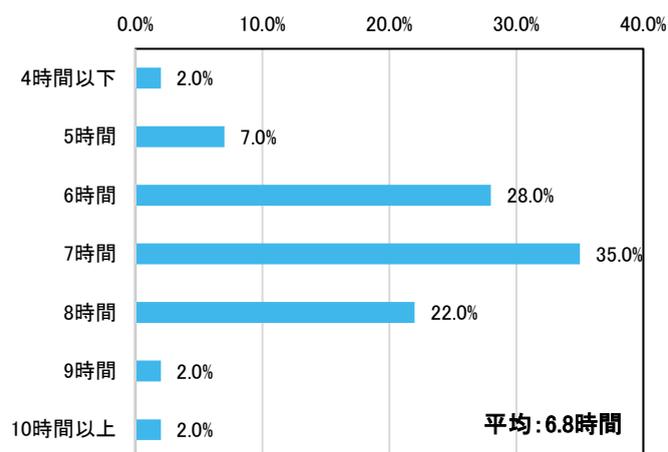
読書習慣(1ヶ月でどの程度読書をするか)



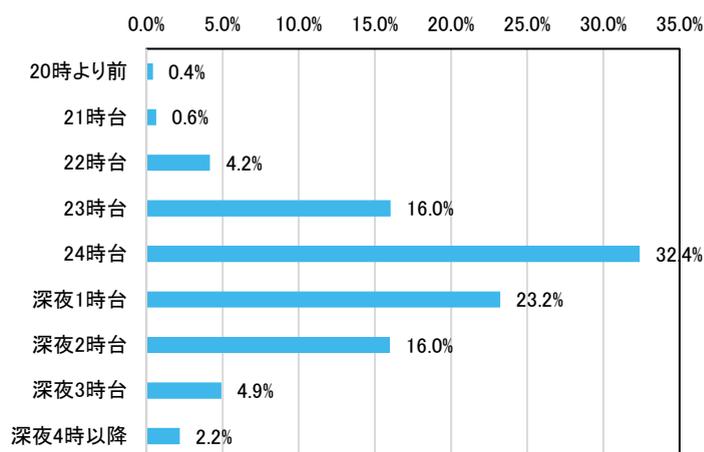
読むことが多いジャンル



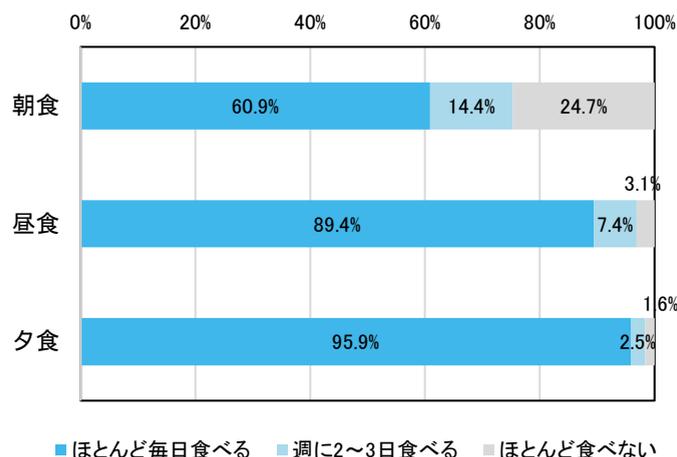
1日の睡眠時間



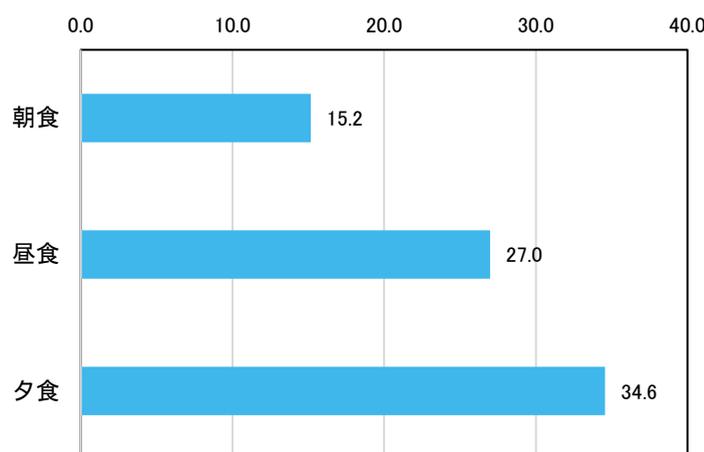
就寝時刻



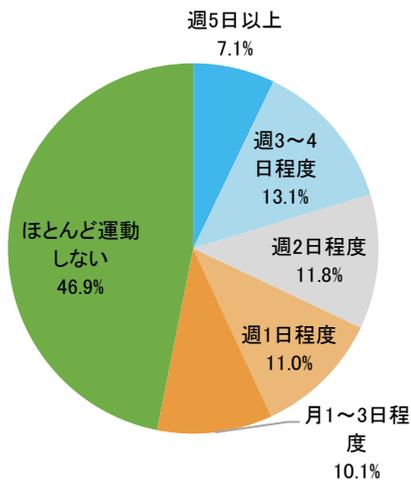
食事習慣



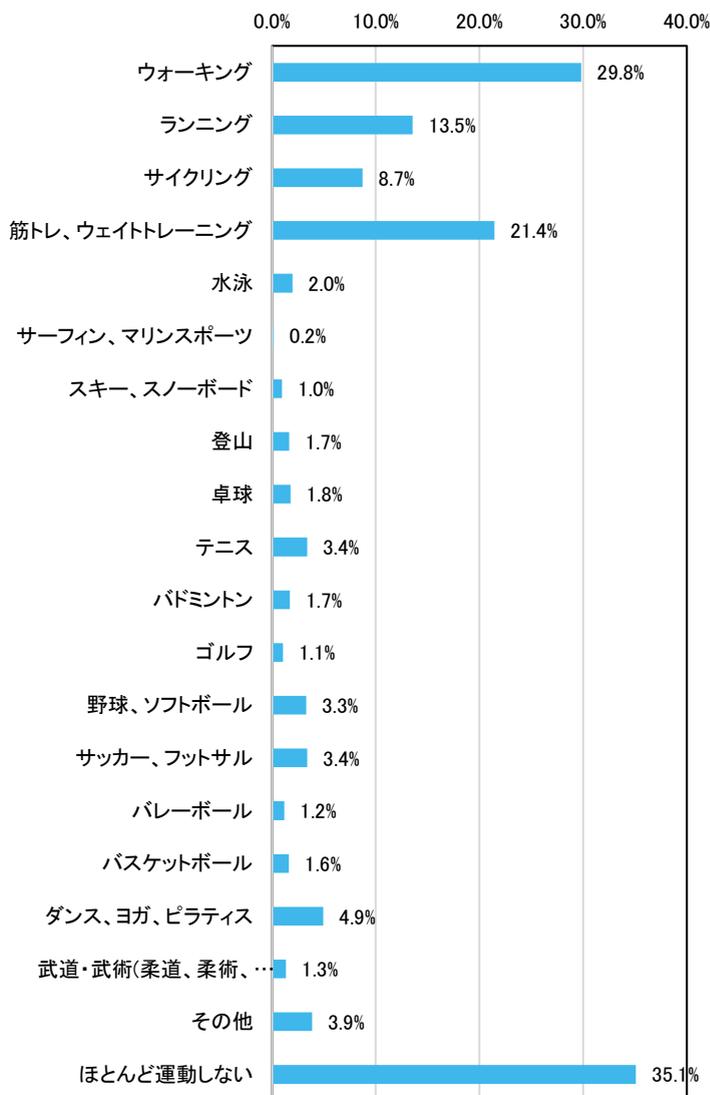
食事にかかる平均時間(分)



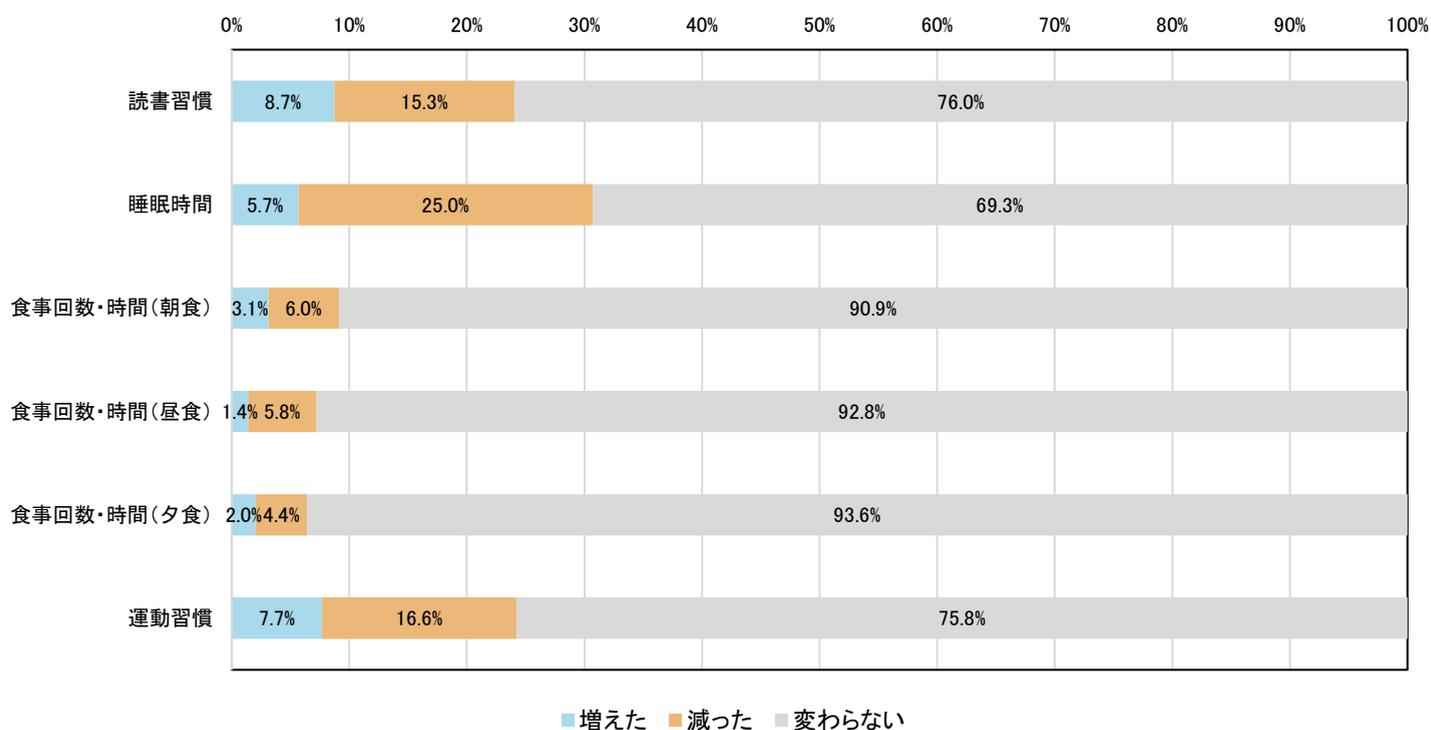
運動習慣(1週間でどの程度運動・スポーツをするか)



よくする運動・スポーツ



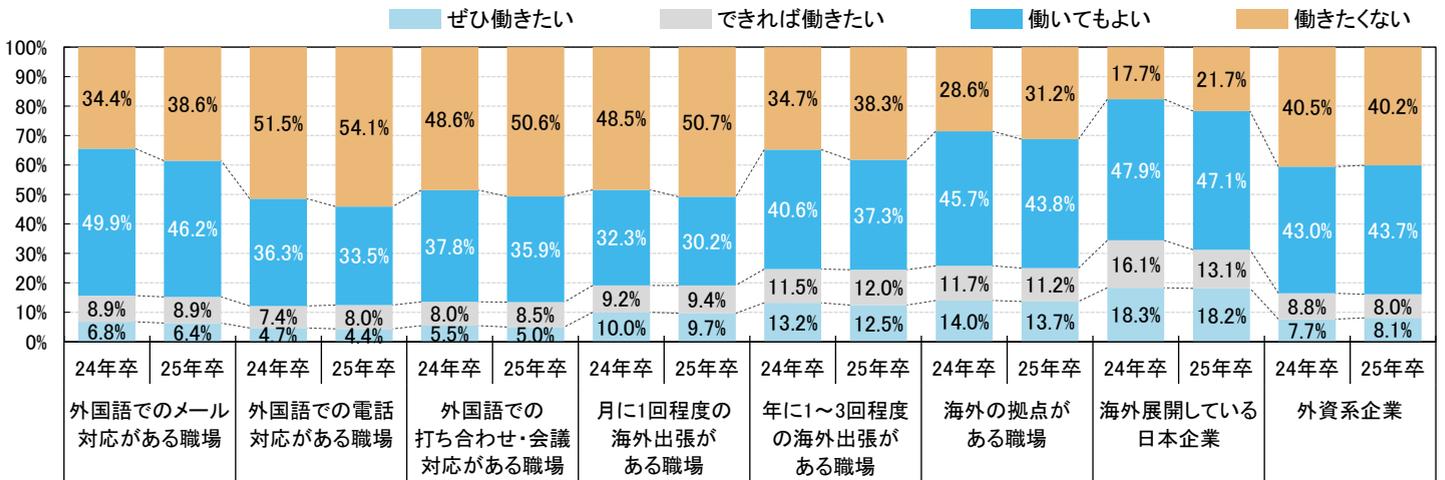
就職活動の開始前後での生活習慣の変化



■11:グローバルな働き方について

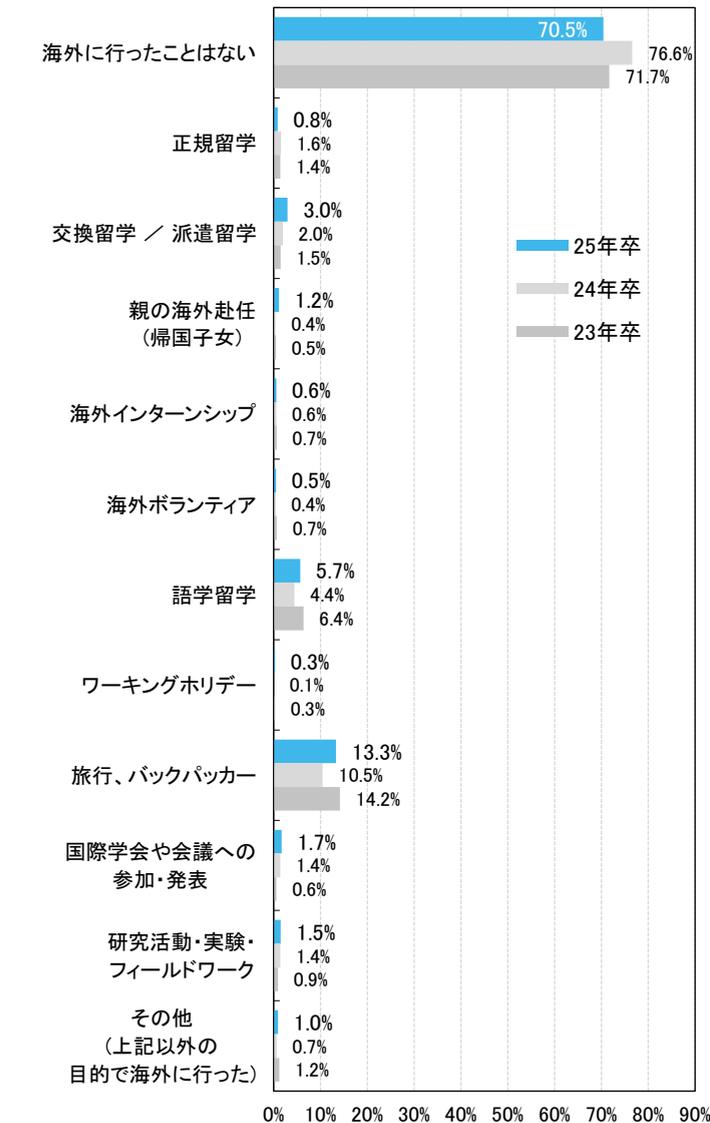
グローバルな働き方についての希望を聞くと、多くの項目で「働きたくない」の回答が増加した。最も回答が多かったのは「外国語での電話対応がある職場（で働きたくない）」の54.1%（対前年2.6pt増）であった。また特に増加が大きかったのは「外国語でのメール対応がある職場（で働きたくない）」（38.6%、対前年4.2pt増）「海外展開している日本企業（で働きたくない）」（21.7%、対前年4.0pt増）であった。

外国語を必要とする職場や海外出張がある職場に関する考え

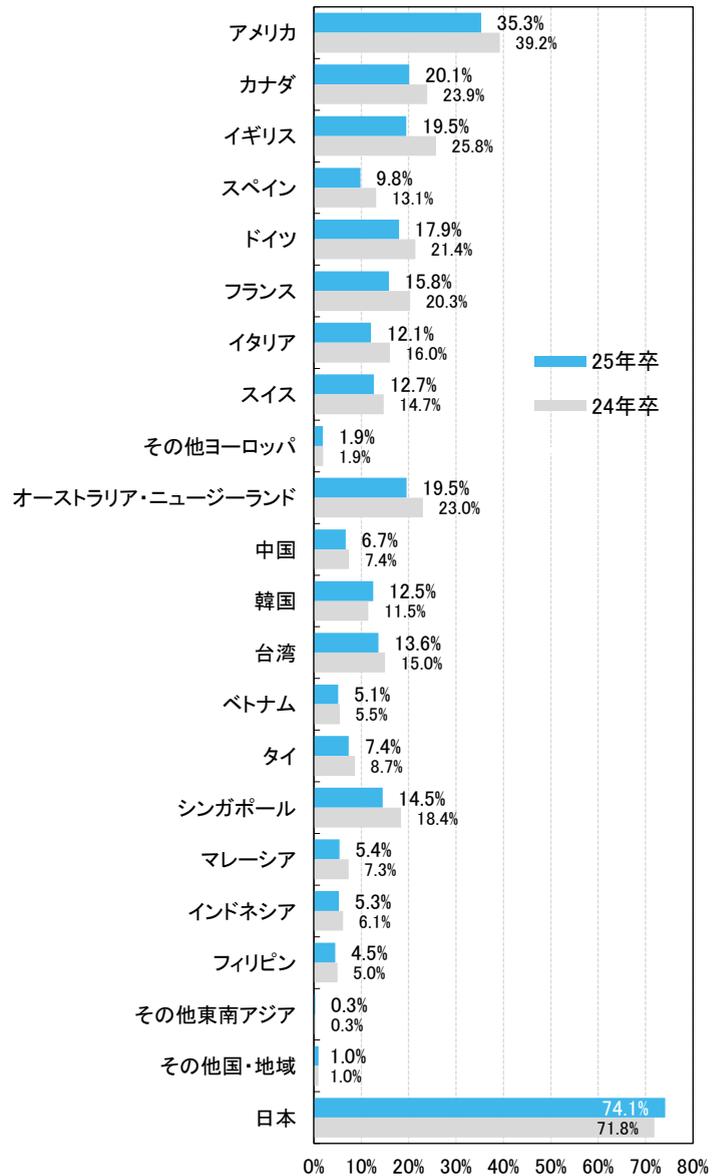


大学や大学院在学中に海外に行ったことがあるか、および海外に行った目的

(複数回答ある場合は、最も長い期間のものを選択)



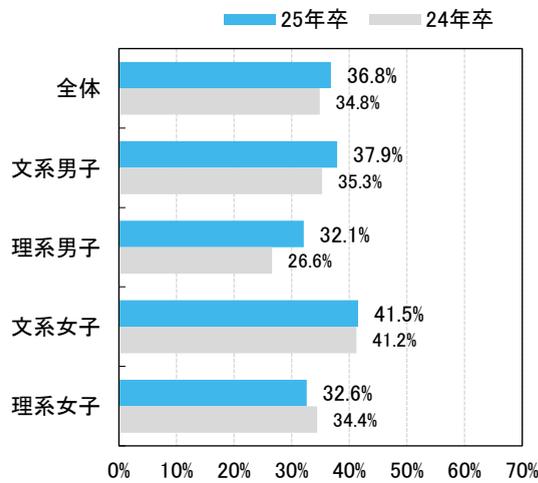
勤務したいと思う国・地域【複数回答】



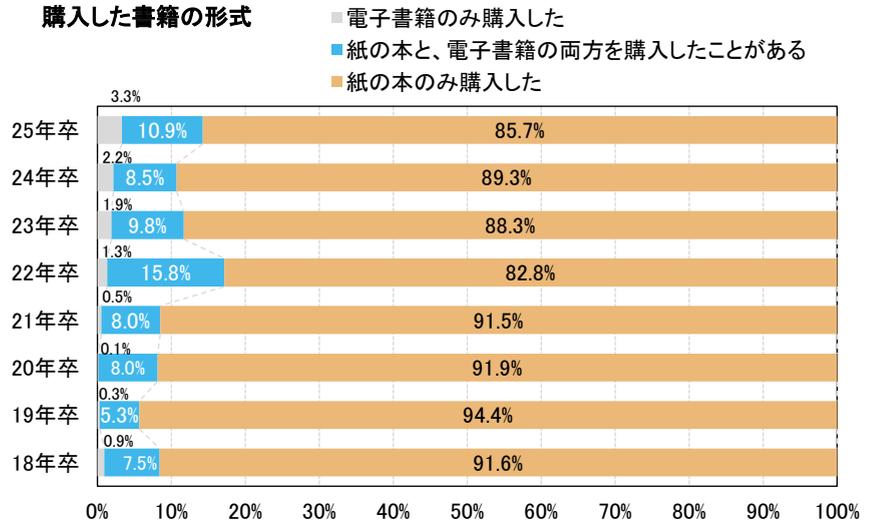
■12:就職活動に関する書籍について

就職活動対策書籍の購入経験がある割合は36.8%（対前年2.0pt増）で前年より増加した。購入した書籍の形式で「電子書籍のみ購入した」の割合は3.3%（対前年1.1pt増）、「紙の本と、電子書籍の両方を購入したことがある」の割合は10.9%（対前年2.4pt増）でいずれも前年より増加した。購入した書籍の内容では前年と同様に「筆記試験対策（71.7%、対前年5.7pt増）」の割合が最も高く、次が「面接対策（24.1%、対前年0.3pt増）」だった。

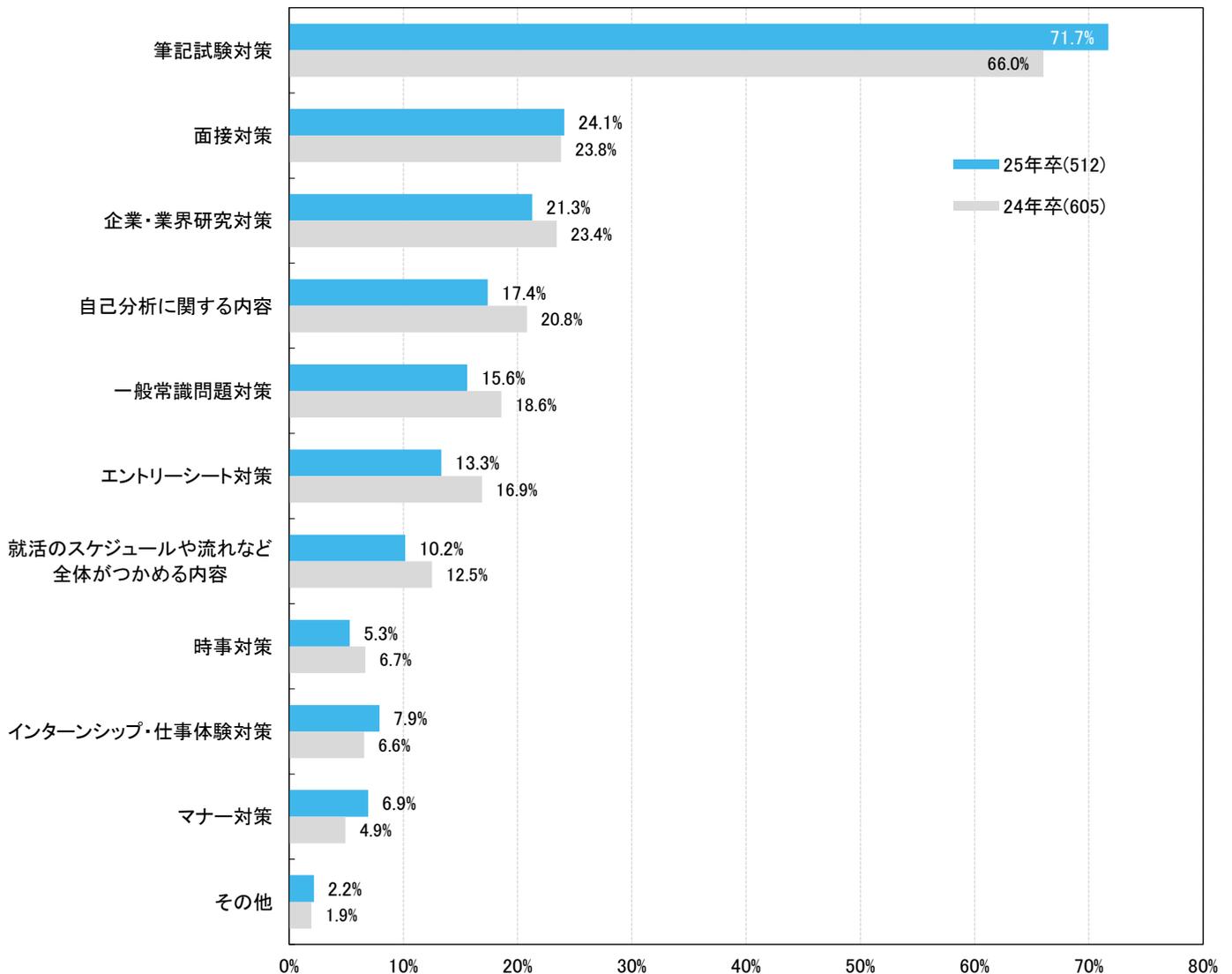
就職活動対策書籍の購入経験がある割合



購入した書籍の形式



購入した書籍の内容【複数回答】

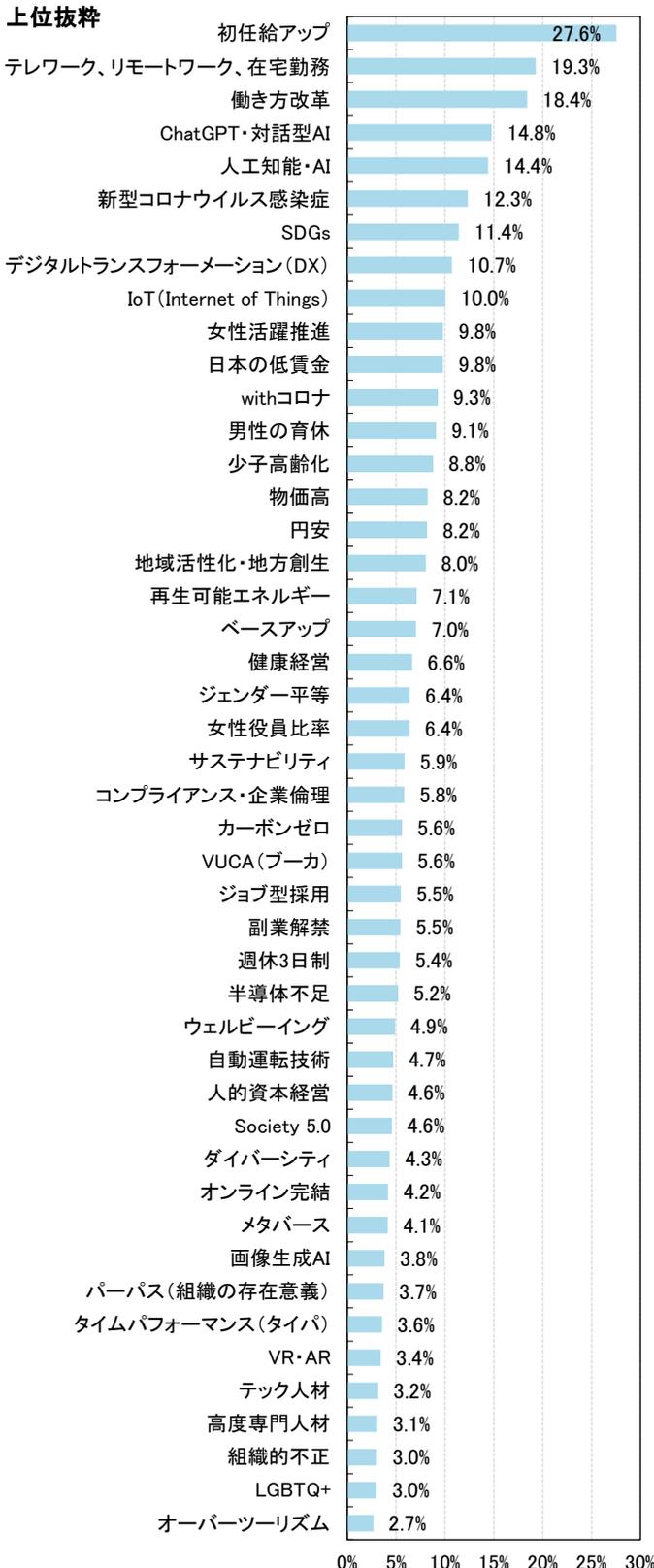


■13:就職活動に影響したニュースワード

就職活動に影響したニュースワードについて60個の選択肢の中から選んでもらったところ、前年に引き続き、最も多く選ばれたのは「初任給アップ(27.6%)」だった。2位は4年連続で「テレワーク、リモートワーク、在宅勤務(19.3%)」、3位は2年連続で「働き方改革(18.4%)」となった。AIに関する項目は4位の「ChatGPT・対話型AI(14.8%)」は前年9位から、5位の「人工知能・AI(14.4%)」は前年6位から、それぞれ順位を上げた。

ニュースワードが就職活動にどのように影響したかを自由回答で聞いたところ「(初任給アップ)不景気だからこそ少しでも給料の良い会社に行きたいという気持ちが強くなった」「(テレワーク、リモートワーク、在宅勤務)リモートワークが柔軟にできる会社だと志望度が上がった」などの回答が見られ、社会情勢や柔軟な働き方が企業選びに影響していることがわかる。また「(ChatGPT・対話型AI)ChatGPTを利用して自己分析をしたことがあったから」「(人工知能・AI)AIの手助けによるエントリーシートの作成や企業調べ」といった回答もあり、AIを活用して効率的に就職活動を進めている様子うかがえる。

就職活動に影響したニュースワード・全体【複数回答】※



カテゴリ別ベスト5

カテゴリ	順位	ニュースワード	回答割合
文系男子			
1位		初任給アップ	26.0%
2位		働き方改革	19.2%
3位		テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	18.1%
4位		ChatGPT・対話型AI	16.4%
4位		人工知能・AI	16.4%
理系男子			
1位		初任給アップ	31.5%
2位		人工知能・AI	17.4%
3位		ChatGPT・対話型AI	16.5%
4位		テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	15.0%
5位		デジタルトランスフォーメーション(DX)	12.5%
文系女子			
1位		初任給アップ	27.8%
2位		働き方改革	23.6%
3位		テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	23.0%
4位		女性活躍推進	20.8%
5位		女性役員比率	13.3%
理系女子			
1位		初任給アップ	23.5%
2位		テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	21.5%
3位		女性活躍推進	17.0%
3位		働き方改革	17.0%
5位		新型コロナウイルス感染症	13.6%
理系学部生			
1位		初任給アップ	25.9%
2位		人工知能・AI	15.5%
3位		働き方改革	14.5%
4位		ChatGPT・対話型AI	13.8%
5位		テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	12.8%
理系院生			
1位		初任給アップ	30.6%
2位		テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	20.5%
3位		ChatGPT・対話型AI	16.0%
4位		人工知能・AI	16.0%
5位		デジタルトランスフォーメーション(DX)	13.2%

全体順位・経年推移	24年卒	23年卒	22年卒
1位 初任給アップ	1位	-	-
2位 テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	2位	2位	2位
3位 働き方改革	3位	5位	6位
4位 ChatGPT・対話型AI	9位	-	-
5位 人工知能・AI	6位	8位	-
6位 新型コロナウイルス感染症	4位	1位	1位
7位 SDGs	7位	3位	5位
8位 デジタルトランスフォーメーション(DX)	8位	6位	8位
9位 IoT(Internet of Things)	-	9位	7位
10位 女性活躍推進	-	7位	9位

## 選んだニュースワードは就職活動にどのように影響したのか

ニュースワード	文理男女	就職活動にどのように影響したか
初任給アップ	理系女子	初任給がアップしたことによって、初めに希望していた会社よりも後から希望した会社の方が給料を上回ったため
初任給アップ	理系女子	不景気だからこそ少しでも給料の良い会社に行きたいという気持ちが強くなった。
初任給アップ	文系女子	物価高の中で良い人材を確保しようとすぐに初任給に繋がられる会社は、それだけ会社として強固な経営ができていないのではないかと考えたから。
テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	文系女子	週何日リモートワークができるかは確認していた。リモートワークが柔軟にできる会社だと志望度が上がった。
テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	文系女子	長期的に働くことを考えたときに、在宅勤務などを選択できるほうが働きやすそうだと思ったので、テレワーク等の有無も内々定承諾にあたり重視していました。
テレワーク、リモートワーク、在宅勤務	理系女子	有事の時に働き方や働く場所を選択できることは必要だと思ったから。
働き方改革	文系男子	残業など働き方について社会の考えが深まっており、自身もどのように働いて行くのが理想なのかよく考えたため。
働き方改革	理系女子	働き方を重視する風潮があり、やはり大事だと私も感じたので、働き方が自分に合っていないと思う会社の選考は受けなかった。
働き方改革	理系女子	ライフワークバランスを保ち、自分らしい生活が送れそうな企業を選ぶようにした。
ChatGPT・生成AI	理系女子	何がAIにできて人間に出来ない仕事なのか考えた
ChatGPT・生成AI	文系女子	自分であまり思いつかない文章や、言い回しを知ることがあり、それをエントリーシートなどの中で活かすことができた。そのため、語彙を増やすことが可能になった。
ChatGPT・生成AI	文系女子	chatGPTを利用して自己分析をしたことがあったから。
人工知能・AI	文系女子	これからこの分野に強い企業が発展していくと思われ、その業界を多数受けることにした。
人工知能・AI	理系男子	AIが登場する中で、社内でどのように活用しているか、逆質問などで聞く機会が多かった
人工知能・AI	理系男子	AIの手助けによるエントリーシートの作成や企業調べ
新型コロナウイルス感染症	文系女子	新型コロナウイルス感染症が流行した時でも、売上げが落ちていない企業は安定している、将来性があると解釈し、エントリー候補として挙げました。
新型コロナウイルス感染症	理系女子	インターンシップや会社見学が満足にできず、比較検討するのに苦労したため。また、面接がオンラインで実施されるが多かったため。
新型コロナウイルス感染症	文系女子	コロナ禍の影響で会社説明会がオンラインになり、対面式よりも気軽に参加できるようになったのはよかったが、面接はオンライン式だとやりづらかったから。
SDGs	理系女子	今注目されているから知っていて損は無いと思った
SDGs	理系女子	SDGsに貢献してる企業をいいなと思って調べたりした
SDGs	理系女子	環境問題への対応が出来ない企業は成長していかないと考えたから。
デジタルトランスフォーメーション (DX)	理系女子	DXを取り入れた企業の運営方法が様々あり、DXについての知識を持つことが重要であると感じた。
デジタルトランスフォーメーション (DX)	理系女子	企業の志望動機や仕事内容理解に必要なワードだった。
IoT (Internet of Things)	文系男子	IoTを活用した企業に興味を持ったため。
IoT (Internet of Things)	文系女子	IoTに関する意見を述べよというESを書くことが多かった

## ■14:あなたの周りで流行った「就活用語」は

周りで流行った「就活用語」について最大3つまで挙げてもらったところ、「ガクチカ」が最多で、2年連続で1位となった。また2位の「NNT」、3位の「お祈り」、4位の「ES」についても前年から変わらず同じ順位となった。5位は「サイレント」で、前年の6位から一つ順位を上げたが、上位はほとんど変動しなかった。

新たにTOP10に入ったのは8位（同率）の「インターン」「オヤカク」「早期選考」となった。三省合意によって25年卒から「インターンシップ」の定義が改正されたことや、内定辞退対策を目的とした企業の「オヤカク」（親への確認）の動きが増えたことから報道も多く、学生の中でも話題になったと推察される。また、「早期選考」と回答する学生も目立ち、企業の選考活動が前倒しになっていることも注目されているようだ。

25年卒（2024年） TOP10		24卒	23卒	22卒	21卒	20卒	類語、同義語	意味
1	ガクチカ	1	2	2	2	2	-	面接でよく聞かれる「学生時代に力を入れたこと」の略
2	NNT	2	1	1	1	4	・無い内定	「無い内定」の略。内（々）定が無いことを「内々定」に掛けている
3	お祈り	3	3	3	3	1	・お祈りメール ・祈られた	不採用になること。不採用通知の「今後のご活躍をお祈りしております」という一文から
4	ES	4	4	5	4	6	-	エントリーシートの略称
5	サイレント	6	5	4	6	3	・サイレントお祈り ・サイレント落ち	選考の結果の連絡が来ないこと。合格なら、企業から必ず連絡があるので、不採用であることを示す
6	オワハラ	5	10	9	8	5	-	「就活終われハラスメント」の略。企業が内々定を出した学生に対して就職活動を終わるよう強制すること
7	終活	8	8	6	7	9	-	就職活動を終わるための活動。入社予定先以外の企業に内定辞退の連絡をすることなど
8	インターン	-	-	-	-	-	-	インターンシップの略称
8	オヤカク	-	-	-	-	-	-	企業が学生の親に入社意思を確認すること
8	早期選考	-	-	-	-	-	-	3月1日以前に実施される選考や、インターンシップ参加者等の一部の対象限定で通常の選考に先駆けて行われる選考

## ◆ランク外で目新しかった用語、特徴的な用語

就活用語	意味
売り手市場	就職したい学生よりも採用したい企業の数の方が多い
早期化	採用時期が早くなっていること
キープ	内定先キープ
手札	内々定先
内定フラグ	人事担当者など採用決定権を持つ人間が、内定を匂わせるような発言をすること
内定ブルー	内定を貰ったあとに本当にこの企業で良いのか不安になること
配属ガチャ	入社後の職種や勤務地を就活生が選べないこと
持ち駒	選考が残っている企業
GDクラッシャー	GD（グループディスカッション）で難しい専門用語を使わずずっと喋っている人
JTC	日本の昔ながらの大企業(Japanese traditional company)

### ■15:この人が人事担当だったら、その会社に入社したいランキング

就活生にとっての「理想の人事担当者」像を探るため、「この人が人事担当だったら、その会社に入社したい」男性有名人、女性有名人、架空のキャラクターをそれぞれ挙げてもらった。男性部門では「櫻井翔」さんが調査開始以来6年連続の1位、「人の話をよく聞いてくれそう」などの理由が挙げられた。女性部門は日本テレビの「水ト麻美」アナが4年連続の1位、「緊張をすることなく話せそう」などの理由が挙げられた。キャラクター部門も調査開始以来6年連続で「ドラえもん」が1位となり、「未来を見据えた話をしてくれそう」などが理由だった。またキャラクター部門では、6位の「フリーザ」、9位の「安西先生」、10位の「オールマイイト」など、前年ランク外からのランクインが多かった。各部門とも1位は同じ有名人・キャラクターが複数年連続でランクインしている。また各部門とも、選んだ理由には「話しやすそう」「親身に相談にのってくれそう」「励ましてくれそう」といったものが多く、理想の人事像として、学生に寄り添う姿勢をイメージしているようだ。

25年卒(2024年) この人が人事担当だったら、その会社に入社したいTOP10 ※敬称略														
今年	24卒	23卒	男性	得票率	今年	24卒	23卒	女性	得票率	今年	24卒	23卒	架空のキャラクター	得票率
1	1	1	櫻井翔(嵐)	5.4%	1	1	1	水ト麻美(日本テレビ)	13.4%	1	1	1	ドラえもん	10.4%
2	4	2	内村光良(ウッチャンナンチャン)	3.4%	2	2	2	天海祐希	7.1%	2	3	2	野原ひろし(クレヨンしんちゃん)	2.7%
3	2	6	大泉洋	3.4%	3	9	5	綾瀬はるか	3.0%	3	4	3	モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)	1.7%
4	3	4	松岡修造	2.4%	4	5	-	アンミカ	2.6%	4	7	5	アンパンマン	1.6%
5	6	4	ムロツヨシ	2.1%	5	4	7	橋本環奈	2.6%	5	6	-	殺せんせー(暗殺教室)	1.6%
5	5	3	榊太一	2.1%	6	5	4	有村架純	2.4%	6	-	10	フリーザ(ドラゴンボール)	1.5%
7	6	6	阿部寛	2.1%	7	7	6	北川景子	2.1%	7	5	4	ミッキーマウス	1.1%
8	6	-	大谷翔平(プロ野球選手)	2.0%	8	3	3	新垣結衣	2.0%	8	2	9	五条悟(呪術廻戦)	0.9%
9	6	-	安住紳一郎(TBS)	1.9%	9	9	-	永野芽郁	1.2%	9	-	-	安西先生(SLAM DUNK)	0.8%
10	-	-	鈴木亮平	1.7%	9	-	9	佐藤菜里	1.2%	10	-	-	オールマイイト(僕のヒーローアカデミア)	0.7%

大学	文理男女	この人が人事担当だったら・男性 / 選んだ理由	得票率
<b>1位 櫻井翔(嵐) 得票率: 5.44%</b>			
室蘭工業大学	理系男子	思慮深く、相手を尊重する気持ちがあるから。	
同志社大学	文系女子	傾聴力、話を引き出す力、場を和ませる力が長けており、こちらも安心して話せそうだから。	
法政大学	文系男子	爽やかで、人の話をよく聞いてくれそうなイメージがあるから。	
武蔵野大学	文系女子	会社のことを詳細かつ分かりやすく説明してくれそうだから。また、入社後もキャリアについて親身に相談に乗ってくれそうだから。	
<b>2位 内村光良(ウッチャンナンチャン) 得票率: 3.43%</b>			
ノートルダム清心女子大学	文系女子	司会などをやっている様子から話しやすそうな雰囲気を感じるため。	
明治薬科大学	理系男子	その人の性格を見てくれると思ったから。	
東京医科歯科大学	理系女子	相手のことを否定せずに見てくれそう。アドバイスなども変に隠さず伝えてくれそう。	
<b>3位 大泉洋 得票率: 3.36%</b>			
大阪大学	文系女子	まっすぐに人のことを見てくれるかつユーモアがありそう。	
東京理科大学	理系男子	リラックスして面接等に臨めそう。	
<b>4位 松岡修造 得票率: 2.36%</b>			
名古屋大学	理系女子	その企業のこと以外でも親身になって相談に乗ってくれそうだから。	
静岡大学	理系女子	会社への熱い想いを知ることができそう。	
<b>5位 ムロツヨシ 得票率: 2.15%</b>			
名古屋市立大学	文系女子	明るくて、周りを大切にしている印象。芯は通っており、主張が一転二転することがなさそう。	
北里大学	理系女子	緊張を緩和してくれそう。	
<b>5位 榊太一 得票率: 2.15%</b>			
京都大学	理系女子	公平な判断をしてくれそう、年齢も若いので話が通じそう。	
<b>7位 阿部寛 得票率: 2.07%</b>			
北海道大学	理系女子	説得力がありそう。	
<b>8位 大谷翔平(プロ野球選手) 得票率: 2.00%</b>			
東京経済大学	文系男子	自分に対してもストイックでかつ、チームに貢献する一面があり、就活生の目標となる存在になると考えたから。	
<b>9位 安住紳一郎(TBS) 得票率: 1.93%</b>			
名城大学	理系女子	わかりやすい説明やユーモアを交えた話し方で楽しく話せて信頼できそうだから。	
<b>10位 鈴木亮平 得票率: 1.72%</b>			
桐蔭横浜大学	文系女子	柔らかい印象がある。役作りにストイックなので、愛社精神が強そうで企業の魅力もしっかり伝えて生き生きと働いていて入社したくなる印象を与えそう。	

大学	文理男女	この人が人事担当だったら・女性 / 選んだ理由	
<b>1位</b>	<b>水ト麻美(日本テレビ)</b>		得票率: 13.45%
武庫川女子大学	文系女子	いつも笑顔が素敵で面接中余計な緊張をすることなく話せそうだから。	
京都府立大学	理系女子	雰囲気をよくしてくれる。話を盛り上げたり、聞くのが得意そう。裏表がなさそう。	
日本大学	理系男子	質問が的確そうで、面接の雰囲気も和やかそうだから。	
島根大学	文系男子	てきぱきと仕事をこなしつつチャタリングで親しみやすいから。	
<b>2位</b>	<b>天海祐希</b>		得票率: 7.08%
神戸松蔭女子学院大学	文系女子	注意すべきところはしっかり注意し厳しいところもあるが、その全てに愛を持って接してくれそうのため。	
群馬大学	理系女子	尊敬できる部分が多い。公平に物事を考えてくれそう。	
名古屋大学	理系男子	裏表がなく、フィードバックがしっかりしているそう。	
<b>3位</b>	<b>綾瀬はるか</b>		得票率: 3.00%
東京理科大学	理系女子	話すテンポやトーンが落ち着いていてリラックスして話せそう。	
神戸大学	理系女子	キャリアウーマンな役柄が多いため。	
<b>4位</b>	<b>アンミカ</b>		得票率: 2.65%
福井大学	理系男子	以前、テレビ番組でどんな些細なことでも褒められると語っており、人事担当者だったら、各個人の良さを見つけてくれると思ったから。	
中央大学	文系男子	前向きな気持ちにさせてくれそうだから。失敗を糧にできるメンタリティを育ててくれそうだから。	
<b>5位</b>	<b>橋本環奈</b>		得票率: 2.58%
立命館大学	文系女子	本質を見て、真剣に時には笑いにしてくれそう。	
ノースアジア大学	文系男子	表裏がなさそう。	
<b>6位</b>	<b>有村架純</b>		得票率: 2.43%
徳島大学	理系男子	清潔感があるから。	
茨城大学	理系女子	真面目で知的な印象があることに加えて、会話が上手そうなので話していて楽しいと思うから。	
<b>7位</b>	<b>北川景子</b>		得票率: 2.07%
中部大学	理系女子	しっかりとしている印象なので、学生に対して真摯に接してきそうだから。	
<b>8位</b>	<b>新垣結衣</b>		得票率: 2.00%
神奈川大学	理系女子	爽やかな笑顔のイメージがあり、安心して就活生としての意見を述べる事が出来そう。	
<b>9位</b>	<b>永野芽郁</b>		得票率: 1.22%
東京農工大学	理系女子	明るく、フレンドリーに話を聞いてくれそう。	
<b>9位</b>	<b>佐藤菜里</b>		得票率: 1.22%
東北医科薬科大学	理系女子	明るく優しいイメージがあり、接しやすそうだから。	

大学	文理男女	この人が人事担当だったら・架空のキャラクター / 選んだ理由	
<b>1位</b>	<b>ドラえもん</b>		得票率: 10.44%
電気通信大学	理系男子	ときに厳しく、ときに優しく、未来を見据えた話をしてくれそうのため。	
日本女子大学	理系女子	誰かが困っている時に優しく寄り添う姿が印象的なため。	
東洋大学	理系男子	ドラえもんがいる企業は面白そうで頼り甲斐があると思うから。	
<b>2位</b>	<b>野原ひろし(クレヨンしんちゃん)</b>		得票率: 2.72%
広島大学	文系男子	家族を大切にしている働き方をしているから。	
福井大学	理系男子	人当たりがよく、パワハラなどをしないだろうという安心感がある。	
<b>3位</b>	<b>モンキー・D・ルフィ(ONE PIECE)</b>		得票率: 1.72%
日本大学	理系女子	周りの仲間のことを大事にしているイメージがあるから。	
東北大学	理系男子	リーダーとして信頼を得ているから。	
<b>4位</b>	<b>アンパンマン</b>		得票率: 1.65%
長崎大学	理系男子	元気と勇気をもらえそうだから。	
國學院大学	文系女子	面接前には応援してくれたり、入社してからも悩みを聞いたり励ましてくれたりしそうで、明るい性格に救われそうだから。	
<b>5位</b>	<b>殺せんせー(暗殺教室)</b>		得票率: 1.57%
京都大学	理系女子	一人一人の性格に合った適切なキャリアアドバイスをくれそう。	
安田女子大学	理系女子	特長や人間性を的確に見抜けるから。	
<b>6位</b>	<b>フリーザ(ドラゴンボール)</b>		得票率: 1.50%
琉球大学	理系男子	敵味方関係なく、能力に応じて人を判断し、問題点を指摘し挽回のチャンスを与えるから。	
<b>7位</b>	<b>ミッキーマウス</b>		得票率: 1.07%
青山学院大学	文系男子	ポジティブで話をしっかりと聞いた上での確かなアドバイスをしてくれそうだから。	
<b>8位</b>	<b>五条悟(呪術廻戦)</b>		得票率: 0.93%
岩手県立大学	文系女子	おちゃらけた姿とは別に上司として部下を守ってくれるイメージがあるから。どんなときも味方になって、教えてくれそうだから。	
<b>9位</b>	<b>安西先生(SLAM DUNK)</b>		得票率: 0.79%
東京大学	理系男子	現時点の実力よりもその人の本質を見てくれそうだから。	
<b>10位</b>	<b>オールナイト(僕のヒーローアカデミア)</b>		得票率: 0.72%
筑波大学	文系女子	経験が豊富で、自分の能力を厳しくも人情ある見方で量ってくれそう。	